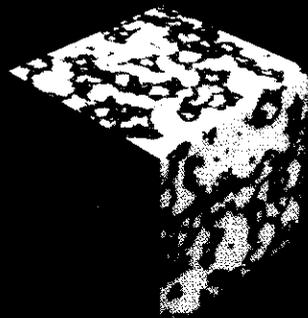
HR-20000

VIDEO CASSETTE RECORDER

取扱説明書

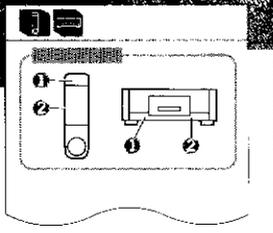
●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

VIDEO Plus+

●取扱説明書の見かた

この説明書では、各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるか左上にイラストでお知らせしています。

リモコンで操作できます。
本体で操作できます。

●G（ビデオ・プラス）コードを使ってタイマー予約する前に準備をしましょう。

CONTENTS

※画面の写真はハメコミ合成です。

主な特長

□内の数字が参照ページです。

スーパークリスタル・プロヘッド搭載

高出力と低ノイズを両立し、S-VHSの持つ高画質能力を存分に引き出すスーパークリスタルヘッドをさらに進化させました。特殊再生の関係で、従来は幅広、幅狭とアンバランスに設定せざるを得なかった一対の標準モードヘッドのトラック幅を、最適幅にバランス設定。隣接トラックからのクロストークを排除した上で、幅の狭かった方のヘッドトラックを17%拡大。得られる情報量が増加することで、高品位映像を実現しています。

AIオートキャリブレーション 50

ひと口にビデオテープといっても、その磁気特性はまちまち。録画するテープに応じて最適な記録レベルを自動設定するオートキャリブレーション機能を、精度を低下させずに高速化して搭載しました。

スーパーソリッドDDメカニズム

高剛性のメインデッキに加え、業務用ビデオで使われている2リールダイレクトドライブを採用した、スーパーソリッドDDメカニズムを搭載。18度傾斜ドラム近接インピーダンスローラーと合わせて、テープ走行の安定度が増し、ジッターを大幅に低減させることができました。また、高速動作のフルローディング・ハイレスポンス設計により、操作性も大幅に向上しています。

629デジタルTBC(タイムベースコレクター) 41

テープ走行ムラや振動によって発生する走査線の時間軸ゆらぎ(ジッター)。これをそのまま放置すると画面にゆがみが生じます。一般のTBCが縦線のゆらぎのみ補正するのに対して、629デジタルTBCは、低域変換された色信号(629kHz)に対しても時間軸補正を行います。これにより、ジッターによって副次的に発生していた色相変化(PMノイズ)も低減。安定した色再現を実現しています。

動き適応3次元デジタルY/Cセパレーション 91

目ざわりなドット妨害やクロスカラーを大幅に低減するデジタルY/Cセパレート回路を3次元化することで、画面上の変化も見越し、動きに適応したY/C分離が可能になりました。さらに、標準設定のほかに、動きのクリアさを重視した動画設定、ノイズ改善を重視した高SN設定があり、映像ソースによって選択可能です。

ダイナミックデジタルサーチ 24

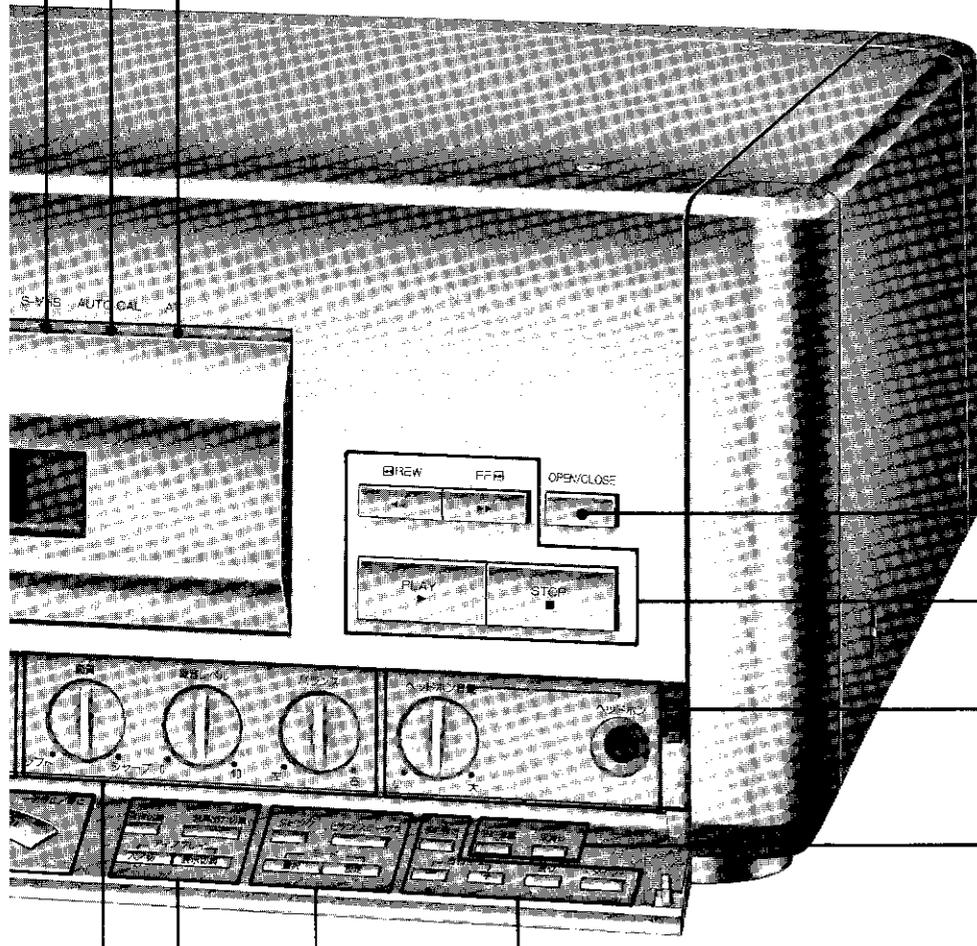
デジタル処理により、映像を確認しながら高速で飛ばし見ができるハイパーストロボサーチ、ヘッド切り換え部での画面の乱れを改善したスキューレスファインサーチ、早送り/巻戻し中に内容をのぞき見できるハイスピードオープンサーチなど、自由な可変速再生を高速・高画質で実現します。

NFスーパーリワインド 39

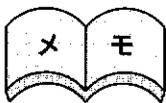
見終えたテープはすばやく巻戻したい。そこで、巻戻しボタンに続けて取出し、電源、再生、タイマーボタンを押すことで、自動的にテープのローディングを解除し、カセット内で360倍速(3倍モード時)の超高速で巻戻すNFスーパーリワインドを搭載。120分テープが1分足らずで巻戻せます。

ビデオ・プラス 26

BS放送の映画番組などが、プッシュホンを押す感覚で簡単に録画予約できる「ビデオ・プラス」を搭載しています。お出かけ前など、急に録画したい番組を見つけても、操作が簡単ですからあわてず予約できます。

BCランプ 41
BC:Time Base Correctorの略)
S-VHSランプ 15
AUTO CALランプ 50
(AUTO CAL:Auto Calibrationの略)
ATランプ 44
(AT:Auto Trackingの略)
REW
FF
OPEN/CLOSE
PLAY
STOP
カセット取出しボタン 14
基本操作ボタン
ヘッドホン端子・
音量調節つまみ
タイマー予約の確認・取消しボタン 32
取消しボタンでカウンターを0:00:00
にリセットできます。
タイマー予約ボタン 30
ダビングボタン 52 ~ 57
ビデオステータスボタン 43
モード選択・設定ボタン 90
Hi-Fi音声切換ボタン 47
音声出力切換ボタン 47
ディスプレイ表示
・入/切ボタン 8
・表示切換ボタン 38 48
画質調整つまみ 45
録音レベルつまみ 48
バランスつまみ 48

〔本体表示窓〕

	表示		本機の動作
カセットの出し入れ	TAPE IN		カセットが入っている状態
	EJECT		カセット取出し
テープ走行表示	REC		録画
	PAUSE		録画一時停止
	OTR 0:30（点滅）		ワンタッチタイマー録画
	PLAY		再生
	FF		早送り
	REW		巻戻し
	サーチFWD		早送り再生
	サーチREV		巻戻し再生
	STILL	一時停止	正転方向
	−STILL	一時停止	逆転方向
	SLOW	スロー再生	正転方向
	−SLOW	スロー再生	逆転方向
	1:23:45（点滅）		早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になるとカウンター表示点滅
録画スピード表示	SP		標準
	EP		3倍
チャンネル表示	10CH		受信チャンネル
	BSモニター 5CH		BSモニター
	L1、L2、L3		外部入力

	表示	本機の動作
カウンター、時計表示など	1:23:45	カウンター
	Remain 1:35	テープ残量
	Thu 15:35	時計
	HiFi L ‖‖‖‖‖‖ R ‖‖‖‖‖‖	音声レベルメーター
	Sun(日曜) Thu(木曜) Mon(月曜) Fri(金曜) Tue(火曜) Sat(土曜) Wed(水曜)	曜日
音声出力表示	HiFi L (主音声) HiFi R (副音声) HiFi L R (主+副音声)	Hi-Fi音声切換
	HiFi L R (Hi-Fi音声) ノーマル (ノーマル音声) HiFi L ノーマル R (Hi-Fi音声+ノーマル音声)	音声出力切換
各種機能	VISS -2	VISSスキャン
	Remain 1:35 BLANK	ブランクサーチ
	PLAY (再生) EJECT (取出し) POWERランプ点滅 TIMERランプ点灯 (タイマースタンバイ) POWERランプ点滅(電源「切」)	ネクストファンクションメモリー
	━ ━ ■■■■■■	NFスーパーリワインド
	DEW	つゆつき

・本体表示窓を暗くしたいときは、ディスプレイの入/切ボタンを押します。前面ドア内のランプも消えます。もう一度押すと、明るくなります。電源「切」の状態では働きません。

・つゆつきがおきると“DEW”を表示します。このようなときは、ビデオの電源を入れて数時間待ち、“DEW”表示が消えてからご使用ください。

（背面）

音声入力１・２端子
ビデオ２の入力端子は、ＢＳデコーダ接続端子と兼用です。

リモートポーズ入力端子
・前面と背面のリモートポーズ入力端子に同時に接続した場合、前面入力端子が優先します。

音声出力１・２端子

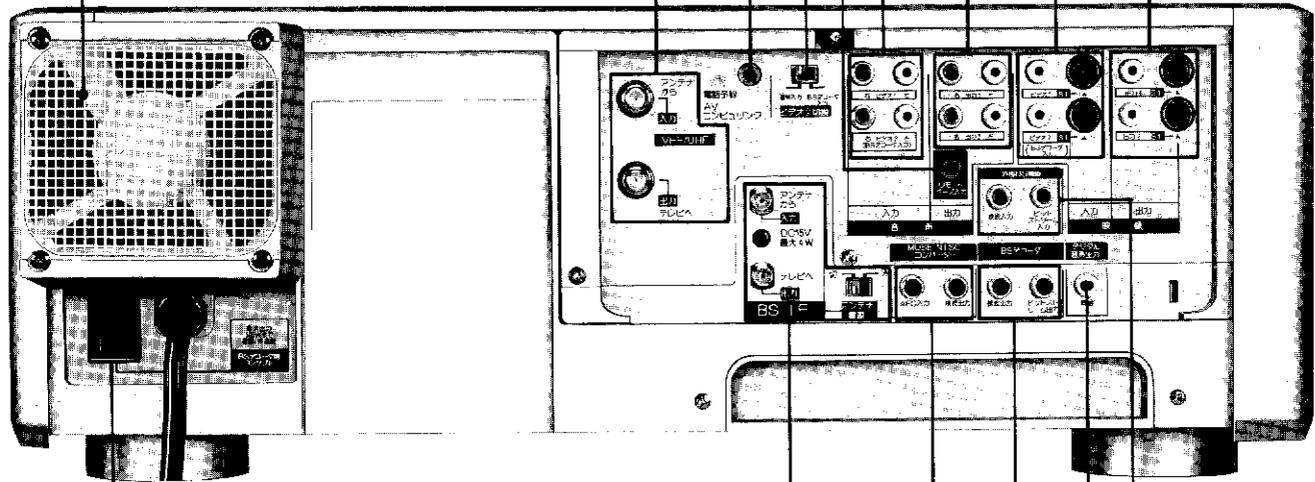
ファン
・内部の温度上昇を防ぐものです。
取り外さないでください。
・ファンの周りをふさがないように置いてください。

映像入力１・２端子 68 70
ビデオ２の入力端子は、ＢＳデコーダ接続端子と兼用です。
・Ｓ１映像入力端子と映像入力端子に同時に接続した場合、S1映像入力端子が優先します。

ビデオ２切換スイッチ 17 18

電話予約端子 61
AVコンピュリンク端子 60

アンテナ接続端子 62

映像出力１・２端子

BSアンテナ接続端子 65
・BSアンテナ入力端子
・BS-IF出力端子
・BSアンテナ電源切換スイッチ

他のBS機器との接続 68
・検波入力端子
・ビットストリーム入力端子

BSデコーダ用電源コンセント
68 70

MUSE-NTSCコンバーターとの接続 70
（ハイジャック端子）
・AFC入力端子
・検波出力端子

デジタル音声出力端子
別売の映像用ケーブル(黄色)で、デジタルオーディオ機器と接続します。

・おすすめケーブル
VX-110HG　VX-710PRO
VX-120HG　VX-720PRO

BSデコーダとの接続 68 71
・検波出力端子
・ビットストリーム出力端子

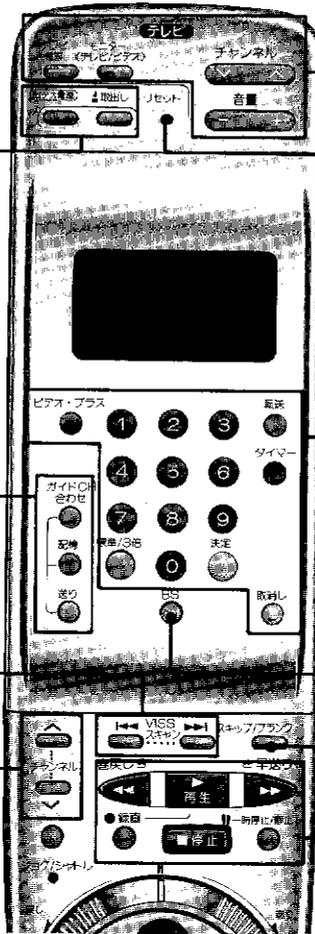
・S映像信号とは
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。
２つの信号が互いに影響を受けないため、鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

・Ｓ１映像信号とは
S映像信号に、MUSE-NTSCコンバーターなどのフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

各部のなまえ(つづき) ▭内の数字が参照ページです。

(リモコン)

● フタを閉めた状態

テレビ操作ボタン 12

ビデオ電源ボタン
カセット取出しボタン

リセットボタン

・リモコンを使用中に、表示や動作がおかしくなったときは、先の細いもので押してください。リモコンに記憶しているチャンネル設定の内容は消されます。
・通常はこのボタンを押さないでください。

ビデオ・プラス 26

・数字ボタンでビデオのチャンネル切り換えができます。
本体のBSランプが点灯しているときは、BSチャンネルの切り換えができます。

ガイドチャンネル合わせ 82 ~ 86

VISSスキャンボタン 37

BSオレンジボタン 16 21

スキップボタン 24
ブランクボタン 38

ビデオのチャンネル切換ボタン

基本操作ボタン
録画のしかたが本体と異なります。
録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押します。

乾電池の入れかた

・乾電池(単3)を2本入れます。

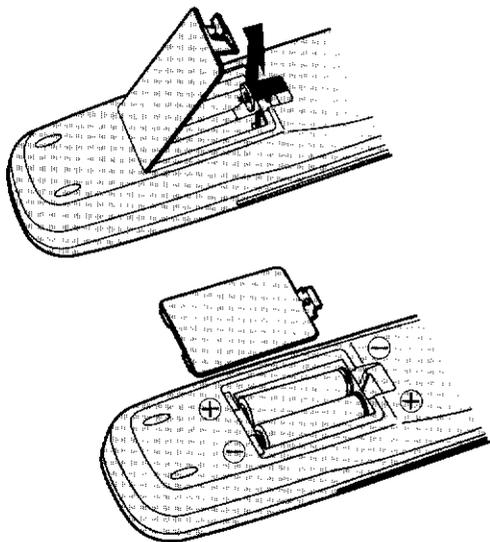
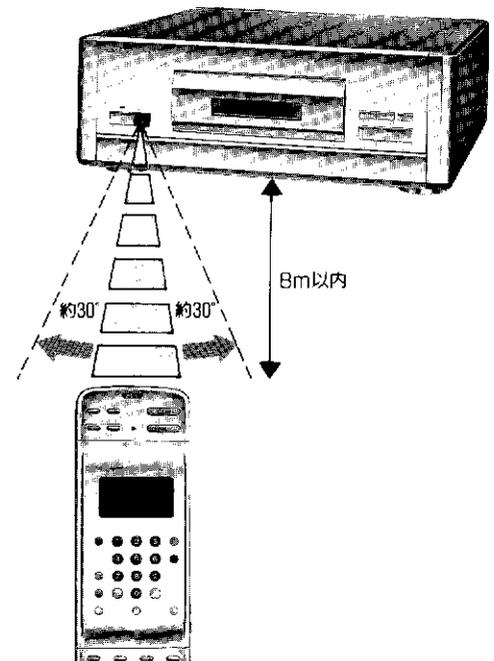
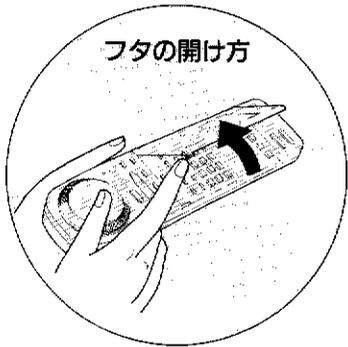
リモコンの向けかた

〔リモコン〕

●フタを開けた状態

フタの開け方

ビデオ本体の予約確認・取消しボタン 32

時刻合わせボタン 87

リモコンコード切換スイッチ 13

タイマー予約設定ボタン 28
時刻合わせ 87

BSオレンジボタン 16 21
入力切換ボタン 52 56
画面表示ボタン 92

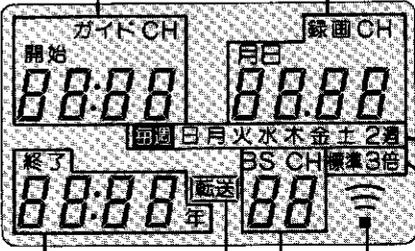
VISS書込み/消去ボタン 36

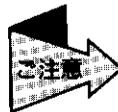
Hi-Fi音声ボタン 47
ビデオステータスボタン 43
カウンターリセットボタン 39
表示切換ボタン 38 48
ゼロリターンボタン 39

モード選択・設定ボタン 90

ジョグダイヤル/シャトルリング 25

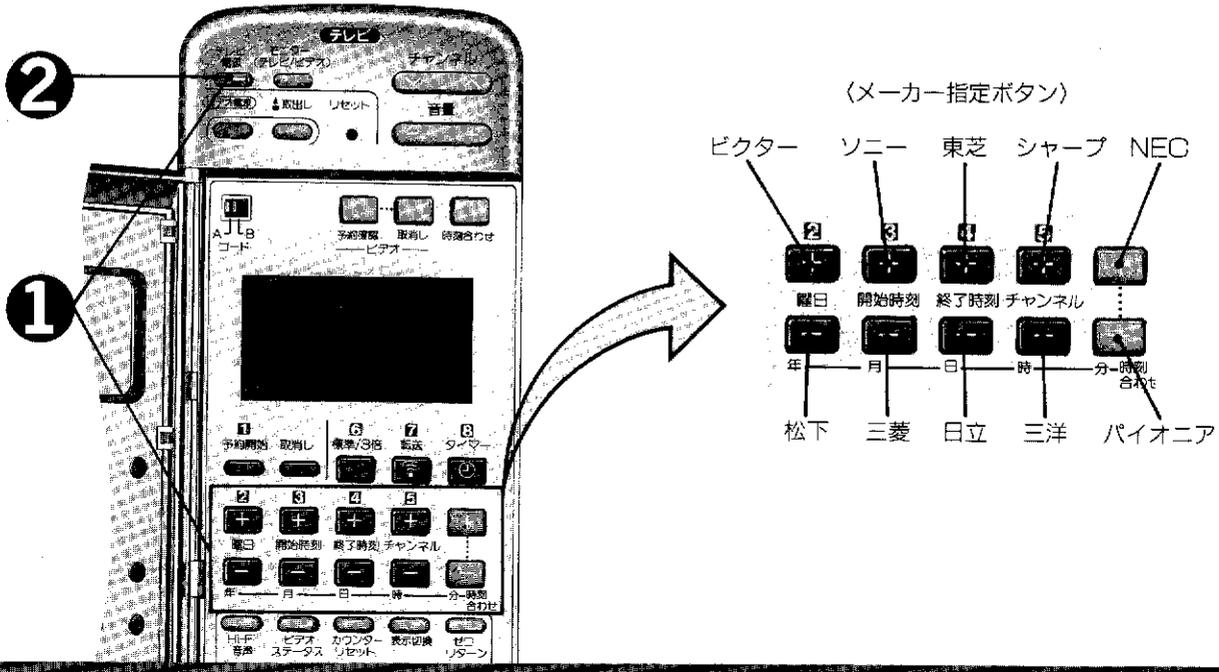
リモコン表示窓

現在時刻表示
開始時刻表示
ガイドチャンネル表示
月日表示
録画チャンネル表示
曜日表示
録画スピード表示
年(西暦)表示
終了時刻表示
送信表示
予約の録画チャンネル表示
転送表示

ジョグ/シャトルボタン 25

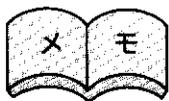
ジョグ/シャトルボタンを押すと、ランプが点灯します。
- もう一度押すとランプは消えます。
- 約1分以内に次の操作をしないとランプは自動的に消えます。
- ランプ点灯中は
  ジョグダイヤルでコマ送り再生
  シャトルリングで可変速再生ができます。

- 乾電池は2本とも新しいものと交換してください。使用した乾電池と混ぜて使用しないでください。
- 単3乾電池(UM-3型)をご使用ください。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- リモコン操作ができる距離が短くなったり、リモコン表示窓がうすくなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

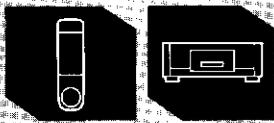
他社のテレビを操作する

TVマルチブランドリモコン

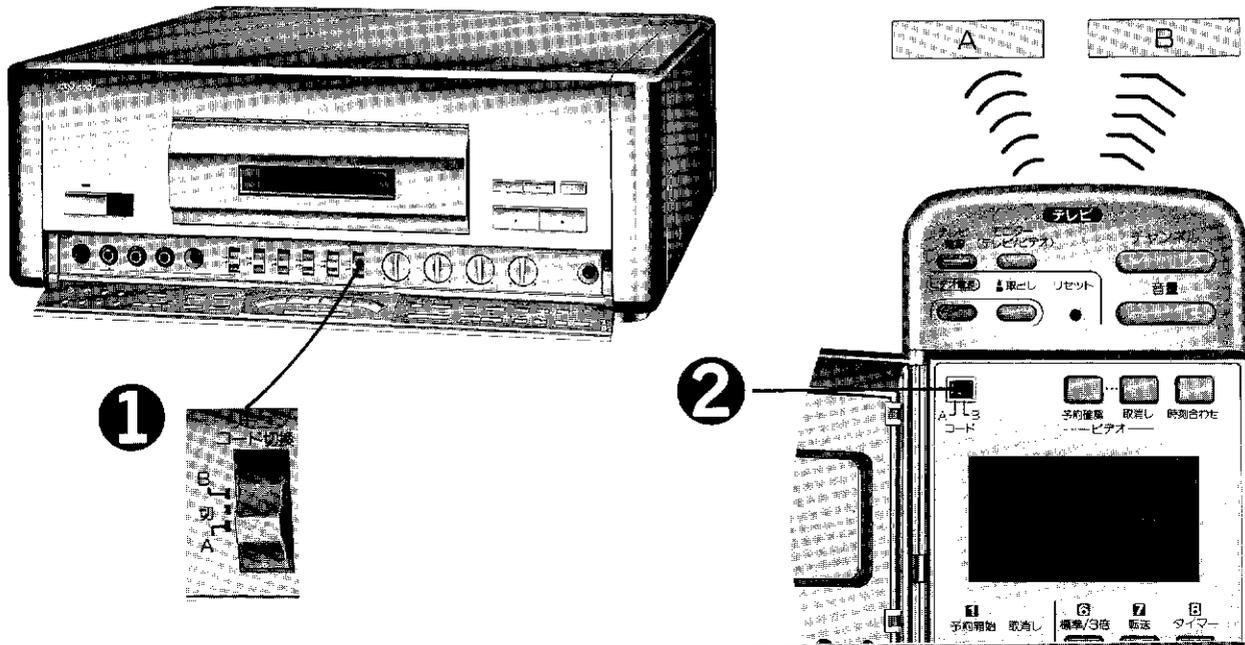
国内メーカー10社のテレビ操作（電源の入・切、チャンネル、音量、入力切換）ができます。
ご購入時は、ビクター製テレビの指定になっています。

❶ テレビ電源ボタンを押しながら、メーカー指定ボタンを押す

❷ テレビの電源が入/切するか確認する

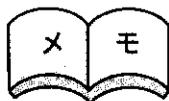
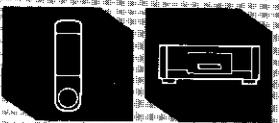
・チャンネル、音量、入力切換もできるか確認します。

・まちがえたときは、もう一度設定し直してください。
・電池交換後、時計表示が0:00で点滅するときは、テレビのメーカー指定をやり直してください。

・テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

2台のビデオを操作する

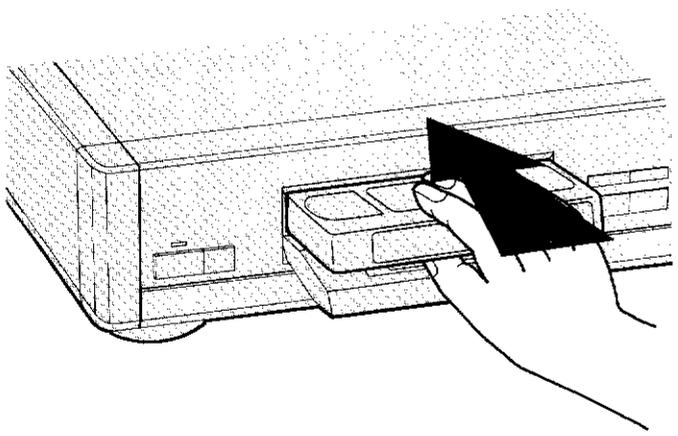
本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する　リモコンコード切換

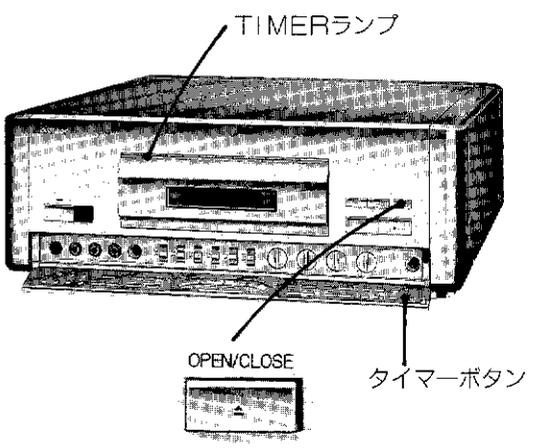
リモコン操作すると、２台が同時に同じ動きをしてしまい、ビデオ操作がうまくいかないことがあります。
本機は、リモコンコードを別に設定し、１つのリモコンで２台のビデオを別々に操作することができます。

❶ ビデオ側のリモコンコード切換スイッチがAの場合

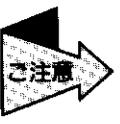
❷ リモコンのA/Bコード切換スイッチもAにする

■Bコードにする場合は、本体もリモコンもBコードにします。

・リモコンで操作させたくないときは、本体のリモコンコード切換スイッチを切にします。

ビデオカセットについて

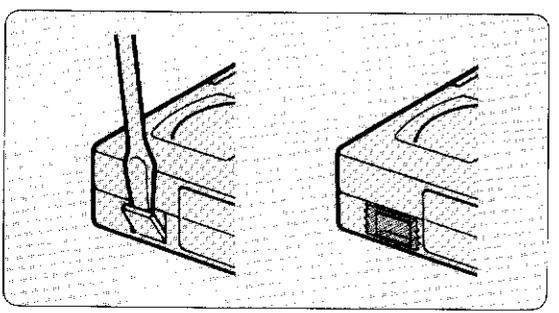
カセットの出し入れ

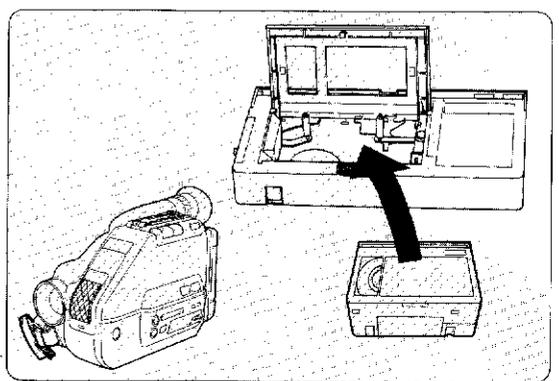
入れかた

❶OPEN／CLOSEボタンを押す
・ドアが開きます。
❷テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押す
・電源が入り、ドアが閉まります。
・カウンターが0：00：00になります。
・つめのないカセットを入れると再生を始めます。

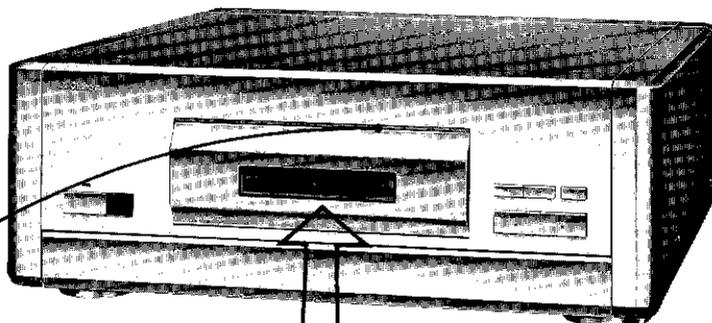
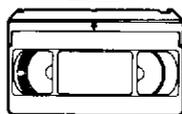
出しかた

❶OPEN／CLOSEボタンを押す
・ドアが開き、カセットが出てきます。
・リモコンの場合は、取出しボタンで操作します。
❷OPEN／CLOSEボタンを押す
・ドアが閉まります。

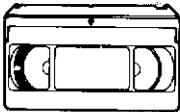
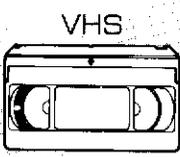
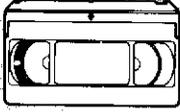
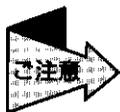
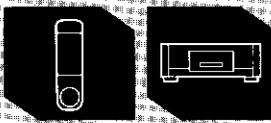
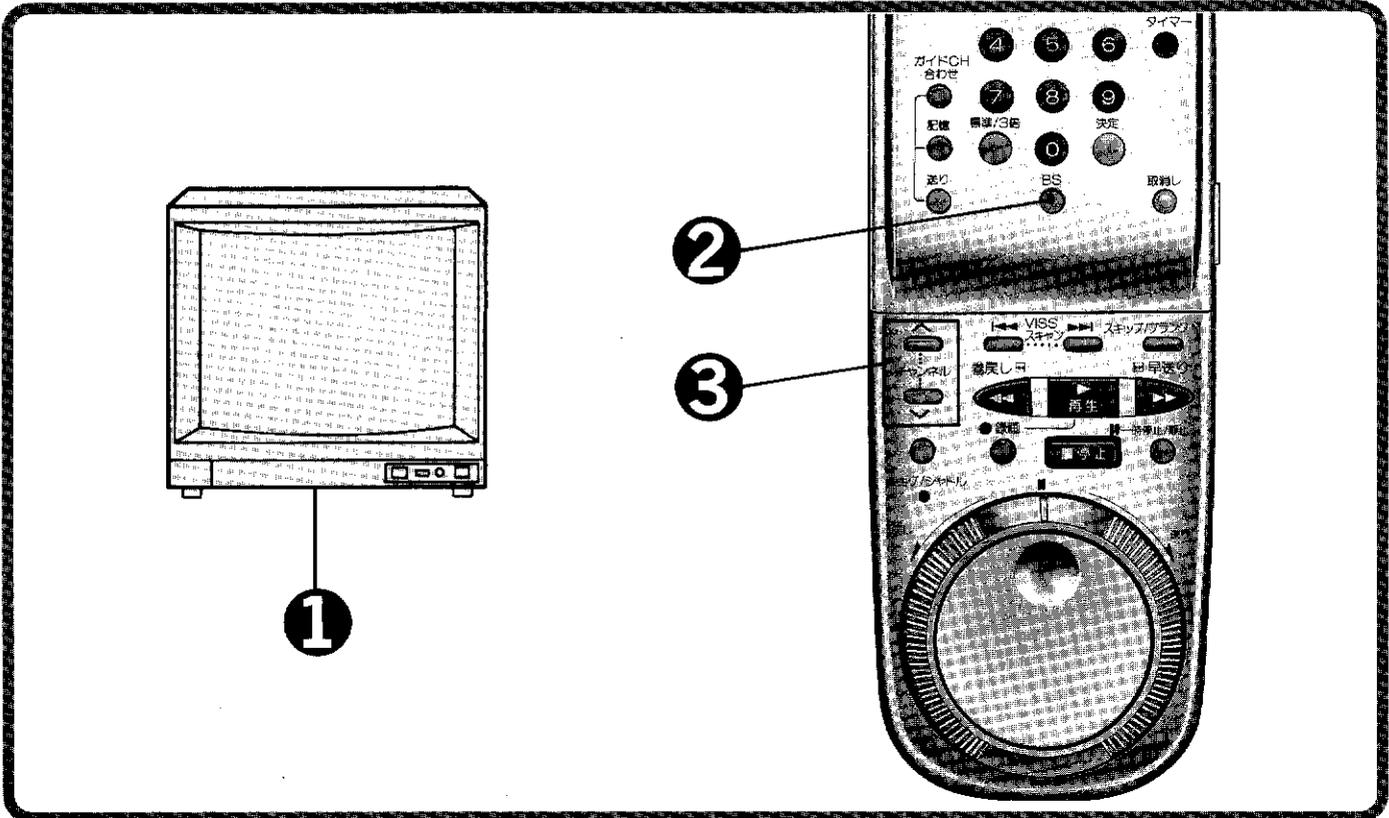
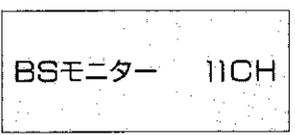
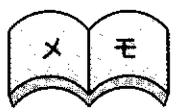
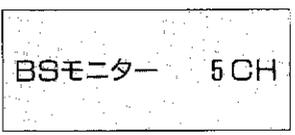
・カセット無しでドアを開いたままにしておくと、約１分後に自動的に閉まります。

・カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。
特に小さいお子様などがドアに手をはさまないようにご注意ください。
もし手などをはさんだ場合、数秒後にドアが開きます。
・TIMERランプ点灯中はテープを取り出すことはできません。
タイマーボタンでTIMERランプを消してから取り出してください。
・テープを入れたらつまってしまい、数秒後にテープが自動的に出てきた。
テープを斜めに入れるなど、入れかたによっては内部の保護回路が働き、テープが自動的に出てきます。このようなときは、数秒待ち、もう一度正しく入れ直してください。

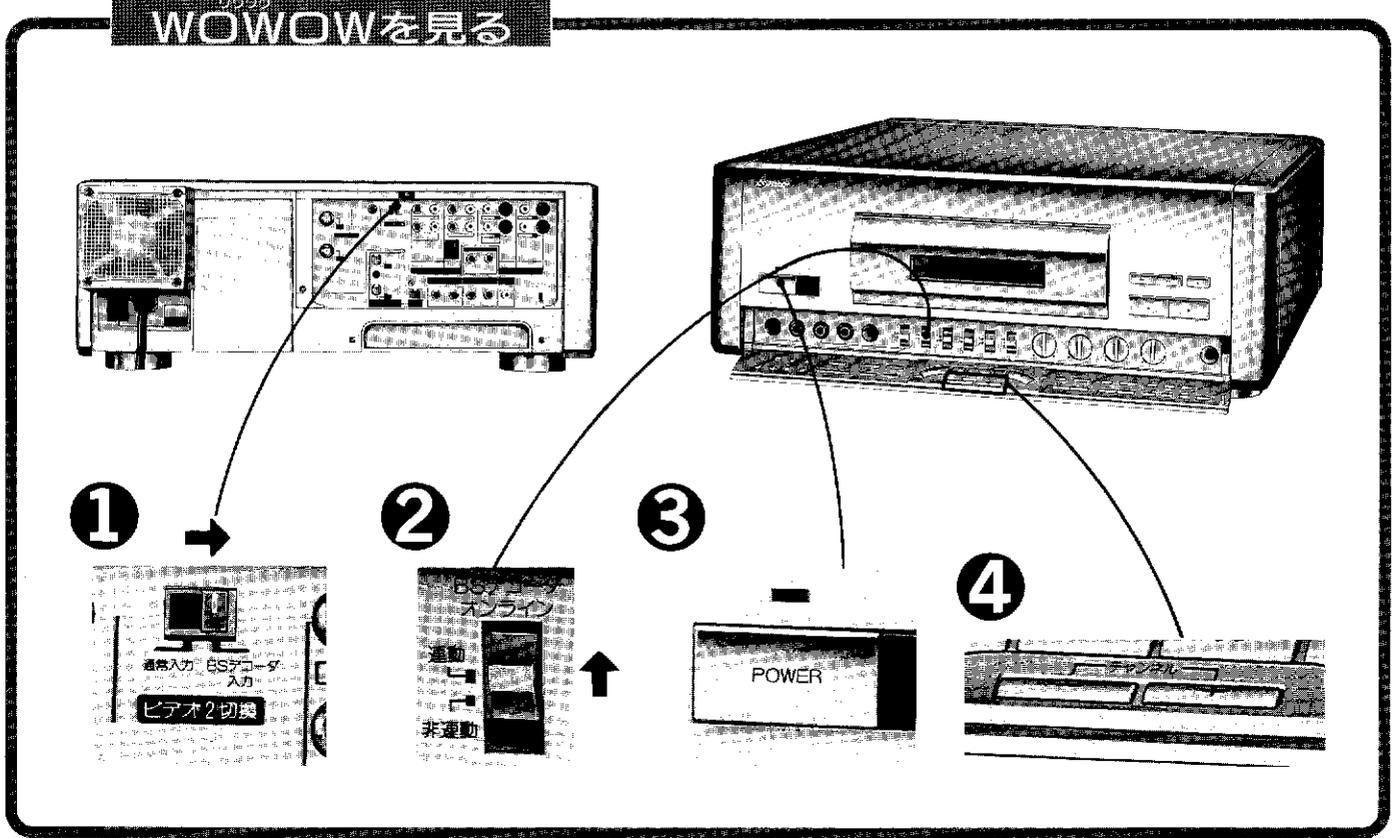
大切なテープを消さないために

つめ(誤消去防止用)を折って、取りのぞいてください。
ふたたび録画したいときは、セロハンテープを２重に貼ってください。

ビデオムービーで録画したVHS-Cテープを見るには

別売のカセットアダプターC－P６をご使用ください。

S-VHS録画する

S-VHSカセットを入れると、自動的にS-VHS録画をします。
S-VHSランプが点灯していることを、確認してください。

●使用カセットと録画方式

使用カセット	録画方式	S-VHSランプ		
S-VHS	S-VHS	S-VHS ■	点灯	S-VHSカセットを入れると点灯します。
	VHS	S-VHS □	消灯	モード選択画面でS-VHS記録を切にします。(90ページ参照)
VHS	VHS	S-VHS □	消灯	S-VHS録画できません。

・S-VHS録画したテープは、他のVHSビデオでは正常に再生できません。
S-VHS対応ビデオまたはSQPB(S-VHS簡易再生機能)付ビデオで再生してください。

衛星放送を見る

	テレビ画面	本体表示窓
❶ **テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする**	ビデオ1	
❷ **BSオレンジボタンを押す** ・ビデオ電源切でも見ることができます。	BSモニター　11CH	BSモニター　11CH
❸ **チャンネルボタンで見たい衛星放送を選ぶ**	BSモニター　5CH	

・録画・再生やタイマースタンバイ中でも、BSオレンジボタンを押すと衛星放送を受信できます。
もう一度BSオレンジボタンを押すと前の状態に戻ります。
ただし、テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、衛星放送を録画中に別の衛星放送の番組を見ることはできません。

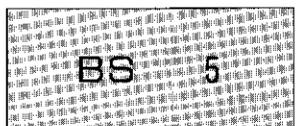
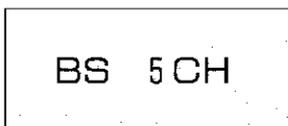
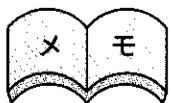
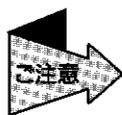
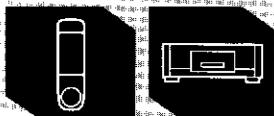
WOWOWを見る

ビデオ２切換スイッチをBSデコーダ入力にする

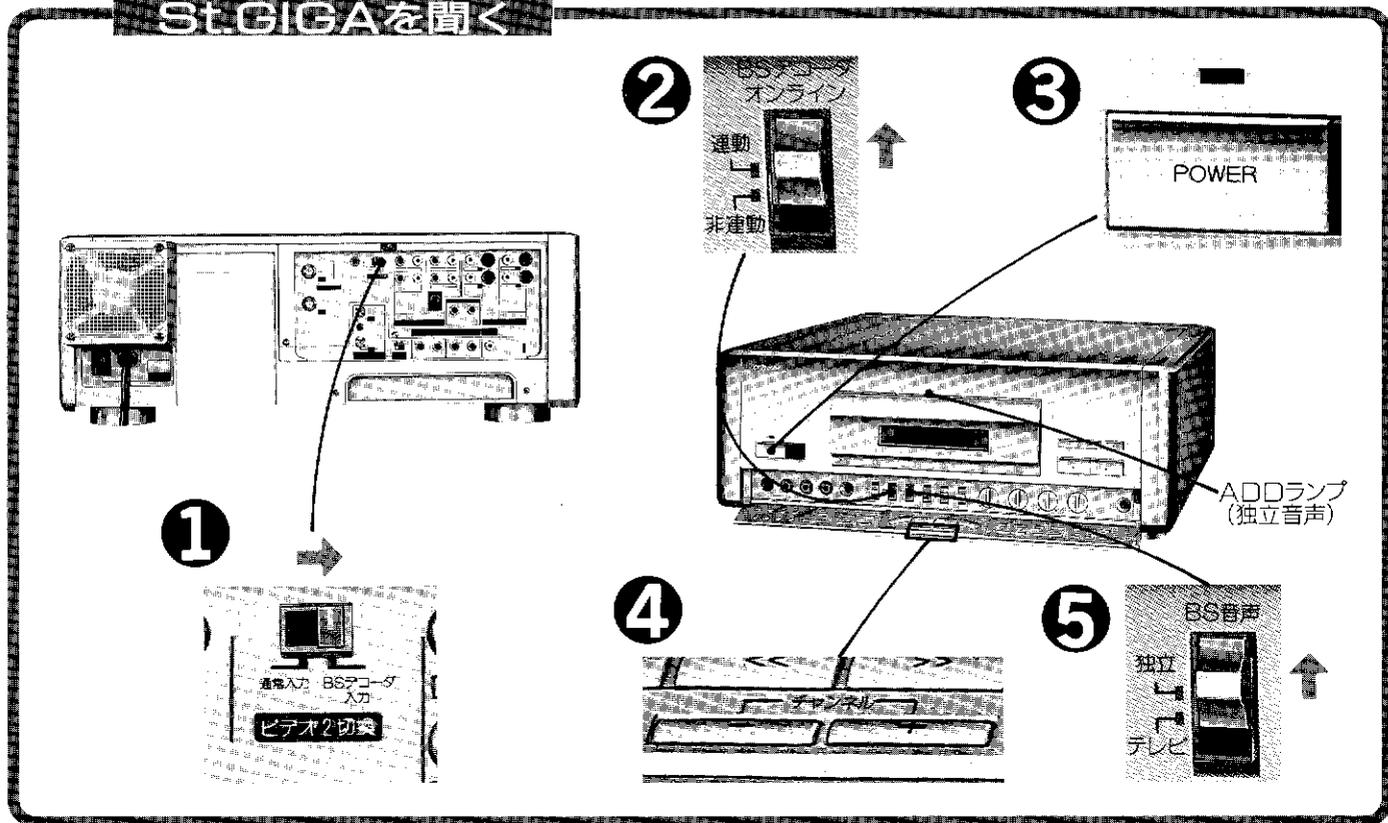
❷ BSデコーダオンラインスイッチを連動にする

❸ 本機の電源を入れたあとに、BSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を**入・切**すると、BSデコーダの電源も連動して**入・切**することを確認します。

❹ チャンネルボタンでBS５チャンネルを選ぶ

テレビ画面	本体表示窓
BS　５CH	BS　５

■**本機とBSデコーダのBS音声スイッチを両方ともテレビにしてください。**

・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
・**ビデオ２切換スイッチ**を通常入力にすると、ビデオ２は通常の外部入力になります。

・WOWOWのタイマー録画で、録画開始時にBSデコーダの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、BSデコーダの電源が入であることを確認してください。

衛星放送を見る(つづき)

St.GIGAを聞く

❶ ビデオ2切換スイッチをBSデコーダ入力にする

❷ BSデコーダオンラインスイッチを連動にする

❸ 本機の電源を入れたあとに、BSデコーダの電源を入れる

・本機の電源を入・切すると、BSデコーダの電源も連動して入・切することを確認します。

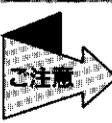
❹ チャンネルボタンでBS 5チャンネルを選ぶ

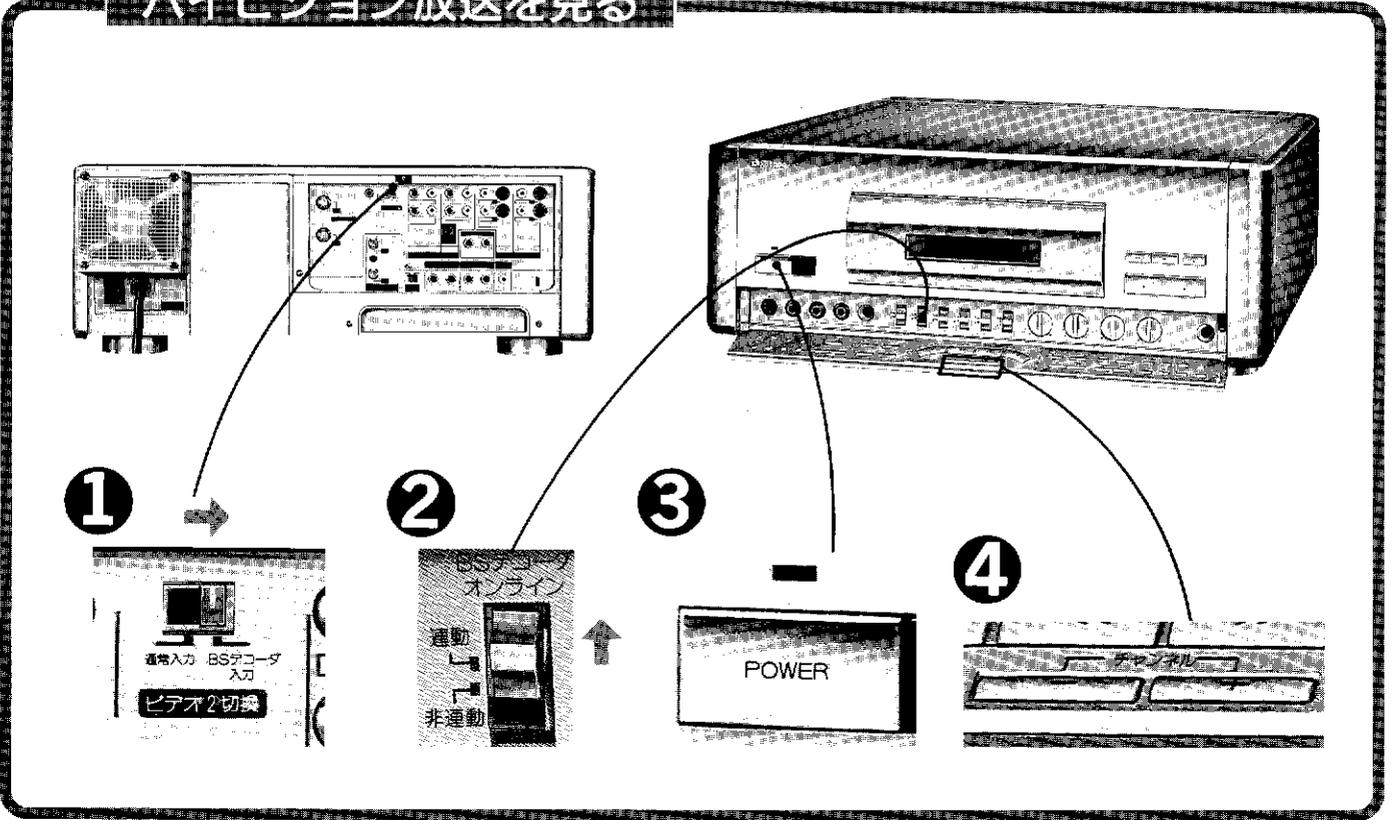
・独立音声が放送されていると、ADDランプが点灯します。

❺ BS音声スイッチで独立を選ぶ

・独立音声が聞こえます。

❻ 独立音声が聞こえないときは、BSデコーダの音声選択ボタンで独立を選ぶ

・スクランブル放送で二ケ国語放送を聞く場合は、BSデコーダの**音声選択ボタン**で聞きたい音声を選んでください。

・St.GIGA放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
・BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
・独立音声放送がないときに独立の位置にすると、音声は出ません。
・WOWOWの画面が乱れていても、独立音声は正常に録音できます。
・St.GIGAをタイマー録画する場合、本機とBSデコーダの**BS音声スイッチ**を両方とも独立にしてください。
・スクランブル放送時、デジタル音声出力端子から出力される音声は、スクランブル信号のため無音声になります。BSデコーダのデジタル音声出力端子からデジタルアンプなどへ接続してください。
・St.GIGAのタイマー録画で、録画開始時にBSデコーダの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、BSデコーダの電源が入であることを確認してください。

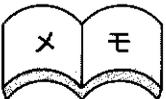
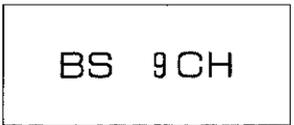
ハイビジョン放送を見る

ビデオ 2 切換スイッチをBSデコーダ入力にする

BSデコーダオンラインスイッチを連動にする

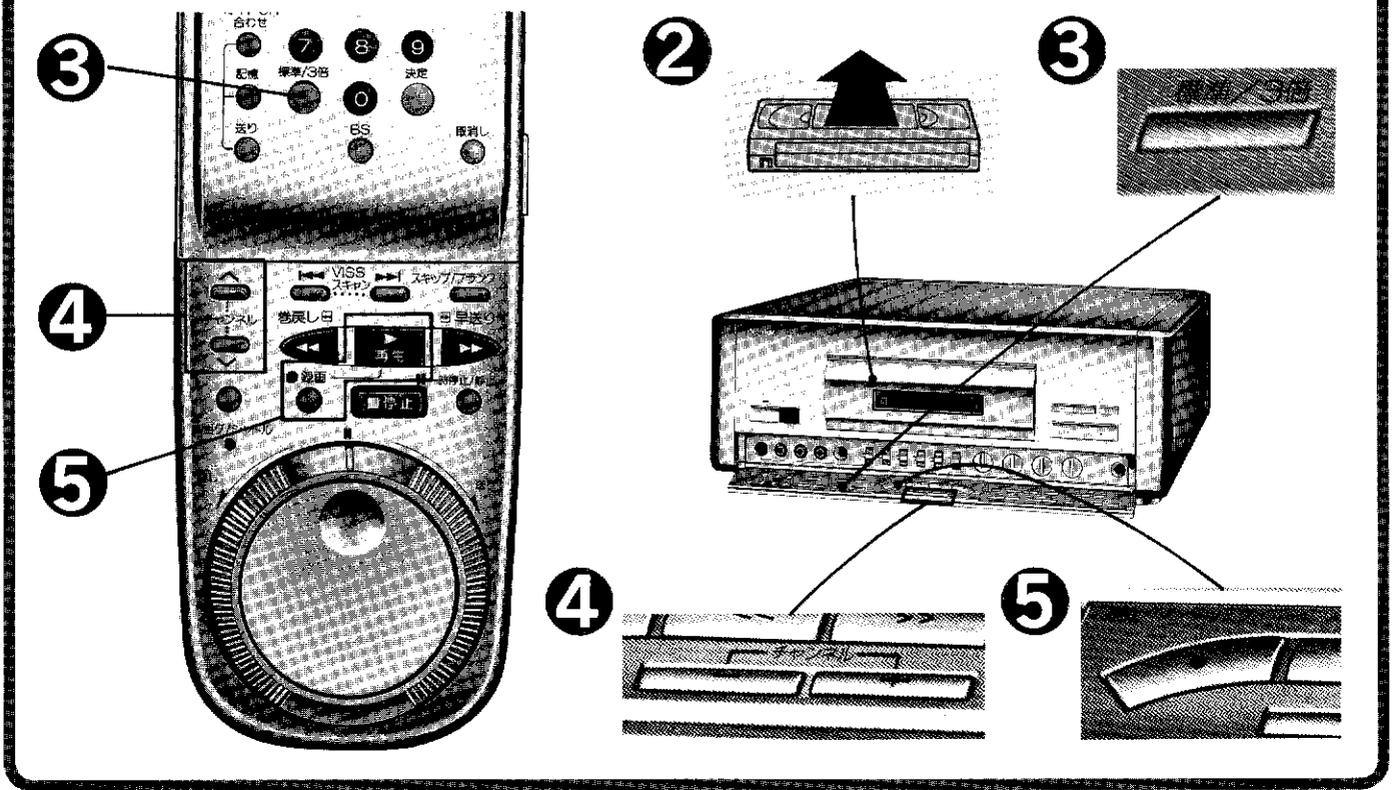
❸ 本機の電源を入れたあとに、MUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる

・本機の電源を**入・切**すると、MUSE-NTSC コンバーターの電源も連動して**入・切**することを確認します。

❹ チャンネルボタンで BS 9 チャンネルを選ぶ

BS　9CH

・MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もお読みください。
・**ビデオ 2 切換スイッチ**を通常入力にすると、ビデオ 2 は通常の外部入力になります。

・ハイビジョン放送のタイマー録画で、録画開始時にMUSE-NTSCコンバーターの電源が入るようにするため、タイマースタンバイする前に、MUSE-NTSCコンバーターの電源が入であることを確認してください。

テレビ番組を録画する

❶ テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする

テレビ画面：ビデオ1

❷ テープを入れる

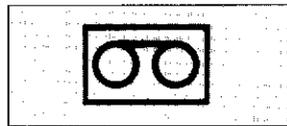
・つめがあることを確認します。(14 ページ参照)

本体表示窓：TAPE IN

❸ 標準/3倍ボタンで録画スピードを選ぶ

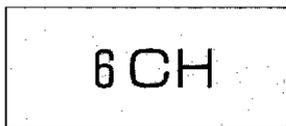
テレビ画面：3倍

本体表示窓：EP

メモ

・録画を始めるとインデックス(頭出し信号)を書き込みます。番組の頭出しに使用します。(37 ページ参照)
・一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・テープがなくなると自動的に巻き戻します。

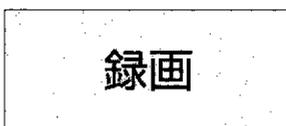
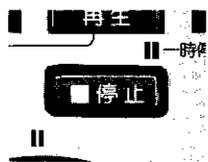
チャンネルボタンで チャンネルを選ぶ

・衛星放送も選べます。
・リモコンの場合は、**数字ボタン**でも選べます。

6CH

録画ボタンで録画を始める

・リモコンの場合は、**録画ボタン**を押しながら**再生ボタン**を押します。

つめのないテープには録画できません。

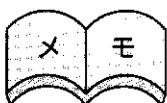
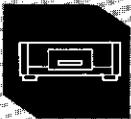
録画

録画をやめるには、停止ボタンを押します。

録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。

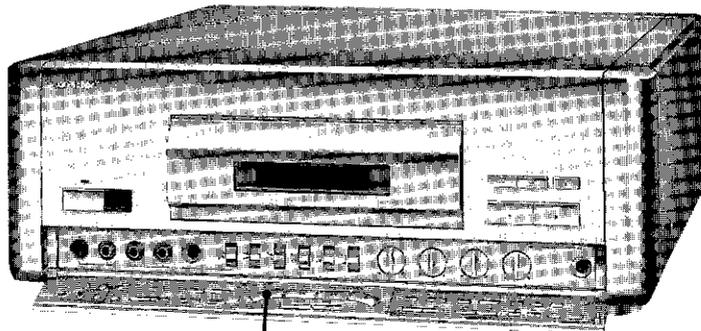
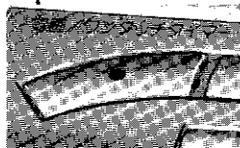
・**再生ボタン**で、また録画を始めます。

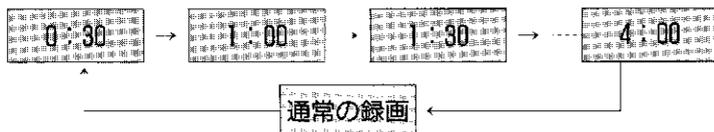
録画中に別の番組を見るには

❶テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にします。
❷テレビ側のチャンネル切換で、見たい番組にします。
・録画には影響しません。

地上放送の番組を録画しながらBS番組を見るには

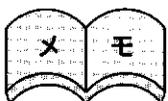
❶録画中に**BSオレンジボタン**を押します。
❷テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
❸ビデオの**チャンネルボタン**で見たいBS番組にします。
・テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、BS番組を録画しながら、別のBS番組を見ることはできません。

・録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切りたいとき(ワンタッチタイマー録画)は、次ページをご覧ください。

録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切る　ワンタッチタイマー録画

こんなときに便利です。
・録画の停止を忘れそうなとき
・録画の途中で外出の用ができたとき

録画を始めたあと、もう一度録画ボタンを押す

・**録画ボタン**を押すたびに、30分刻みで4時間まで設定できます。

・表示された時間だけ録画したあと、自動的に電源が切れます。
・ワンタッチタイマー録画中に**録画ボタン**を押すと、録画時間を変更できます。

リモコンの録画ボタンでは操作できません。

本体表示窓

ワンタッチタイマー録画を途中でやめるには、STOPボタンを押します。

・**録画時間を4時間以上または分刻みで合わせたいときは**
(例)録画時間を5時間15分にする
1 ❶の操作後、**送りボタン**を押します。
(以後10秒以内に各操作を行います)
2 **合わせボタン**で5(時間)にします。
3 **送りボタン**を押します。
4 **合わせボタン**で15(分)にします。
5 **送りボタン**を押します。(設定完了)
・最大9時間59分まで設定できます。

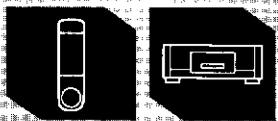
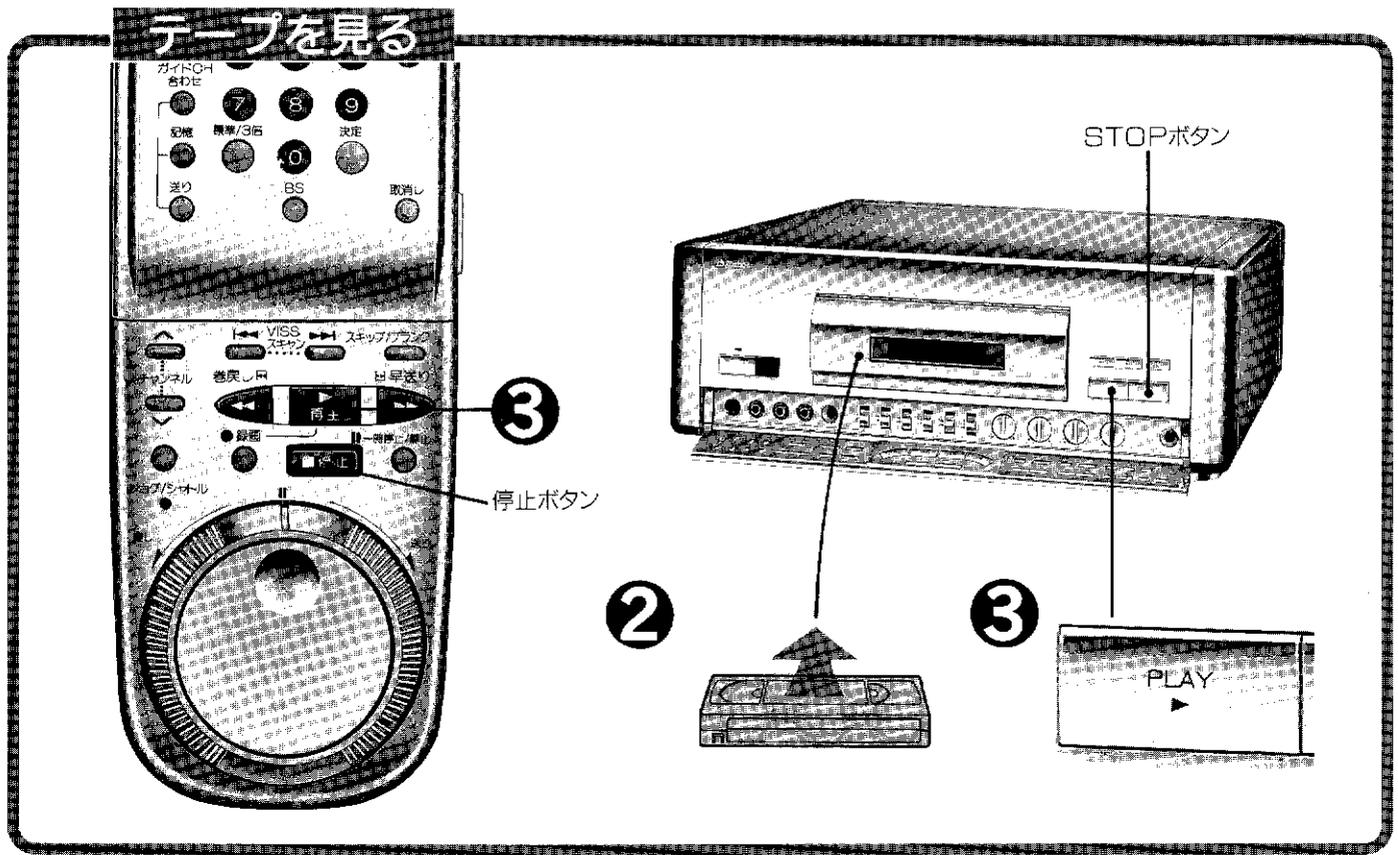
・ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にカセットが出て電源が切れます。

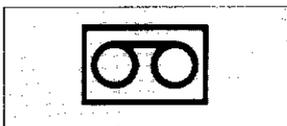
再生

テープを見る

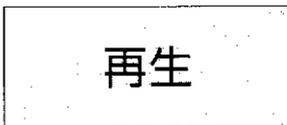
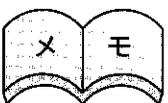
テレビ画面 本体表示窓

テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にする

ビデオ1

テープを入れる

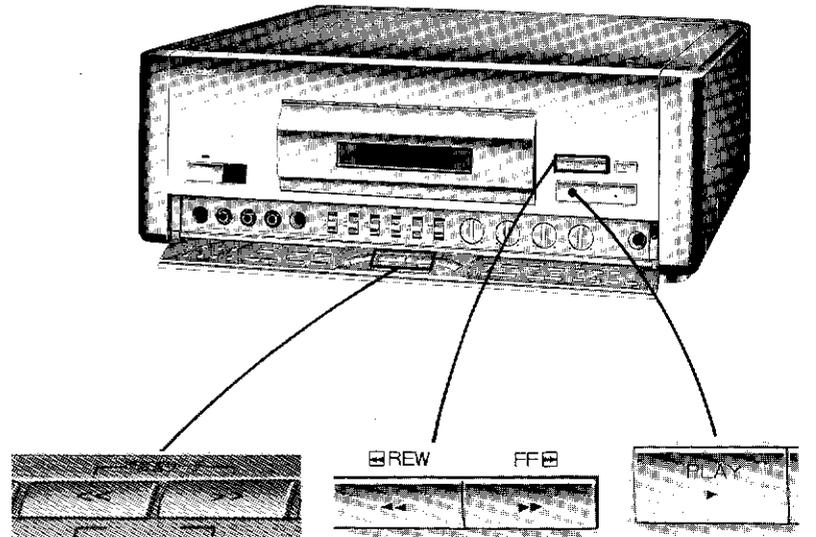
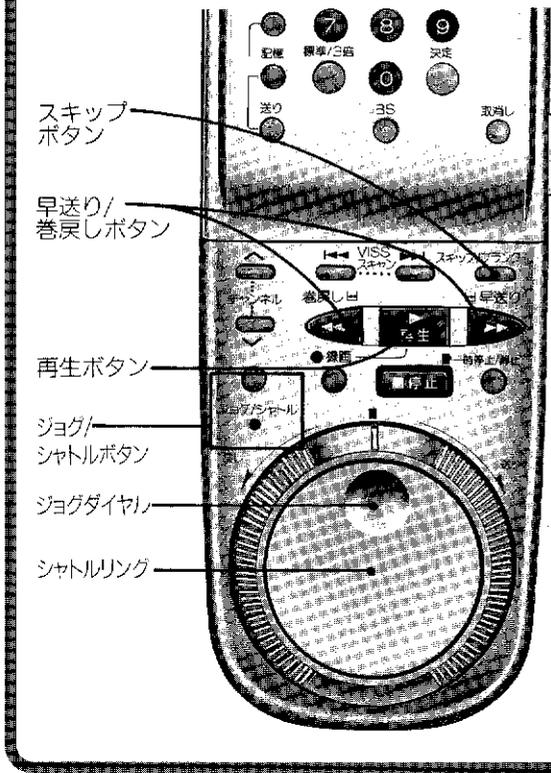
・電源が入ります。
・つめのないテープを入れると再生を始めます。

再生ボタンを押す

・再生が始まります。

再生

■再生をやめるには停止ボタンを押します。

・再生を始めるとトラッキングを自動的に調節します。
・テープがなくなると自動的に巻き戻します。
・動きを止めるには**一時停止ボタン**を押します。**再生ボタン**で再生に戻ります。
一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。

速さを変えて見る

スキップボタン
早送り/巻戻しボタン
再生ボタン
ジョグ/シャトルボタン
ジョグダイヤル
シャトルリング

REW　FF　PLAY

画面を見ながら、早送り/巻戻し再生をする　スキューレスファインサーチ

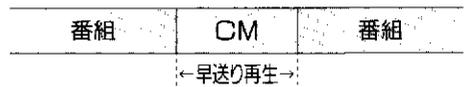
早送り/巻戻しボタンの操作方法 ＼ テープの録画スピード	標準	3倍
一度ポンと押す(ラッチ＊)	11倍速で再生します	31倍速で再生します
押し続ける	7倍速で再生します	7倍速で再生します

●**再生ボタン**で通常再生に戻ります。
●指をはなすと通常再生に戻ります。

＊ラッチ・・・手をはなしても飛ばし見再生を続けます。

CMを飛ばす　スキップサーチ

・再生中に、**スキップボタン**を1回押すと30秒ぶんを早送り再生します。
・押すたびに30秒刻みで最大2分(4回押す)まで飛ばし見できます。
・**再生ボタン**で通常再生に戻ります。

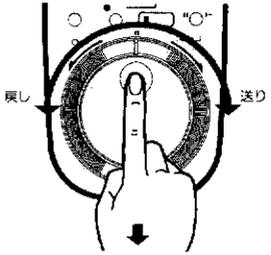
番組	CM	番組
	←早送り再生→	

早送り/巻戻し中の画像をのぞき見する　ハイスピードオープンサーチ

・早送り中に、**早送りボタン**を一度ポンと押すと、のぞき見できます。
・巻戻し中に、**巻戻しボタン**を一度ポンと押すと、のぞき見できます。

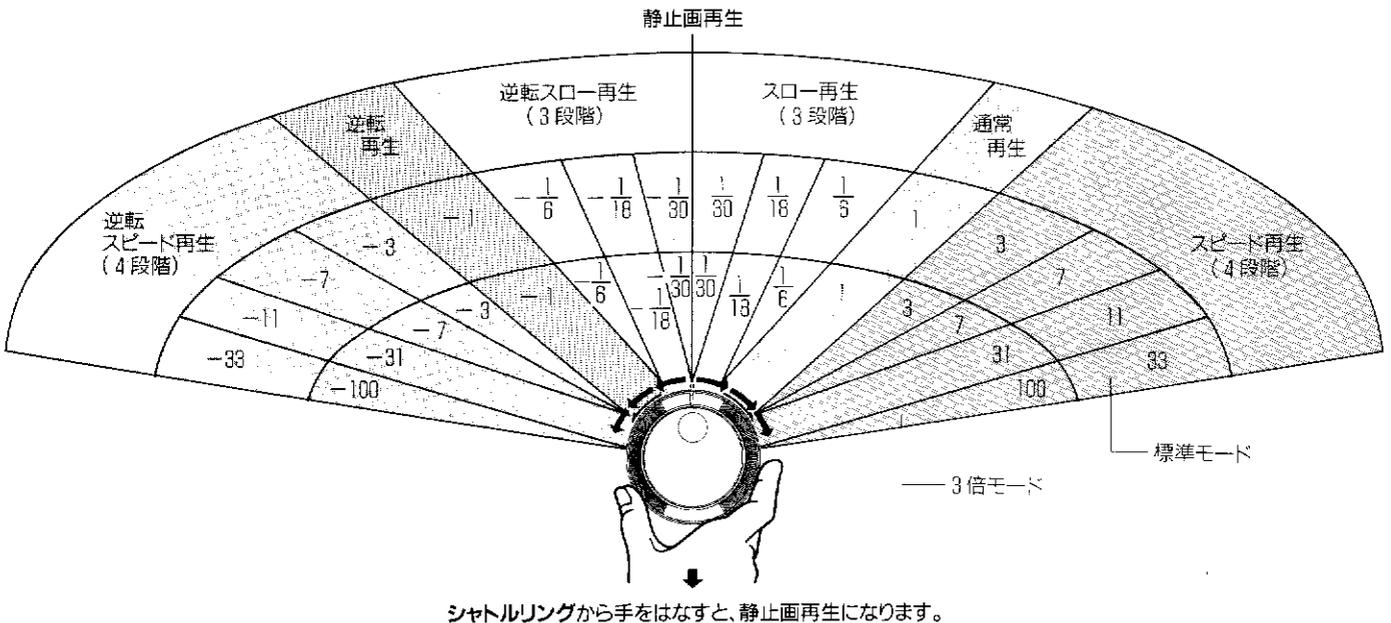
・もう一度**早送り**または**巻戻しボタン**を押すと、もとの早送りまたは巻戻しに戻ります。
・再生のスピードは33倍速(標準)または100倍速(3倍)です。

・ハイスピードオープンサーチ中にテープの巻き終わりや巻き始め付近になると、テープ保護のため、自動的にもとの早送りまたは巻戻しに戻ります。
・T-160、T-168、T-180テープなどの中央付近では、ハイスピードオープンサーチができないことがあります。

リモコンのジョグダイヤルを使ってコマ送り再生する

❶**ジョグ／シャトルボタン**を押して、ランプを点灯させます。
❷再生または静止画再生中に、**ジョグダイヤル**を回すと
　コマ送り再生ができます。

●ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

リモコンのシャトルリングを使って可変速再生する

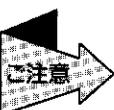
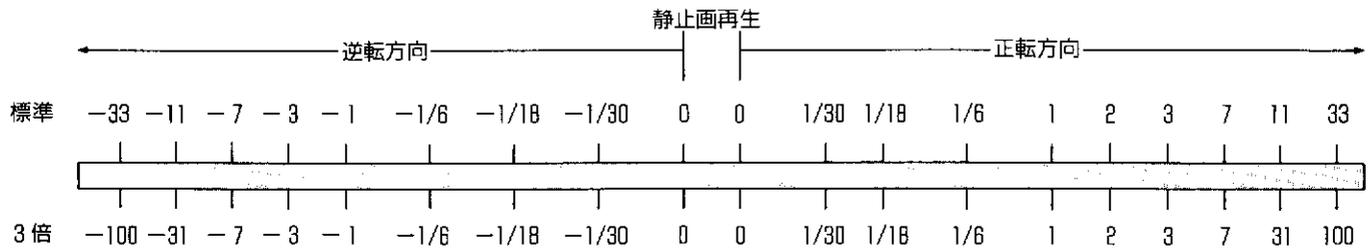
❶**ジョグ／シャトルボタン**を押して、ランプを点灯させます。
❷再生または静止画再生中に、**シャトルリング**を回すと可変速再生ができます。

シャトルリングから手をはなすと、静止画再生になります。

本体の可変速サーチボタンで可変速再生する

再生または静止画再生中、**可変速サーチボタン**を押すたびに
サーチスピードを変えることができます。
・可変速再生中に逆方向のボタンを押すと静止画再生になります。
・33倍速または100倍速サーチをハイパーストロボサーチといいます。

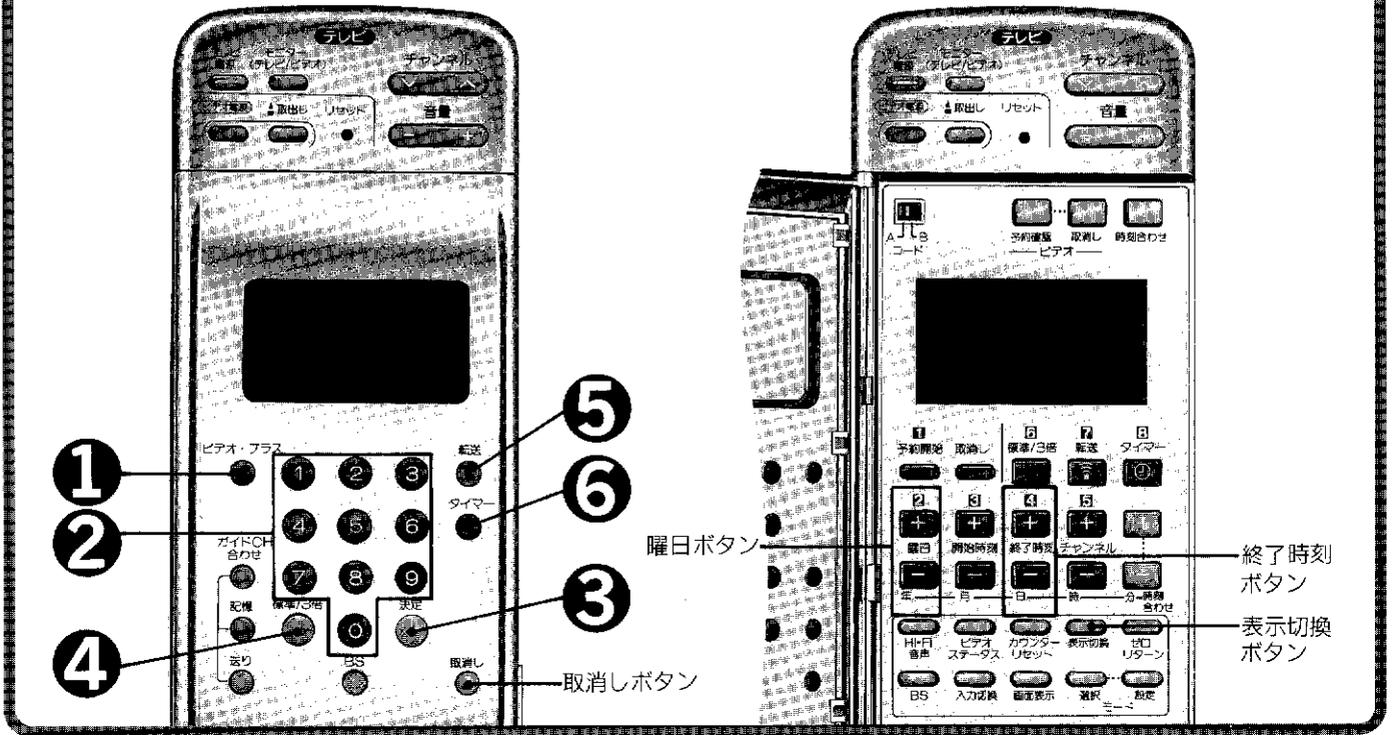
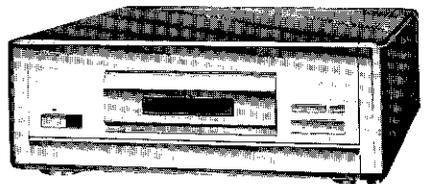
静止画再生

←逆転方向　｜　正転方向→

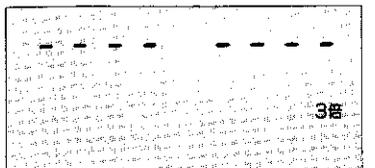
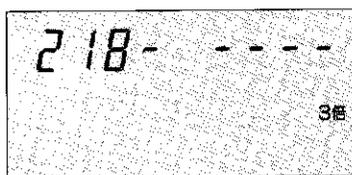
標準	−33	−11	−7	−3	−1	−1/6	−1/18	−1/30	0	0	1/30	1/18	1/6	1	2	3	7	11	33
3倍	−100	−31	−7	−3	−1	−1/6	−1/18	−1/30	0	0	1/30	1/18	1/6	1	2	3	7	31	100

・スキューレスファインサーチ、ハイパーストロボサーチ、スキップサーチ、ハイスピードオープンサーチ、ジョグダイヤル／シャトルリングまたは本体の**可変速サーチボタン**を使っての可変速再生中は音声が出ません。
・静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。
・3倍で記録したテープで100倍速サーチをすると、色がうすくなることがあります。

タイマー予約

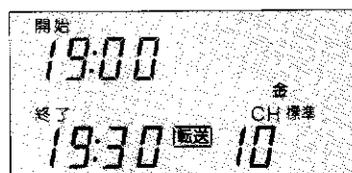
〈ビデオ・プラス〉Gコードを使ってタイマー予約する

Gコードを入れ、本体へ転送します。本体では2週間先まで8つの番組が予約できます。

曜日ボタン
終了時刻ボタン
表示切換ボタン
取消しボタン

上のテレビ欄の午後7時から7時30分の番組を標準モードで予約する場合

❶つめのついたカセットを入れます。
❷**表示切換ボタン**を押して、本体の現在時刻を確認します。
❸リモコンの時刻合わせとチャンネル設定を行います。(86 87ページ参照)
❹新聞や雑誌などを用意してください。

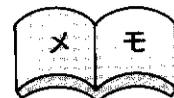
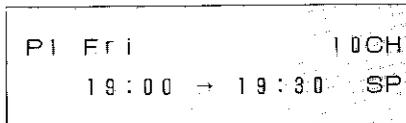
❶ 予約開始
ビデオ・プラスボタンを押す

Gコード(番組予約番号)の入力
数字ボタンを押す

・Gコードの入力をまちがえたときは、**取消しボタン**を押し、再度**数字ボタン**で入力してください。

予約内容の確認
決定ボタンを押す

・毎日または毎週予約をする場合、フタを開けて**曜日ボタン**で選びます。(35ページ参照)

録画スピード
標準/3倍ボタンを押す

本体表示窓

転送ボタンで本体へ転送する

・リモコンに表示している予約が転送されます。
・本体が正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、予約内容を5秒間表示します。

・リモコンには1番組しか記憶できません。
・2つ以上予約するときは、取消しボタンでリモコン表示窓の予約を取消し、❷〜❺の操作をくり返します。

設定が終わったら

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

・本体のTIMERランプが点灯し、電源が切れます。

これで準備OKです

リモコン表示窓を時計表示に戻すには

ビデオ・プラスボタンを押します。

本体へ転送した予約を取消すには

33ページをご覧ください。

・野球などで番組の延長が予想されるときは❸の操作後、リモコンのフタを開けて終了時刻ボタンを押し終了時刻を変更してください。
・Gコードによる予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。

・リモコン表示窓に"Err"を表示したら
①番組の開始時刻が過ぎている
②現在から2週間より先の予約をしたとき
③Gコードの入力が正しくないとき
このような場合は、**ダイレクトボタン**で再度**Gコードを入力**してください。

リモコンでタイマー予約する

リモコンに予約を入れ、本体へ転送します。本体では2週間先まで8つの番組が予約できます。

取消しボタン

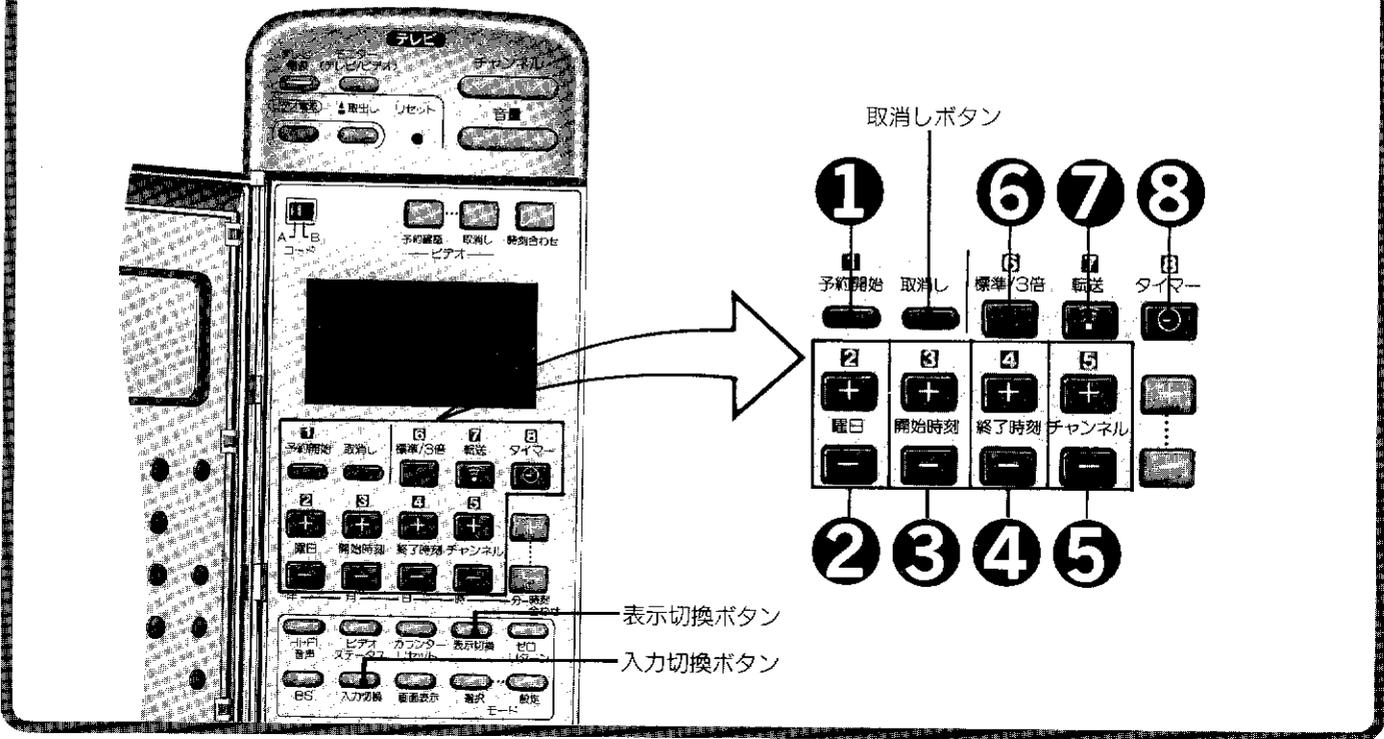
❶ ❻ ❼ ❽

予約開始 取消し 標準/3倍 転送 タイマー

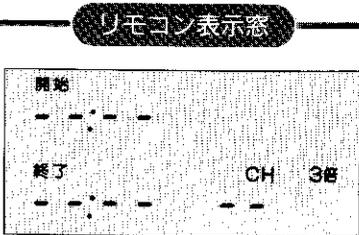
曜日 開始時刻 終了時刻 チャンネル

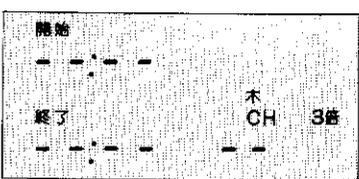
❷ ❸ ❹ ❺

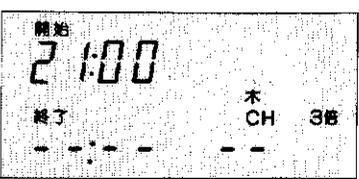
表示切換ボタン

入力切換ボタン

(例)木曜日 午後9時から9時53分まで、10チャンネルを標準モードで予約します。

❶つめのついたカセットを入れます。
❷**表示切換ボタン**を押して、本体の現在時刻を確認します。
❸リモコンの時刻合わせを行います。(87ページ参照)

❶ 予約開始
予約開始ボタンを押す

❷ 曜日
曜日ボタンを押す

・毎日または毎週予約をする場合、**ーボタン**を押し続けると早く呼び出せます。
(35ページ参照)

❸ 開始時刻
開始時刻ボタンを押す

・押し続けると、 30分刻みで変わります。
・1回づつ押すと、1分刻みで変わります。

午後の番組を予約するとき(12時~24時) **ーボタン**を押します。

深夜または午前中の番組を予約するとき(0時~12時) **+ボタン**を押します。

終了時刻
終了時刻ボタンを押す

・押し続けると、 30分刻みで変わります。
・１回づつ押すと、１分刻みで変わります。

チャンネル
チャンネルボタンを押す

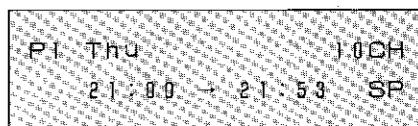
・BS番組を予約するときは、**ーボタン**を押します。
・早く呼び出すときは、押し続けます。
・外部入力を予約するときは、**入力切換ボタン**でLにします。

録画スピード
標準/3倍ボタンを押す

転送 表示が出たら

本体表示窓

転送ボタンで本体へ転送する

・リモコンに表示している予約が転送されます。
・本体が正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、予約内容を5秒間表示します。

・リモコンには１番組しか記憶できません。
・２つ以上予約するときは、取消しボタンでリモコン表示窓の予約を取消し、❷〜❼の操作をくり返します。

設定が終わったら

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

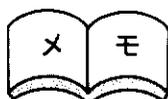
・本体のTIMERランプが点灯し、電源が切れます。

これで準備OKです

リモコン表示窓を時計表示に戻すには

予約開始ボタンを押します。

本体へ転送した予約を取消すには

33 ページをご覧ください。

・開始時刻が現在時刻から24時間以内の番組を予約するときは、操作❷の曜日入力の設定を飛ばして操作することもできます。
曜日表示は下のようになります。

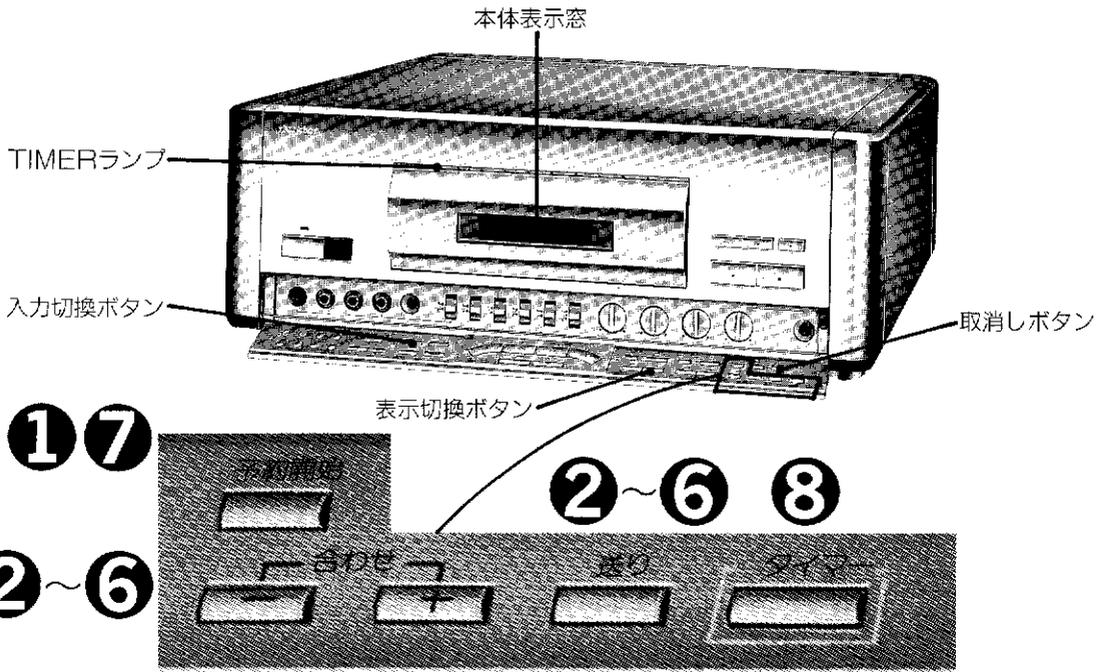
予約確認リスト画面	本体表示窓
本日	Today
明日	Tomorrow

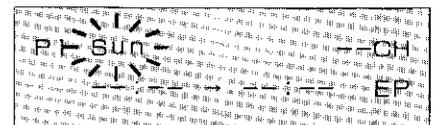
・本体へ転送したとき、「ピピッ」と鳴り、本体表示窓に "Error" を表示したら、
❶時刻合わせが行われていない
❷誤った予約を転送した
・本体へ転送したとき、「ピピッ」と鳴り、本体表示に "FULL" を表示したら、
本体の予約がいっぱい
このような場合は、予約内容をもう一度確認し、正しく転送をやり直してください。

本体でタイマー予約する

2 週間先まで 8 つの番組が予約できます。

本体表示窓
TIMERランプ
入力切換ボタン
取消しボタン
表示切換ボタン

❶❼ 予約開始
❷〜❻ ❽ 合わせ − + 送り タイマー
❷〜❻

(例)木曜日　午後 7 時から 9 時まで、BS 5 チャンネルを標準モードで予約します。

準備
❶つめのついたカセットを入れます。
❷**表示切換ボタン**を押して、現在時刻を確認します。

予約開始
予約開始ボタンを押す

曜日

❶**合わせー／+ボタン**を押す
・毎日または毎週予約をする場合、**ーボタン**を押し続けると早く呼び出せます。(35 ページ参照)
❷**送りボタン**を押す

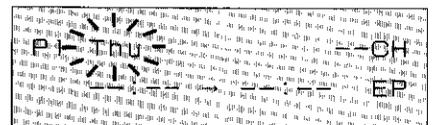
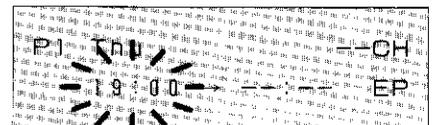
開始時刻

❶**合わせー／+ボタン**を押す
・押し続けると、30分刻みで変わります。
・１回づつ押すと、１分刻みで変わります。

午後の番組を予約するとき(12時〜24時)
ーボタンを押します

深夜または午前中の番組を予約するとき(０時〜12時)
+ボタンを押します。

終了時刻

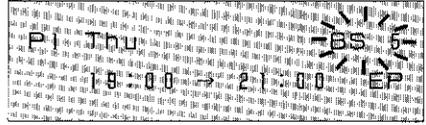
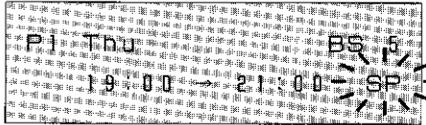
❶合わせー／＋ボタンを押す
- 押し続けると、30分刻みで変わります。
- 1回づつ押すと、1分刻みで変わります。

❷送りボタンを押す

チャンネル

❶合わせー／＋ボタンを押す
- BS番組を予約するときは、**ーボタン**を押します。
- 外部入力を予約するときは、**入力切換ボタン**でL1(またはL2、L3)にします。

❷送りボタンを押す

録画スピード

❶合わせー／＋ボタンを押す
❷送りボタンを押す

予約開始ボタンで表示を戻す

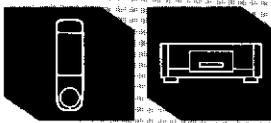
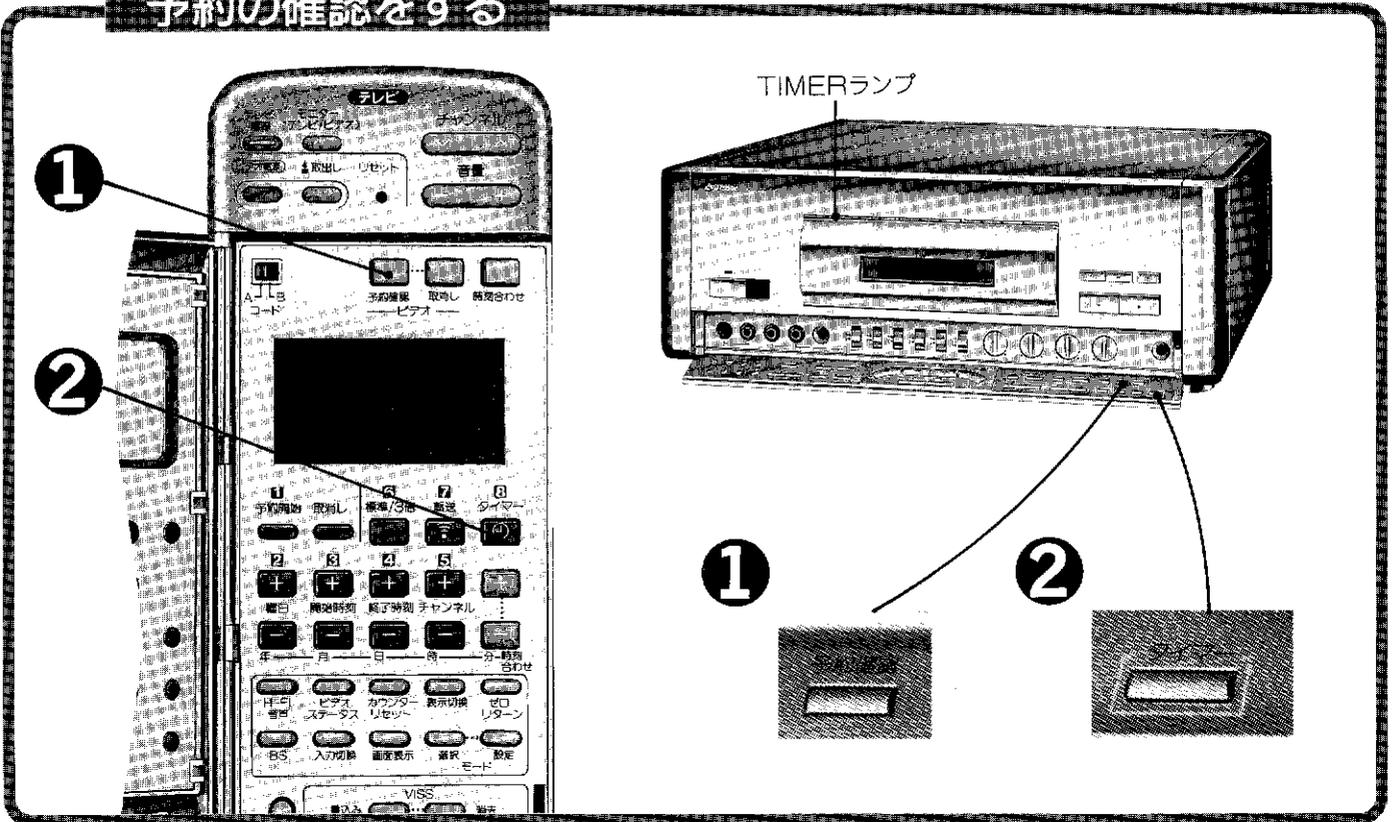
- さらに予約したいときは、❶〜❼の操作をくり返します。

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

- TIMERランプが点灯し、電源が切れます。

これで準備OKです

設定中に予約内容を取消したいときは
取消しボタンを押します。

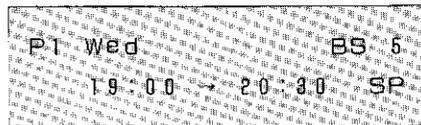
予約の確認／取消しをするには
32ページをご覧ください。

予約の確認をする

・本体のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消し、電源を入れます。

予約確認ボタンで予約内容を確認する

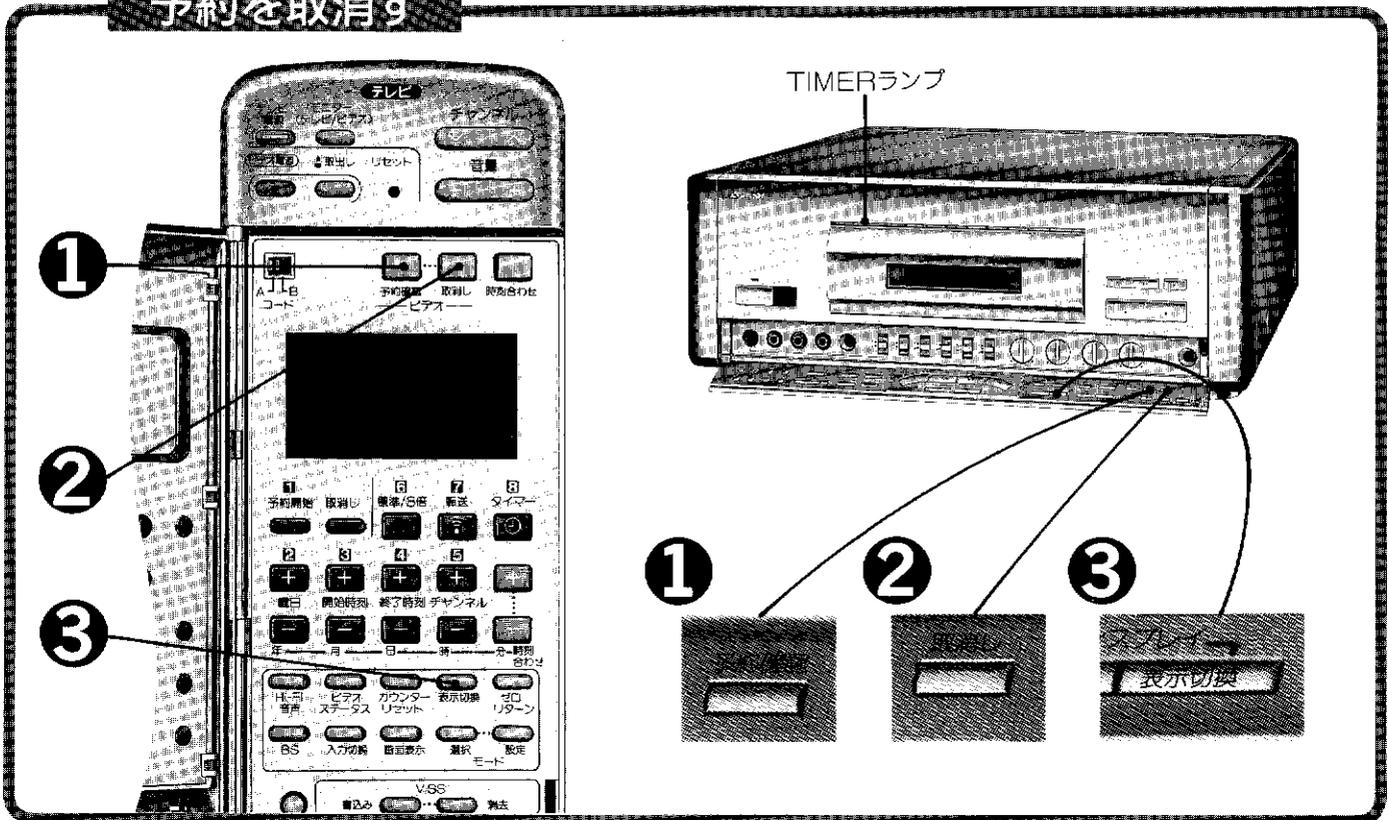
・本体表示窓の2番目以降を確認するときは、
予約確認ボタンを押して予約番号を選びます。

＊予約確認リスト＊

1	水曜	19:00~20:30	BS 5	標準
2	水曜	23:00~23:30	12	3倍
3	木曜	12:00~13:00	8	3倍
4	日曜	--:--~--:--	--	3倍
5	日曜	--:--~--:--	--	3倍
6	日曜	--:--~--:--	--	3倍
7	日曜	--:--~--:--	--	3倍
8	日曜	--:--~--:--	--	3倍

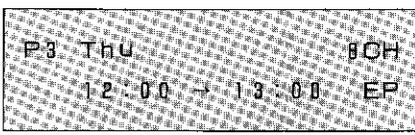
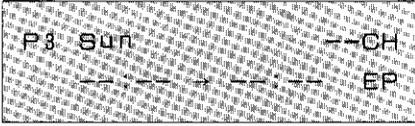
本体表示窓

タイマーボタンでタイマースタンバイにする

・本体のTIMERランプが点灯します。

予約を取消す

・本体のTIMERランプが点灯しているときは、タイマーボタンでTIMERランプを消し、電源を入れます。

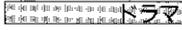
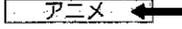
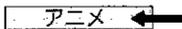
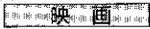
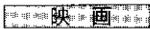
テレビ画面　本体表示窓

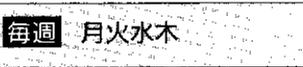
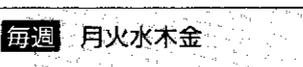
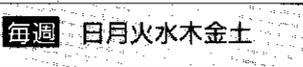
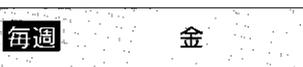
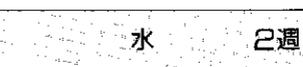
予約確認ボタンで予約内容を表示する

・**予約確認ボタン**で取消したい予約番号を点滅させます。

取消しボタンで予約を取消す

表示切換ボタンで表示を戻す

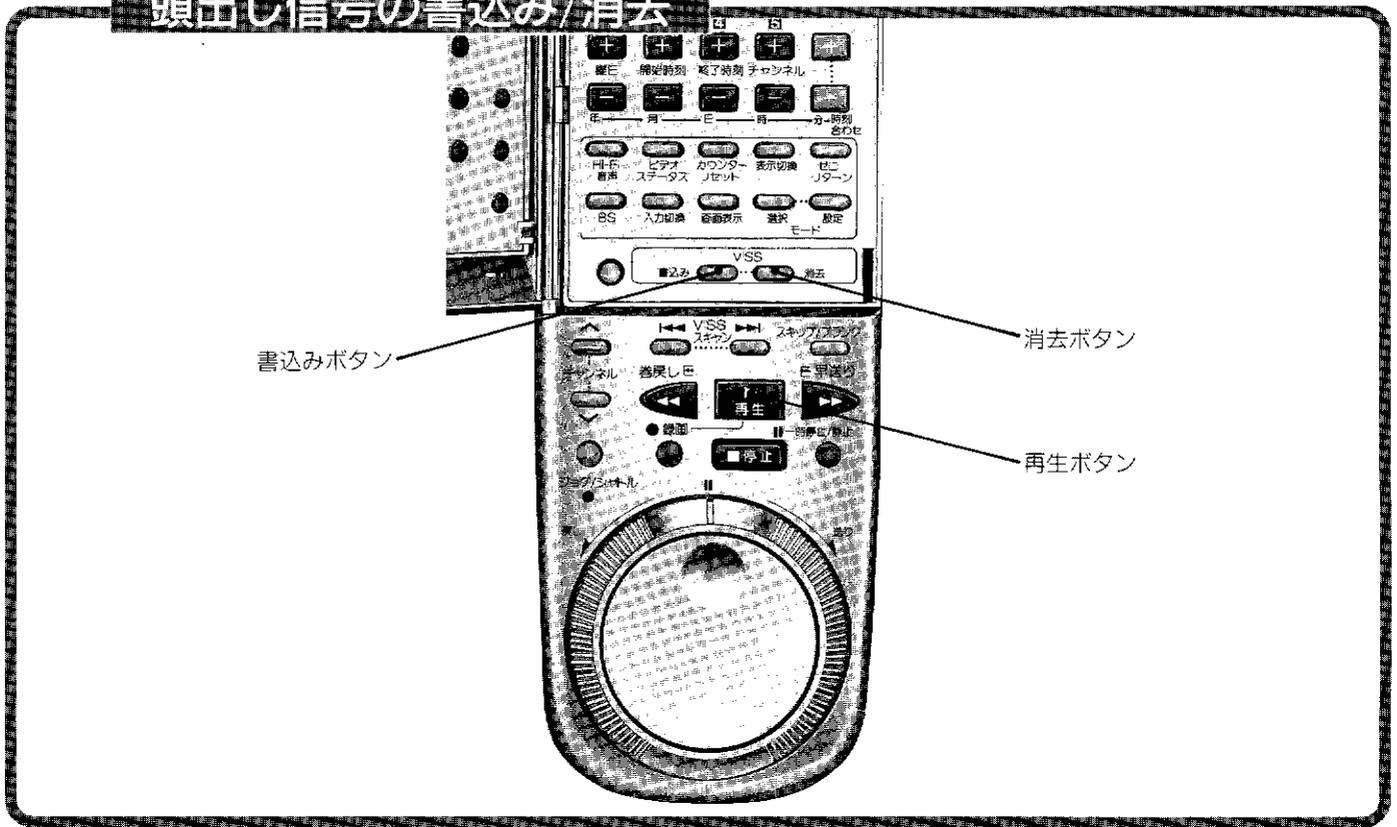
・タイマースタンバイにするときは、**タイマーボタン**で本体のTIMERランプを点灯させてください。

タイマー予約のこんなときは/Q&A

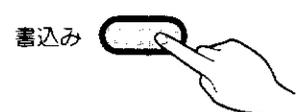
こんなときは	こうしてください
TIMERランプが点滅する	・タイマー予約の設定にまちがいがあるので、予約内容を確認し、正しく設定をやり直してください。 カセットが入っていません。つめのついたカセットを入れてください。
タイマーボタンを押したら、 カセットが出てきた	つめのついたカセットを入れてください。
本体表示窓の0:00が点滅している	停電がありました。もう一度時刻合わせをしてください。(88ページ参照)
タイマー録画が始まるまでの間、 テープを見たい。	タイマーボタンを押してTIMERランプを消してから操作します。 操作終了後は、タイマーボタンを押してTIMERランプを点灯させます。
タイマー録画中に停止するには	タイマーボタンを押してTIMERランプを消してから操作します。
深夜0時をまたぐタイマー録画では (例) 月曜日、午後11時から翌日 (火曜日)午前1時まで予約 する場合	開始時刻の曜日(月曜日)にします。
タイマー予約設定中に予約表示が 消えた	リモコンおよび本体とも、予約設定中に約1分間放置すると表示内容は消えます。もう一度やり直してください。
タイマー録画中にカセットが出て、 TIMERランプが点滅している	テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 タイマーボタンを押すと、TIMERランプは消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間より余裕のあるカセットを入れてください。
電話予約を取消すには	①タイマーボタンを押してTIMERランプを消す。 ②予約確認ボタンを押して、本体表示窓に電話予約を表示する。 ③予約取消しボタンを押す。 ④表示切換ボタンを押して、通常の表示に戻す。
予約が重なったら	・録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 20:00　21:00　22:00 予約1 ⇨ ドラマ 予約2 ⇨ 録画されない → ニュース番組 録画されるのは⇨ ドラマ ニュース番組 ・電話予約した録画を終了するまで、ほかのタイマー録画は行いません。 20:00　21:00　22:00 予約1 ⇨ アニメ ← 録画されない 予約2 (電話予約) ⇨ 映画 録画されるのは⇨ 映画

タイマー予約（26、28、30ページ参照）の曜日設定で、リモコンの曜日ボタン（本体では合わせー／＋ボタン）を押すごとに毎日、毎週予約などの設定ができます。
・毎日予約をするときは、－ボタンを押し続けると早く呼び出せます。

	こんなときは	リモコンの曜日ボタンで設定します。	本体の合わせー／＋ボタンで設定します。
月〜木曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	リモコン表示窓 毎週 月火水木	本体表示窓 Mon-Thu
月〜金曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	毎週 月火水木金	Mon-Fri
月〜土曜の予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	毎週 月火水木金土	Mon-Sat
毎日予約	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	毎週 日月火水木金土	Sun-Sat
毎週予約	・毎週金曜日の番組を録画したい 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	毎週 金	Fri WEEKLY
2週目予約	・来週の水曜日の番組を録画したい 日 月 火 水 木 金 土 今日→1 2 3 4 5 6 —1週目 7 8 9 10 11 12 13 —2週目 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	水 2週	2nd Wed

番組の頭出し

頭出し信号の書込み/消去

書込みボタン
消去ボタン
再生ボタン

頭出し信号の書込み

録画およびタイマー録画の開始部分には自動的にインデックス(頭出し信号)が書込まれます。

録画中または再生中に書込むには	録画一時停止または静止画再生させてから書込むには
書込みボタンを押す 書込み	**書込みボタン**を押してから再生ボタンを押す 書込み ▶ 再生

こんなときは書込めません

●誤消去防止の「つめ」が折れているカセット
●何も記録されていないところ(未録画部分)

頭出し信号の消去

取消したいインデックスの数秒前からテープを再生または静止画再生にする

消去ボタンを押す

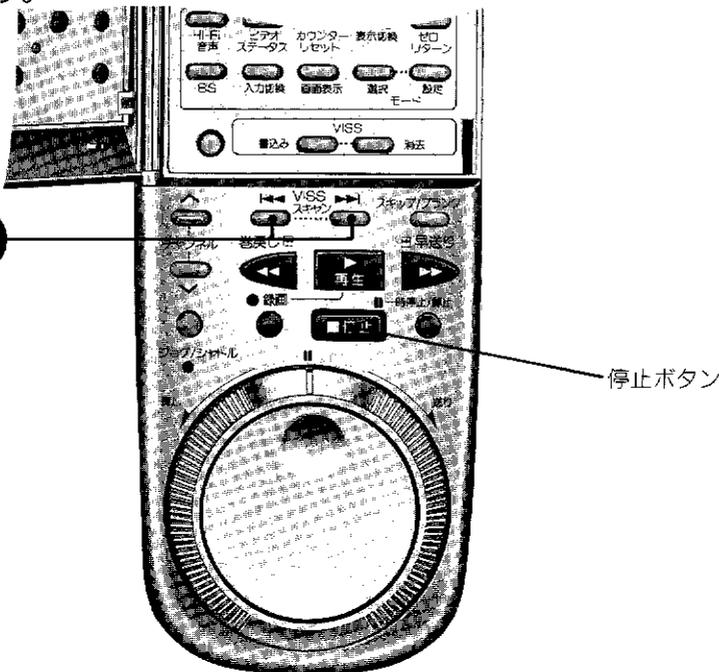
自動的にテープを送り、書込まれているインデックスを消去します。

テレビ画面のVISS消去表示が消えると取消し終了

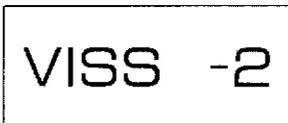
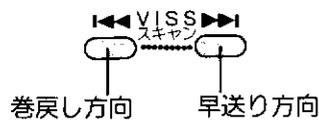
テープはそのまま再生を続けます。

・記録済みテープにインデックスを書込むときは、再生状態で行ってください。録画状態では前の画像、音声が消されます。
・となりのインデックスとは多少離して書込んでください。近すぎると誤動作することがあります。
・テレビ画面にVISS書込みまたはVISS消去表示がでているときは、他のボタン操作はしないでください。
・インデックスのそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、インデックスの書込みや消去したあとで画面が乱れることがあります。

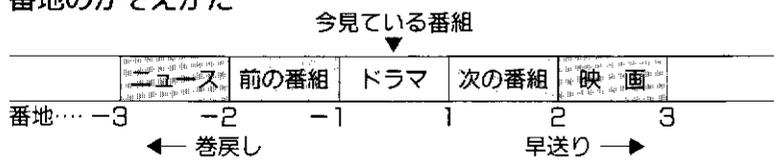
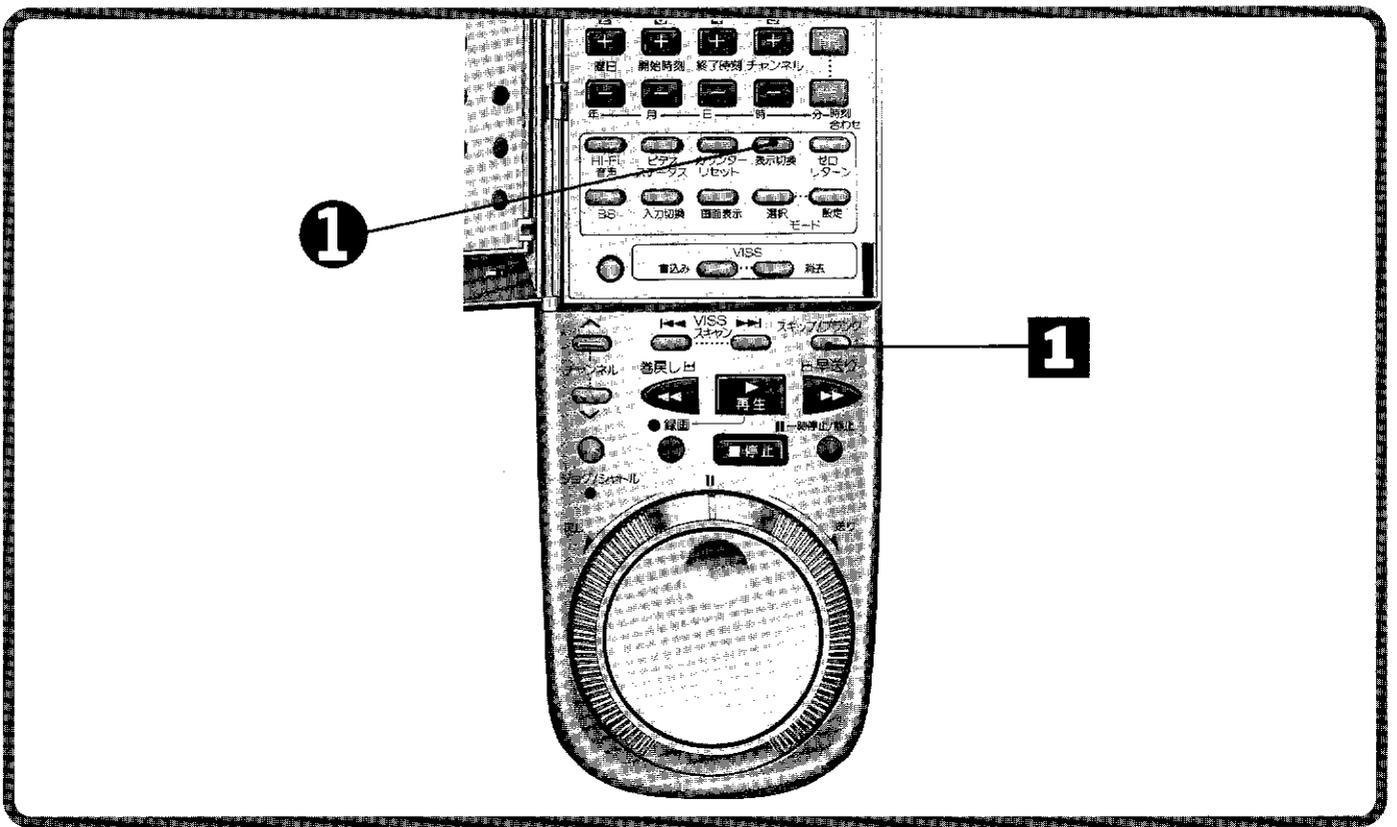
番組の頭出しをして再生する　VISSスキャン

VISS(VHS Index Search System)は、録画やタイマー録画の開始点に自動的にマークをつけ、それを目印に番組を探すシステムです。

停止ボタン

テレビ画面　本体表示窓

停止または再生中にVISSスキャンボタンで番地を選ぶ

・2つ前の番地を選ぶ

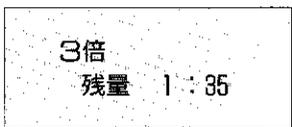
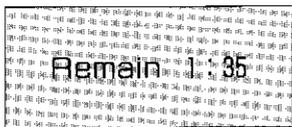
・**VISSスキャンボタン**を押すと、希望の番地をさがし自動的に再生します。
・押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと、数字が減ります。
・最高9番地まで指定できます。

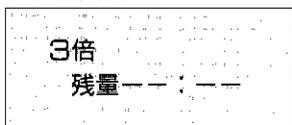
■途中でやめるときは、**停止ボタン**を押します。

テープ残量の確認

テープの残り時間を調べる　テープ残量

表示切換ボタンを押す

・表示している録画スピード（標準/3倍）で、計算します。
・表示を戻すときは、表示切換ボタンを押します。

ボタンを押すごとに
テープ残量表示——→時計表示——
—カウンター表示←音声レベルメーター表示←

テレビ画面	本体表示窓
3倍 残量　1：35	Remain　1　35

・録画や再生をした直後は、残量計算に多少時間がかかります。
計算中は下のような表示になります。また、残量表示が点滅する場合もあります。

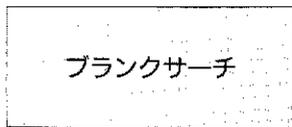
テレビ画面	本体表示窓
3倍 残量－－：－－	Remain－－

ご注意

・残量時間は目安です。
・使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。

録画していない部分をさがす　ブランクサーチ

停止状態でブランクボタンを押す

・未録画部分をさがし、停止します。
・テープ残量を表示します。
・表示を戻すときは、表示切換ボタンを押します。

テレビ画面	本体表示窓
ブランクサーチ	BLANK

■途中でやめるには、停止ボタンを押します。

・ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

テープの始めから自動的に再生する ネクストファンクションメモリー

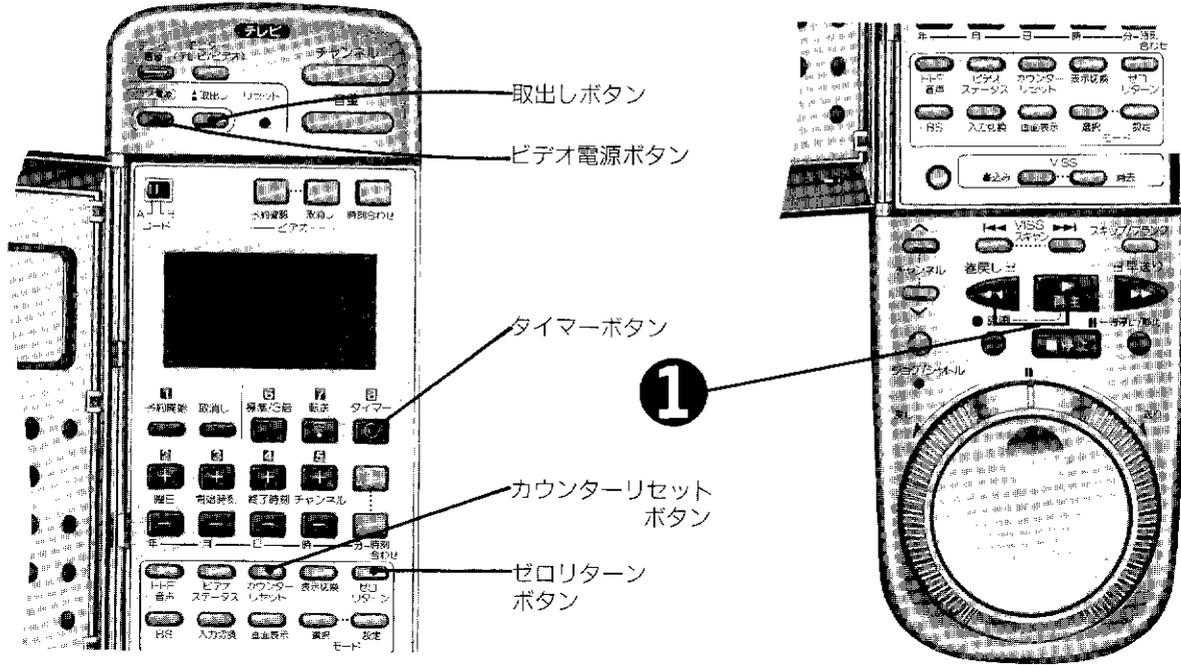
タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときなどに便利です。

取出しボタン

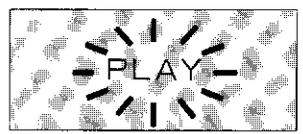
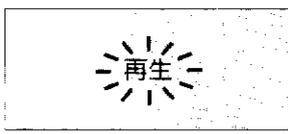
ビデオ電源ボタン

タイマーボタン

カウンターリセットボタン

ゼロリターンボタン

巻戻しボタンを押したあとすぐに、再生ボタンを押す

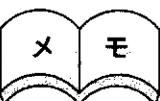
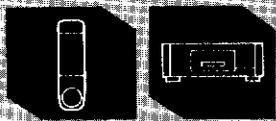
・テープの始めから自動的に再生します。

再生

テープの始めで自動的にカセットを出すには	テープの始めで自動的にタイマースタンバイにするには	テープの始めで自動的に電源を切るには
巻戻しボタンを押したあとに取出しボタンを押します。(本体表示窓のEJECT表示点滅)	巻戻しボタンを押したあとにタイマーボタンを押します。(POWERランプ点滅、TIMERランプ点灯)	巻戻しボタンを押したあとにビデオ電源ボタンを押します。(POWERランプ点滅)

NF(ネクストファンクション)スーパーリワインドについて

T－１２０などのテープを使用し、巻き終わり付近からネクストファンクションメモリー機能を使用すると自動的に超高速で巻戻します。
NFスーパーリワインドは、テープがドラムに接触しない状態で巻戻すため、通常の巻戻しと比較して短時間でテープの巻戻しができます。
テープの巻き位置によっては、通常の巻戻しになります。

・NFスーパーリワインド中は、テレビ画面および本体表示窓に棒グラフを表示し、巻戻しの進行状況をお知らせします。(カウンター表示のときに表示します。)

・NFスーパーリワインドが終了すると、カウンターは0：00：00になります。途中で止めても、カウンターは0：00：00になります。

・カウンター0：00：00の位置を呼び出すときは、停止または再生中にゼロリターンボタンを押します。
・カウンターを0：00：00にするときはカウンターリセットボタンを押します。
・カウンター0：00：00の位置で操作❶の動作をさせたいときは、巻戻しボタンのかわりにゼロリターンボタンを押します。

不要な場面を入れずに録画す

録画中に不要な部分をカットし、続けて録画する　リテイク機能

録画一時停止中に、録画してしまったCMなどをカットし、番組の終わりから続きをピタリ録画できます。

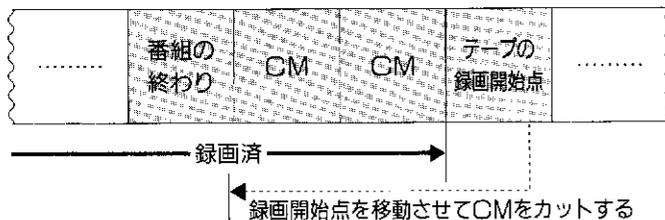
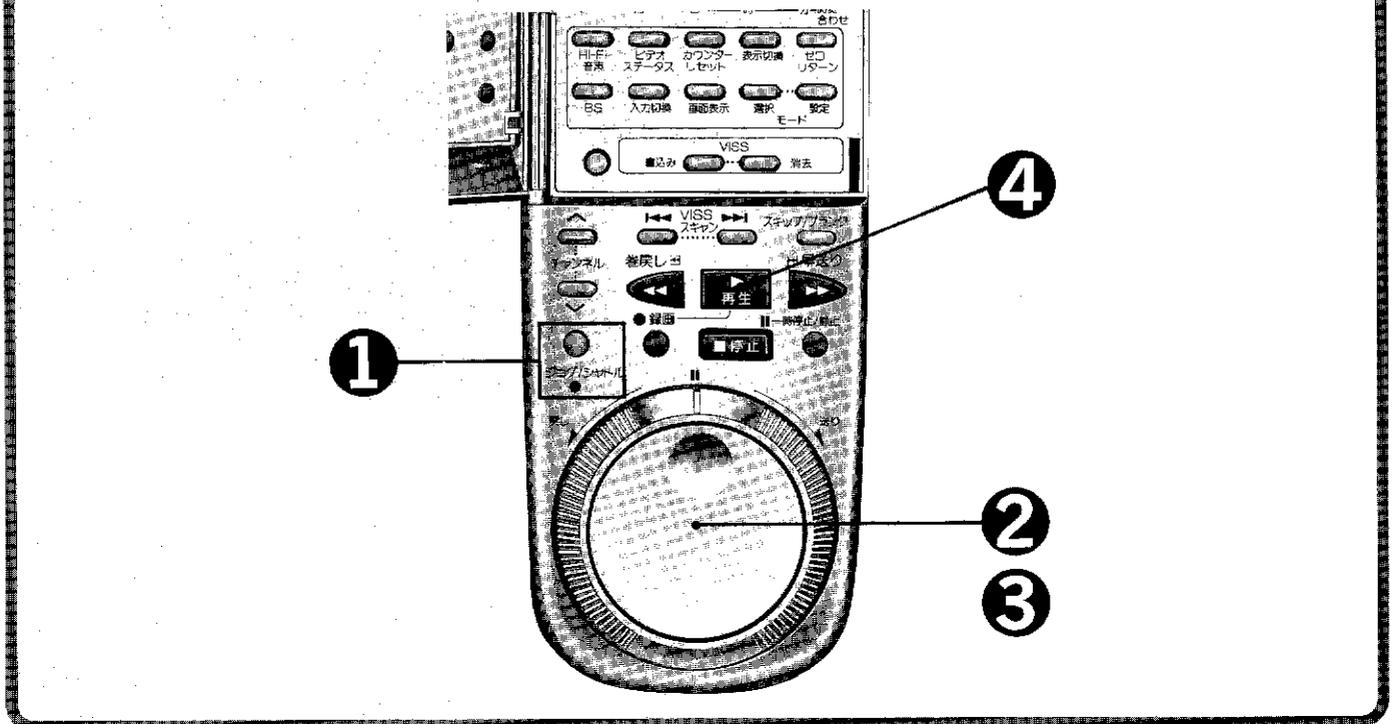
❶ ジョグ/シャトルボタンを押す

・ランプが点灯します。

❷ 録画一時停止状態から、ジョグダイヤルで番組の終わりをさがす

・**シャトルリング**も使用できます。

❸ 終わりが見つかったら、手を離す

・静止画再生の後、録画一時停止状態になります。

❹ 録画したい場面で再生ボタンを押す

・録画を開始します。

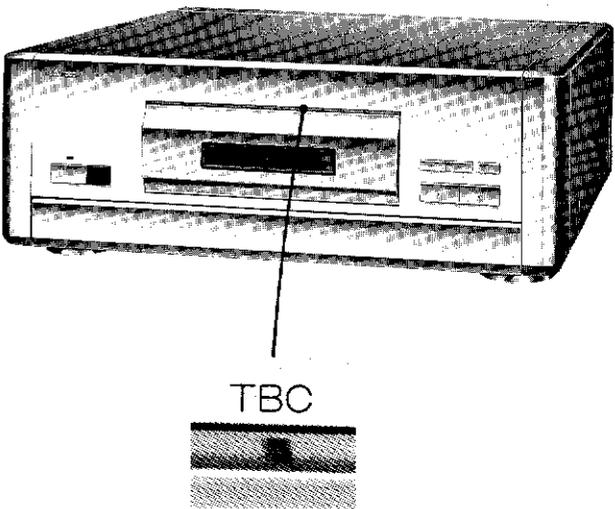
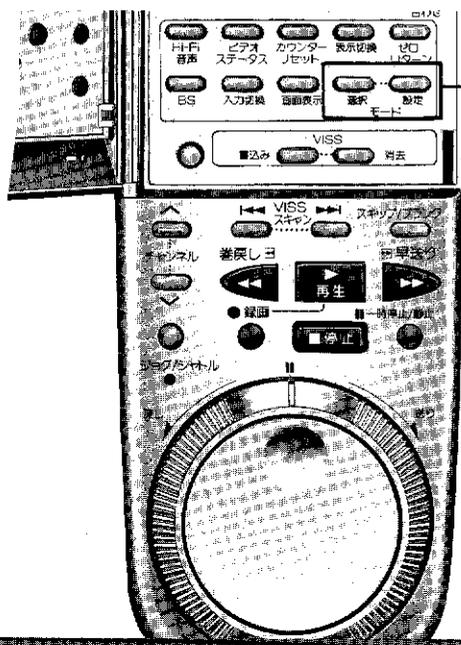
本体で操作する場合は

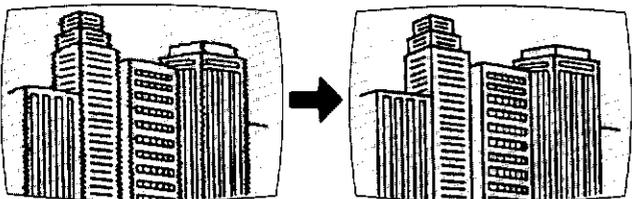
①録画一時停止状態から、**REW**(または**FF**)**ボタン**を押し続けると、正逆1倍速でテープを再生します。
②頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
③録画したい場面で**PLAYボタン**を押します。
録画を開始します。
・リモコンの**巻戻し**(または**早送り**)**ボタン**でもできます。

再生画面の調節

画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する 629デジタルTBC

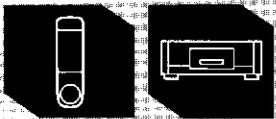
本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な横揺れや画面の曲がりを補正し安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

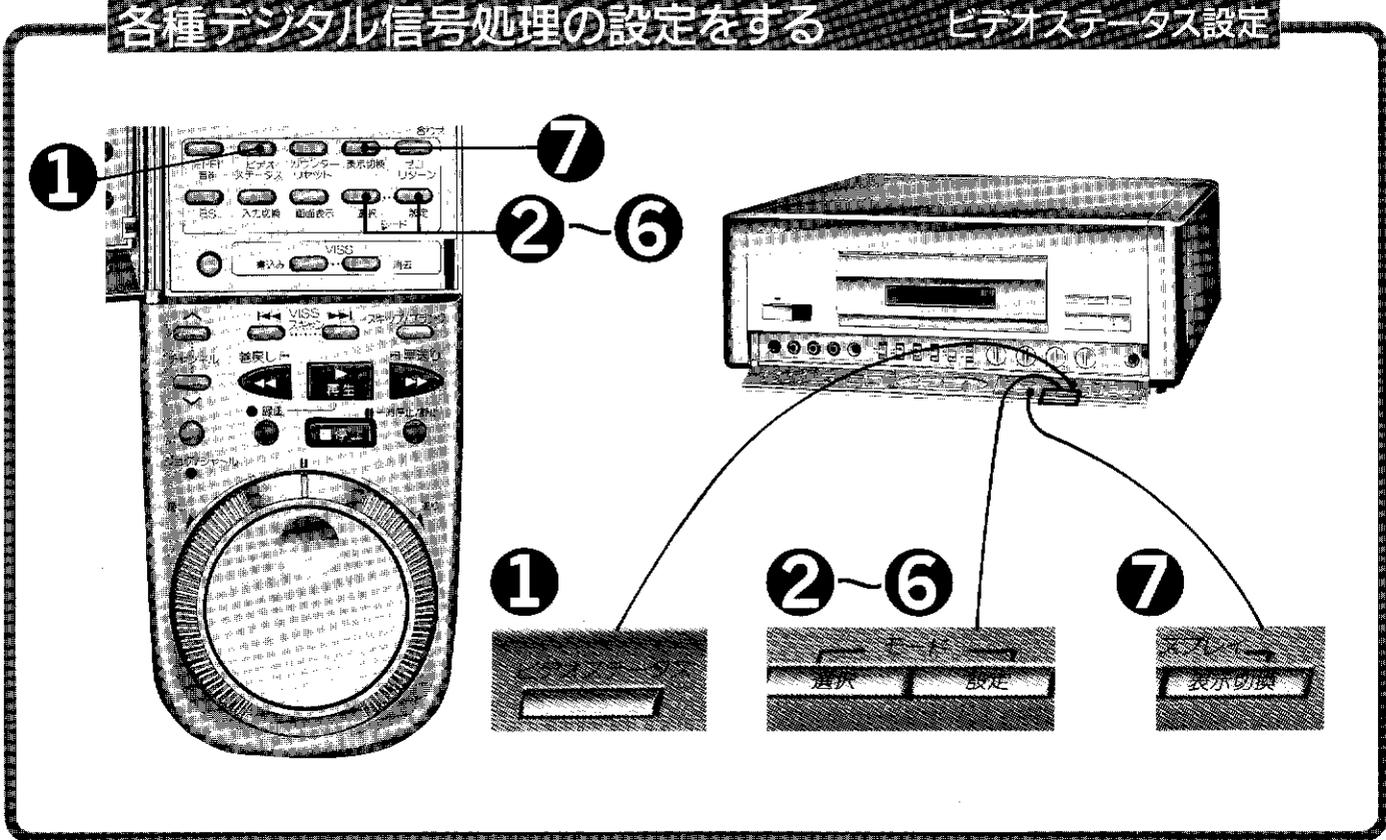
TBC：Time(タイム) Base(ベース) Corrector(コレクター)の略です。

・このようなときに効果を発揮します。

微妙な横揺れ

●ビデオムービーで記録したテープ
●何度も繰り返し使用したテープ
●ダビング時、再生側で使用するとき

モード選択画面のTBCを入にする

・TBCランプが点灯します。
・操作方法は[90]ページをご覧ください。

・TBCが「切」の位置でも、テープを取り出すと「入」に戻ります。
・電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、ノイズが多いテープの場合は、TBCランプを消灯させると見やすい場合があります。
・TBC「入」で特殊な信号(パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど)を録画したテープを再生すると、画面が乱れることがあります。このようなときは「切」にしてください。

再生画面の調節(つづき)

各種デジタル信号処理の設定をする　ビデオステータス設定

準備　❶テレビの電源を入れます。
❷テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
❸テープを再生します。

ビデオステータスボタンで設定1または設定2を選ぶ(右下ページ参照)

テレビ画面

❷ モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

TBCが入になっているか確認してください。
切のときは、90ページをご覧いただき入にします。

❸ モード選択ボタンでビデオ　ステータス設定を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに下の項目へ進みます。

＊モード選択＊
3D Y/C SEP　標準設定
ビデオ ステータス設定
TBC　入　切
ロジカルHIFI NR　入　切
S-VHS記録　オート　切
二ケ国語音声録音　主　主＊副
オンスクリーン　オート　切
ブルーバック　入　切

モード設定ボタンを押す

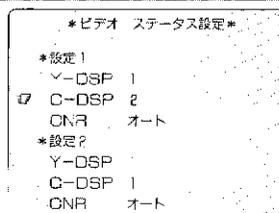
・ビデオ　ステータス設定画面を表示します。
・テレビ画面には、再生画またはテレビ番組が同時に映ります。

モード選択ボタンで設定する項目を選ぶ

＊ビデオ　ステータス設定＊
＊設定1
Y-DSP 1
C-DSP 1
CNR オート
＊設定2
Y-DSP 1
C-DSP
CNR オート

モード設定ボタンでお好みの画質を選ぶ

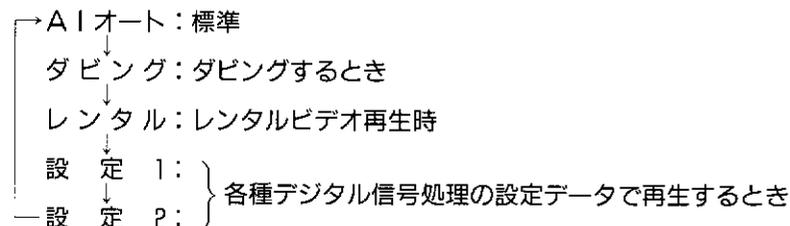
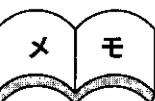
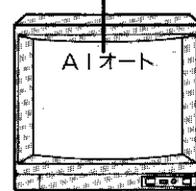
項目	段階	内　容
Y-DSP	1、2、3、4	明暗の表現に関する設定です。 数字が小→動きを重視した設定 数字が大→ノイズ低減を重視した設定
C-DSP	1、2、3、4	色の表現に関する設定です。 数字が小→動きを重視した設定 数字が大→色のクリアさを重視した設定
CNR	オート、切	色信号のノイズ低減回路の設定です オート→再生時、CNRを自動的に動作させ、色のざらつきを少なくします。また、垂直方向の色の境界線が若干やわらかになります。 切　→CNRをすべての再生モードで動作させません。

＊ビデオ　ステータス設定＊
＊設定1
Y-DSP 1
C-DSP 2
CNR オート
＊設定2
Y-DSP
C-DSP 1
CNR オート

表示切換ボタンで表示を戻す

テープに合わせた画質選択

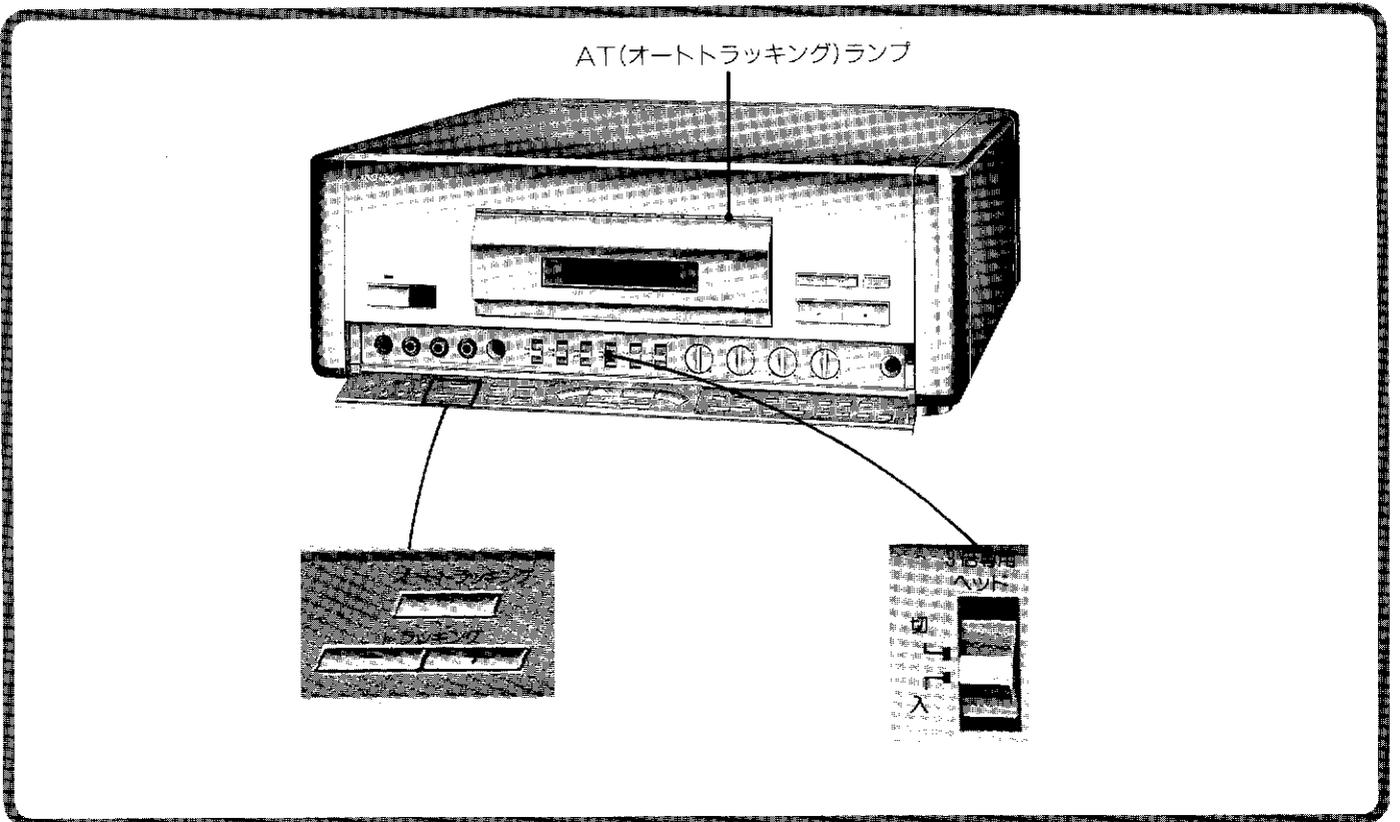
ビデオステータスボタンで画質を選びます。

・ボタンを押すごとに、現在の状態をテレビ画面に約5秒間表示します。

→AIオート：標準
↓
ダビング：ダビングするとき
↓
レンタル：レンタルビデオ再生時
↓
設定1：
↓
設定2：
（設定1・設定2）各種デジタル信号処理の設定データで再生するとき

ビデオステータス表示

・設定1または設定2を選ぶときは、あらかじめビデオステータス調整画面でお好みの画質に調整しておいてください。

・テレビ画面にビデオステータス表示がでないときは、モード選択画面のオンスクリーンを**オート**にしてください。（90ページ参照）

再生画面の調節(つづき)

ノイズで見づらいとき　トラッキング調節

本機は、オートトラッキング機能付きです。
他のビデオで録画したテープを再生すると出るノイズを自動的に消します。

- 調節中はATランプが点滅します。
- 調節されないとき‥‥
  ❶**オートトラッキングボタン**を押し、**ATランプを消し**ます。
  ❷**トラッキング－／＋ボタン**で調節します。

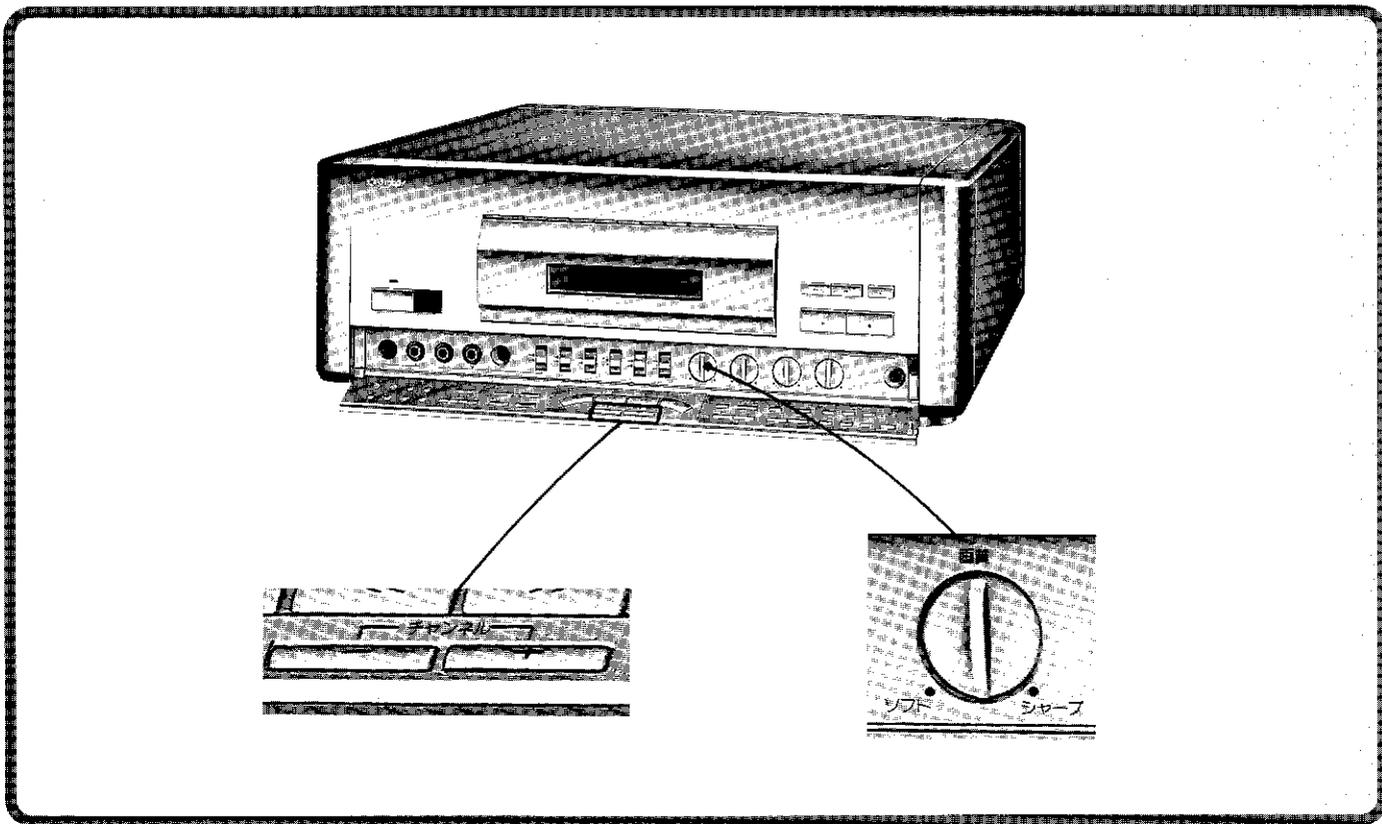
ご注意

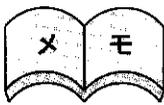
- 録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調整できないことがあります。

3倍モード録画テープの画質を調節する　3倍専用ヘッド

3倍専用ヘッドスイッチで合わせます。

入：3倍モードが高画質で楽しめます。通常はこの位置で使用してください。
切：他のビデオで録画したテープを再生して、ざらつきがある場合はこの位置で使用してください。

- 3倍モード録画時は、**3倍専用ヘッドスイッチ**の位置に関係なく、自動的に3倍専用ヘッドで録画します。

テープによって気になる横方向の色ズレを調整する　YCタイミングアジャスト

❶モード選択画面のTBCを入にします。（90ページ参照）
❷再生中に、本体の**チャンネルボタン**で横方向の**色ズレを調整**します。±3段階ずつ調整できます。
色が左側にズレているとき………**チャンネル(+)ボタン**で調整します。
色が右側にズレているとき………**チャンネル(−)ボタン**で調整します。
・調整前の状態に戻したいときは、**チャンネル(−)と(+)ボタン**を同時に押します。

・テープを取り出すと、調整したデータは解除されます。

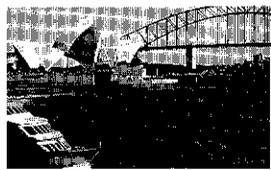
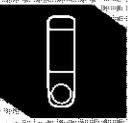
・リモコンの**チャンネルボタン**では働きません。

お好みの画質に合わせる　画質調整

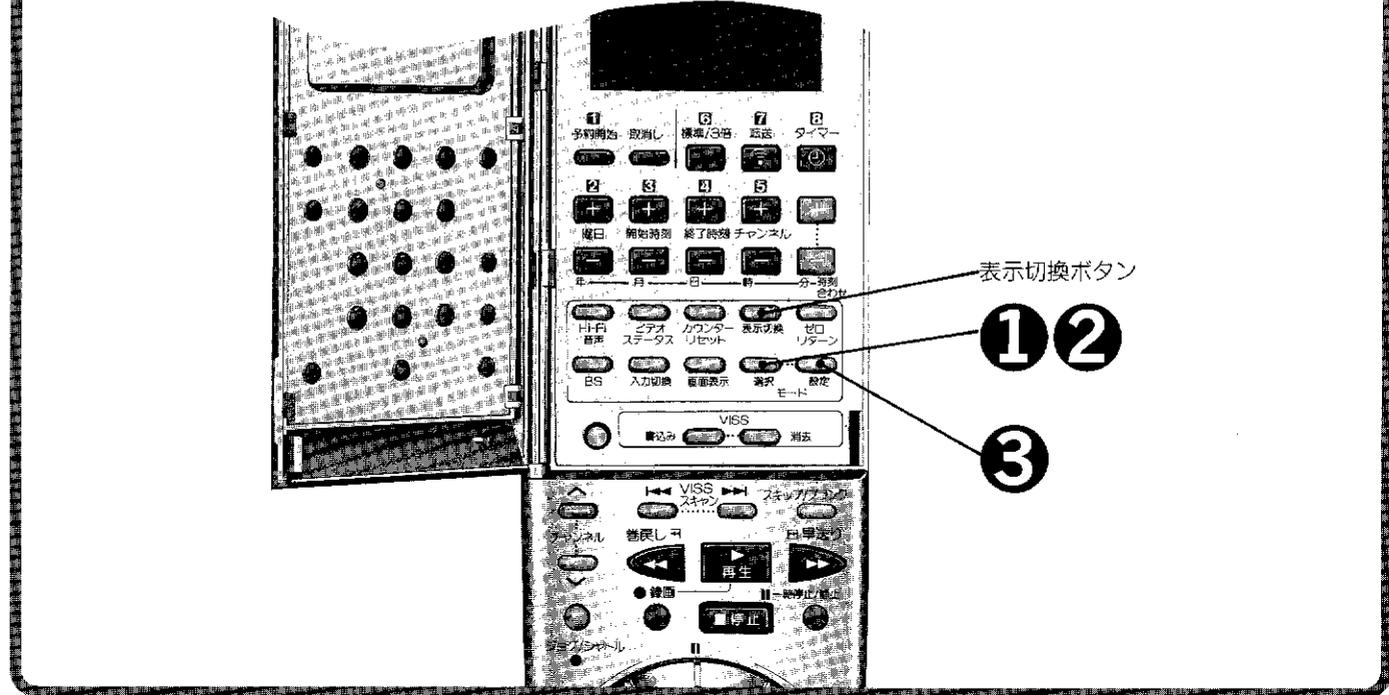
画質調整つまみでお好みの画質に合わせてください。

ソフト………ノイズの目立たないやわらかな画像
シャープ……鮮明な画像

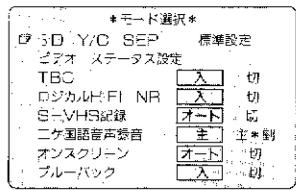
・通常は中央の位置にしてください。

（ソフト側）

（シャープ側）

録音する音声を選ぶ

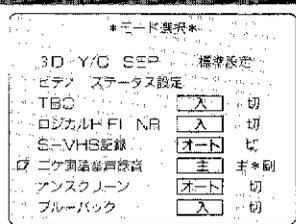
二ヶ国語放送(日本語と外国語)を録音する

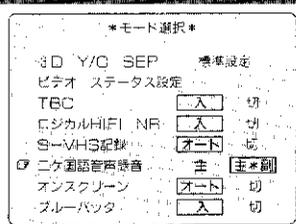
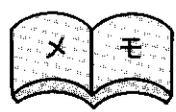
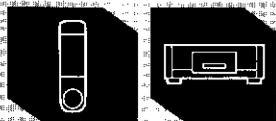
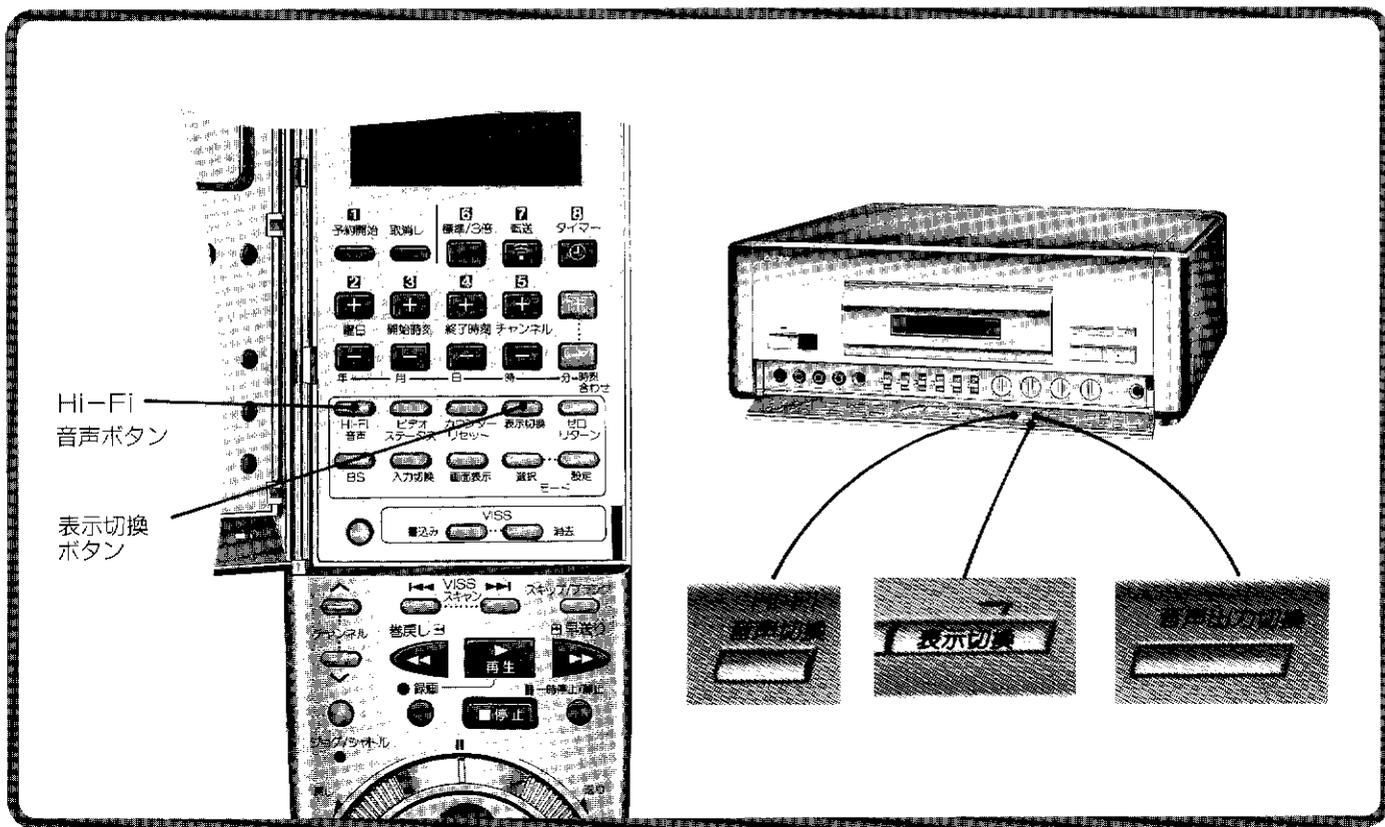
ご購入時、二ヶ国語放送を録音すると、主音声(日本語など)だけを録音します。外国語を録音したい方は、録音音声をあらかじめ選んでください。テレビ画面に出る表示項目を見ながら設定します。

表示切換ボタン

テレビ画面

❶ モード選択ボタンで、モード選択画面を表示する

❷ モード選択ボタンで、二ヶ国語音声録音を選ぶ

・**モード選択ボタン**を押すごとに、下の項目へ進みます。

＊モード選択＊
3D Y/C SEP 標準設定
ビデオ ステータス設定
TBC 入 切
ロジカルHiFi NR 入 切
S-VHS記録 オート 切
二ヶ国語音声録音 主 主＊副
オンスクリーン オート 切
ブルーバック 入 切

❸ モード設定ボタンで、主＊副にする

・日本語と外国語を録音します。

■モード選択画面を消すには、**表示切換ボタン**を押します。

・日本語と外国語の両方を録音したテープを聞くときにはリモコンの**Hi-Fi音声ボタン**で聞きたい音声を選びます。録画中に切り換えても大丈夫です。
・主＊副の位置で二ヶ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには主音声が録音されます。
・停電などがあり、時計表示が 0:00 で点滅しているときは、主のポジションに戻りますので、主＊副にしたい方は、もう一度設定し直してください。

聞きたい音声を選ぶ

Hi−Fi
音声ボタン

表示切換
ボタン

日本語と外国語が同時に聞こえたら

Hi−Fi音声ボタンで選びます

・本体表示窓で音声出力表示を確認するときは、**表示切換ボタン**で**音声レベルメーターを表示**させます。

	主音声＋副音声	主音声(日本語など)	副音声(外国語)
テレビ画面	左　右	左	右
本体表示窓	HiFi　L R	HiFi　L	HiFi　R

他のビデオでインサート編集やアフレコ編集したテープを聞く

音声出力切換ボタンで選びます

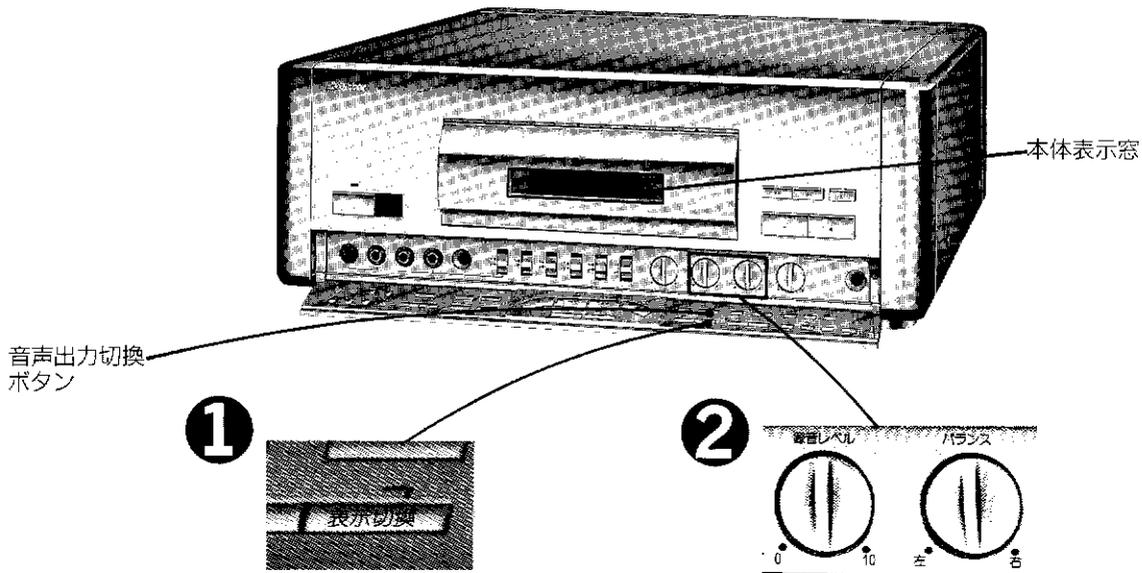
・本体表示窓で音声出力表示を確認するときは、**表示切換ボタン**で**音声レベルメーターを表示**させます。

	Hi−Fi音声	ノーマル音声	ミックス音声
テレビ画面	左　右	ノーマル	ミックス
本体表示窓	HiFi　L R	ノーマル	HiFi　L ノーマル　R

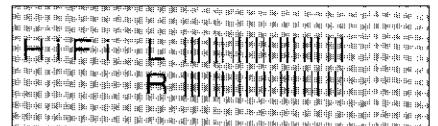
・Hi−Fi録音されていないテープはノーマル音声を再生します。

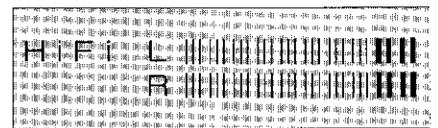
録音音声の調節

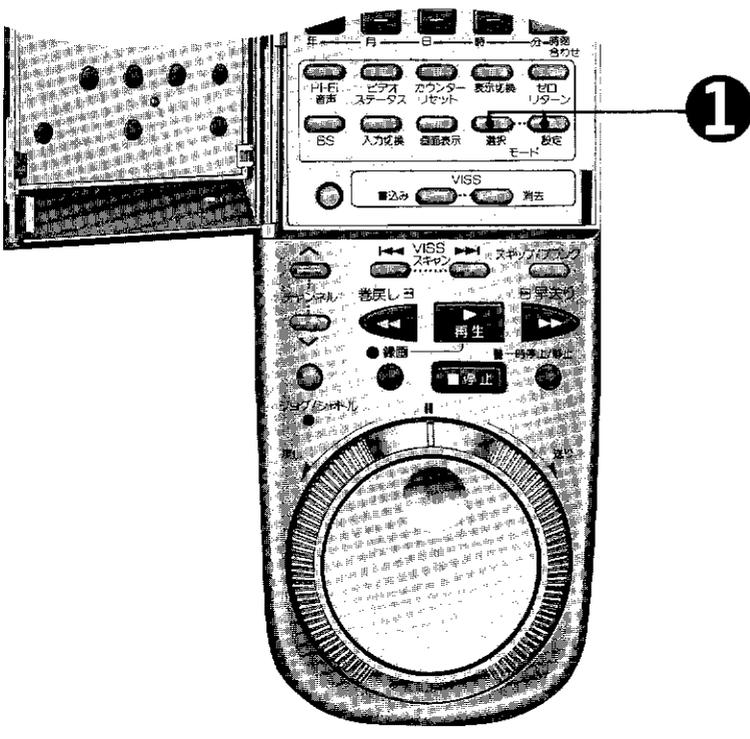
Hi−Fi録音レベルを調節する

大きな音から小さな音までのレベル差(ダイナミックレンジ)が大きい音声は、Hi−Fi録音レベルを調節したほうが迫力のある音で録音できます。クラシックなどでシーンと静かな演奏からいきなり大きな演奏曲に変わったり、逆にシンバルやドラムの大きな音から静かな演奏にと、変化の激しい音声のときに効果的です。

本体表示窓

表示切換ボタンで音声レベルメーターを表示させる

- ボタンを押すごとに
  カウンター表示→テープ残量表示
  音声レベルメーター表示←時計表示
- ノーマル音声またはミックス音声のときは、**音声出力切換ボタン**でHi−Fi音声にします。

録音レベルつまみとバランスつまみで調節する

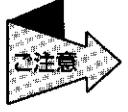
- 音声レベルメーターを見ながら、太いバー表示がときどき振れる程度が適正なレベルです。

- 調節するとき、録音レベルが低過ぎるとノイズが多くなり、高過ぎるとひずみが多くなりますのでご注意ください。

他のビデオで録画したテープを再生中、Hi－Fi音声にノイズ(雑音)がでるとき　ロジカルHi－Fi NR

テレビ画面

モード選択画面のロジカルHIFI　NRを入にする

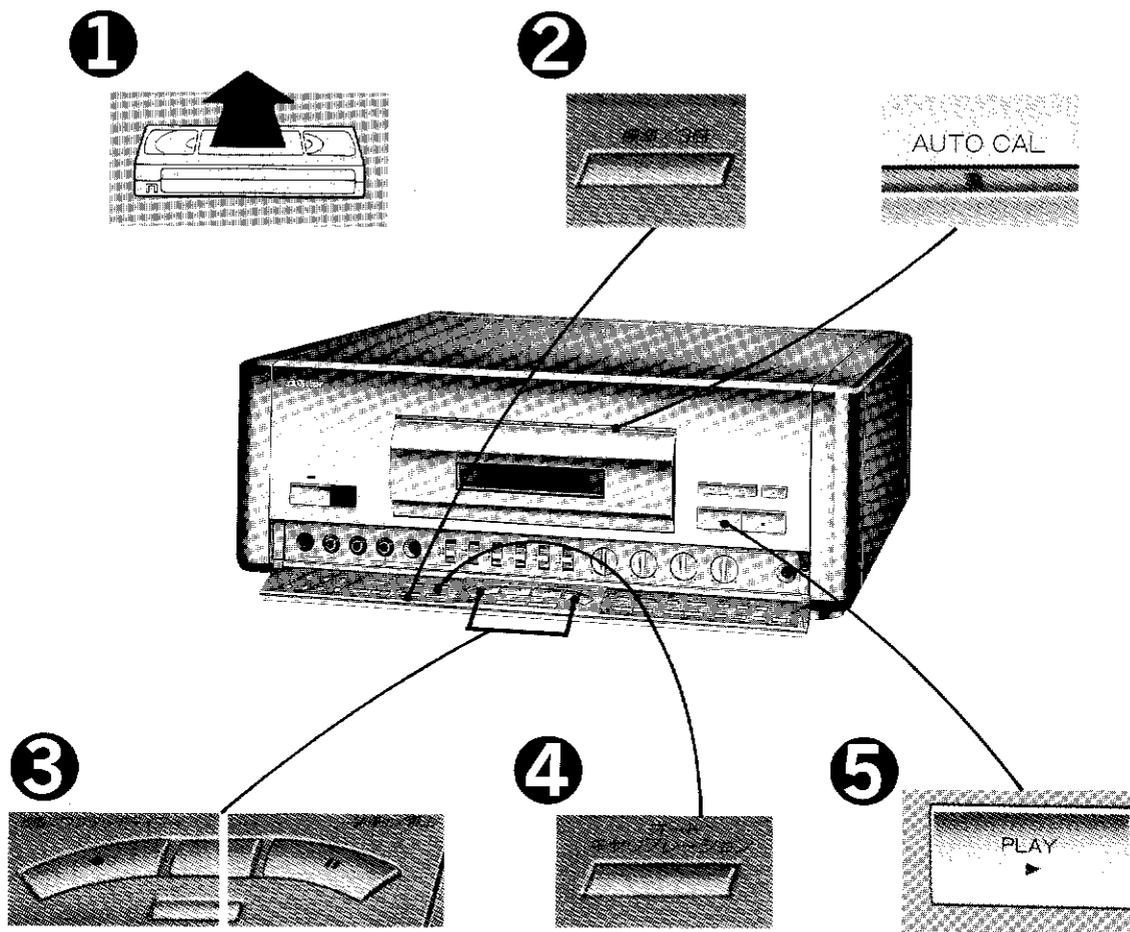
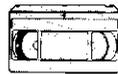
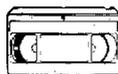
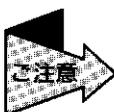
・調整が始まり、Hi－Fi音声のノイズを解消します。
・通常は**入**にしてください。
・操作方法は90ページをご覧ください。

＊モード選択＊

3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	入	切
ロジカルHIFI NR	入	切
S-VHS記録	オート	切
二ケ国語音声録音	主	主＊副
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切

・Hi－Fi音声が記録されているテープのみ調整します。

テープの特性に合わせて録画する

ＡＩオートキャリブレーション

AIオートキャリブレーションとは
使用するテープの特性を調べて、記録レベルを最適状態に設定し録画します。
設定されたデータは本体に記憶され、ボタンひとつですぐに呼び出せます。
同じテープをよく使用するときに便利です。

■テープの種類と録画スピードの組み合わせには下の4通りがあります。この4通りのデータをすべて記憶できます。ただし、記憶できるのは各々について1つです。

・メーカーや、同じメーカーでもテープの種類が異なる場合は再度オートキャリブレーションを行ってください。
・使用するテープがすでにオートキャリブレーションを行ったかどうか定かでない場合は、再度オートキャリブレーションを行ってください。

テープを入れる

・つめがあることを確認します。

❷ 標準／３倍ボタンで録画スピードを選ぶ

❸ 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

❹ AUTO CALランプが点滅するまでオートキャリブレーションボタンを押す

・自動的にテープの特性を調べます。
（約10秒かかります）
動作内容：録画一時停止→録画→巻戻し→再生→巻戻し→録画一時停止

・AIオートキャリブレーション終了後は、テレビ画面に最適記録レベルを表示します。

最適状態を検出中　AUTO CAL（点滅）　→　検出終了　AUTO CAL ■（点灯）

テレビ画面

録画するときは、PLAYボタンを押す

・録画を始めます。

■１つのテープに「標準」、「３倍」両方のスピードで録画するときは、❷〜❹の操作をくり返し、「標準」、「３倍」についてそれぞれAIオートキャリブレーションを行った後、録画やタイマー録画を行います。

■すでにAIオートキャリブレーションしたテープを使用するときは
①AIオートキャリブレーションしたテープを入れます。
②オートキャリブレーションボタンを押します。
・AUTO CALランプが点灯します。
③録画をします。
・テレビ画面に最適記録レベルは表示しません。

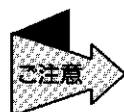
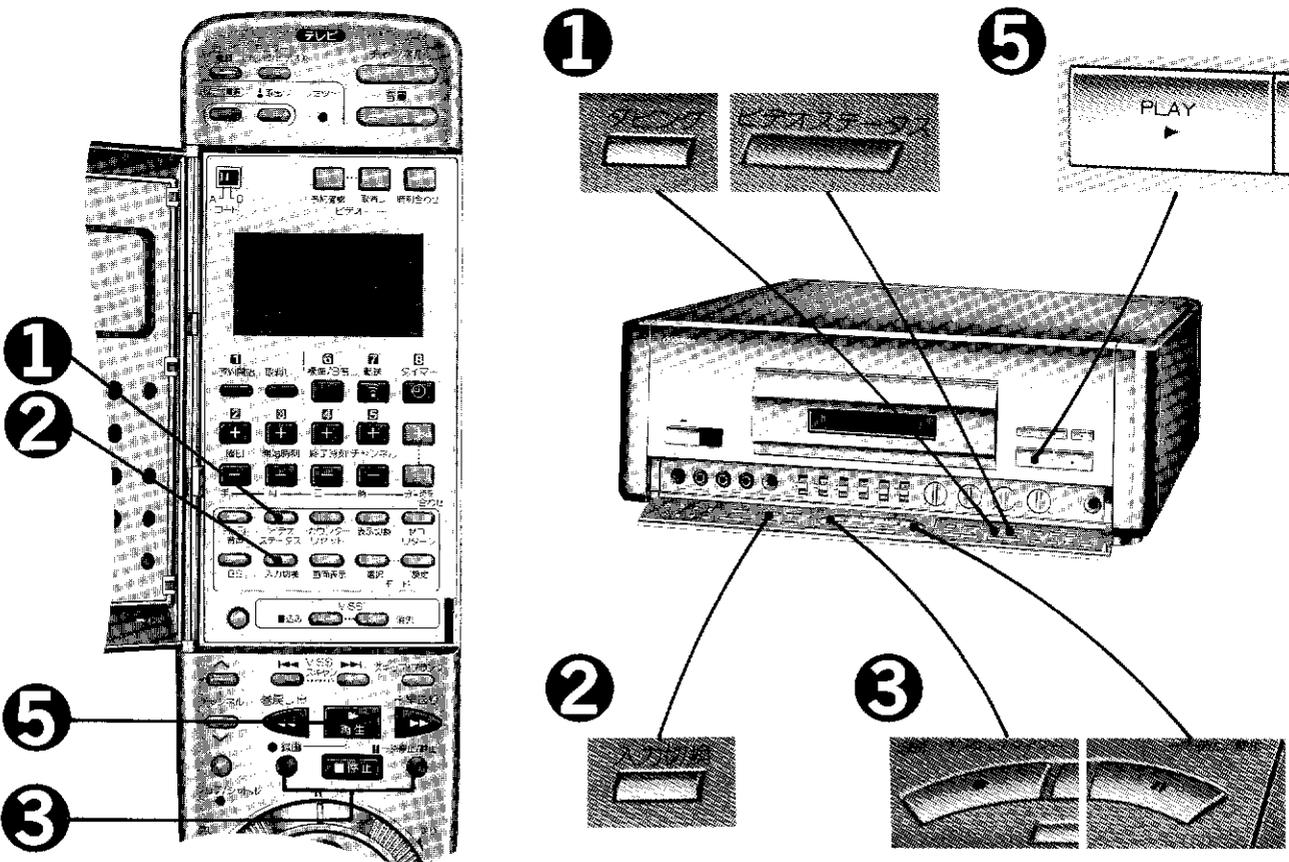
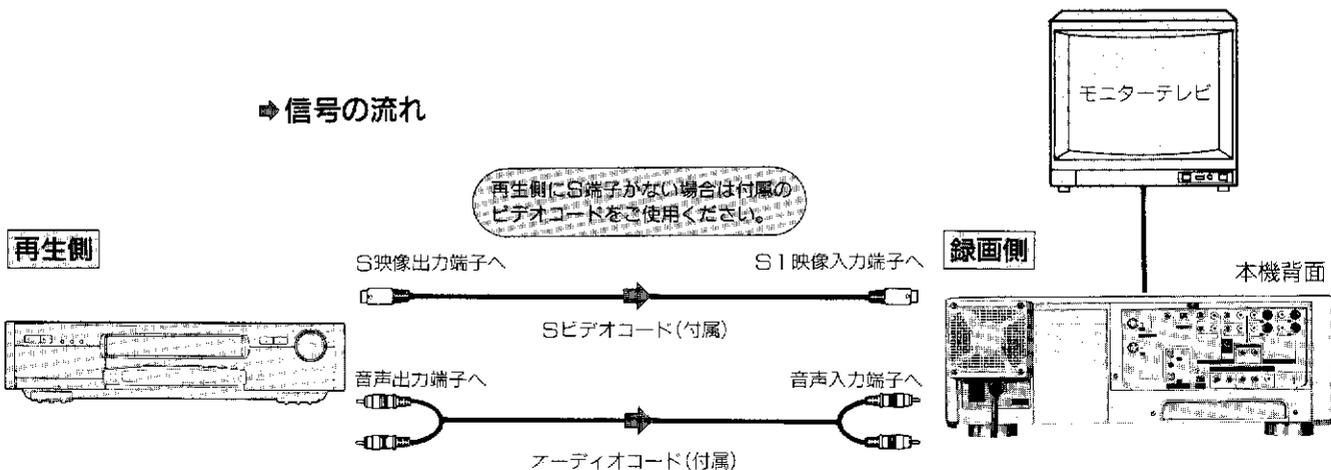
■タイマー録画をするときは
①AIオートキャリブレーションしたテープを入れます。
②オートキャリブレーションボタンを押します。
・AUTO CALランプが点灯します。
③タイマー予約を行います。
26 〜 31 ページをご覧ください。

・AIオートキャリブレーションを行う場合は、テープの未録画部分または、消してもよい部分で行うことをおすすめします。
・つなぎ録りする場合は、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。
・AUTO CALランプが点滅中は、音声が出ません。また、チャンネルの切り換えもできません。
・テープの傷のある部分では、AIオートキャリブレーションが正しく動作しない場合があります。このようなときは、オンスクリーン表示の記録レベルの欄に「エラー」を表示します。

・テープを取り出すと、AUTO CALランプが消え、AIオートキャリブレーションモードは解除されます。
・AIオートキャリブレーションの記録レベルは、相対的な最適記録特性を示しているもので、テープの優劣をあらわしているものではありません。

テープのコピー（ダビング）

他のビデオで再生、本機で録画する場合

ビデオムービーからダビングするときは、前面端子をお使いください。
前面および背面入力端子ともS入力優先です。

ご注意

・本機背面の**ビデオ 2 切換スイッチ**を**BSデコーダ入力**にすると、ビデオ 2 の入力端子はBSデコーダ入力専用となり、**入力切換ボタン**を押してもL 2 チャンネルは表示しません。

本機

ビデオステータスボタンでダビングポジションにする

（43 ページ参照）

・本体で操作する場合、**ダビングボタン**でダビングポジションにすることもできます。

ダビング

❷ 入力切換ボタンでチャンネルをL1（外部入力）にする

ビデオ１

❸ 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

録画　ポーズ

再生側

❹ ダビングしたい部分の少し前から再生する

本機

❺ ダビングしたい場面でPLAYボタンを押す

・録画を始めます。

録画

録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。

終了するときは、STOPボタンを押します。

・本機→再生側の順に停止します。

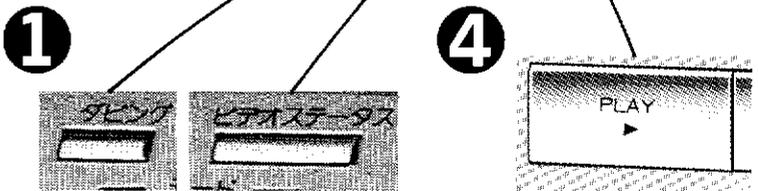
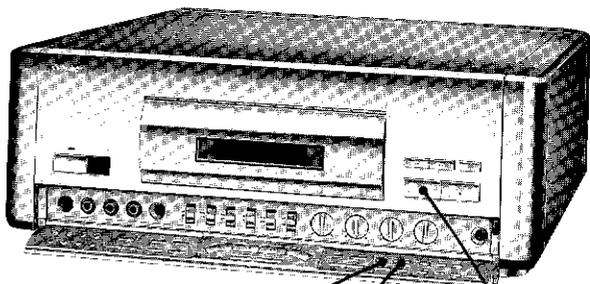
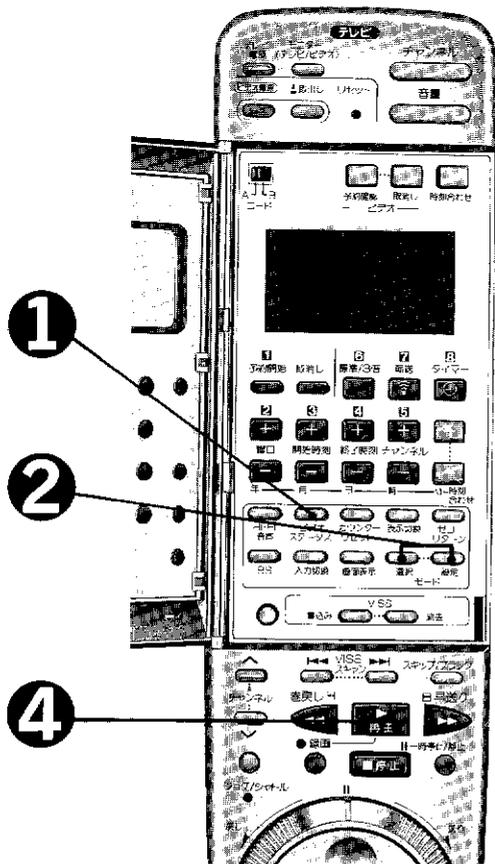
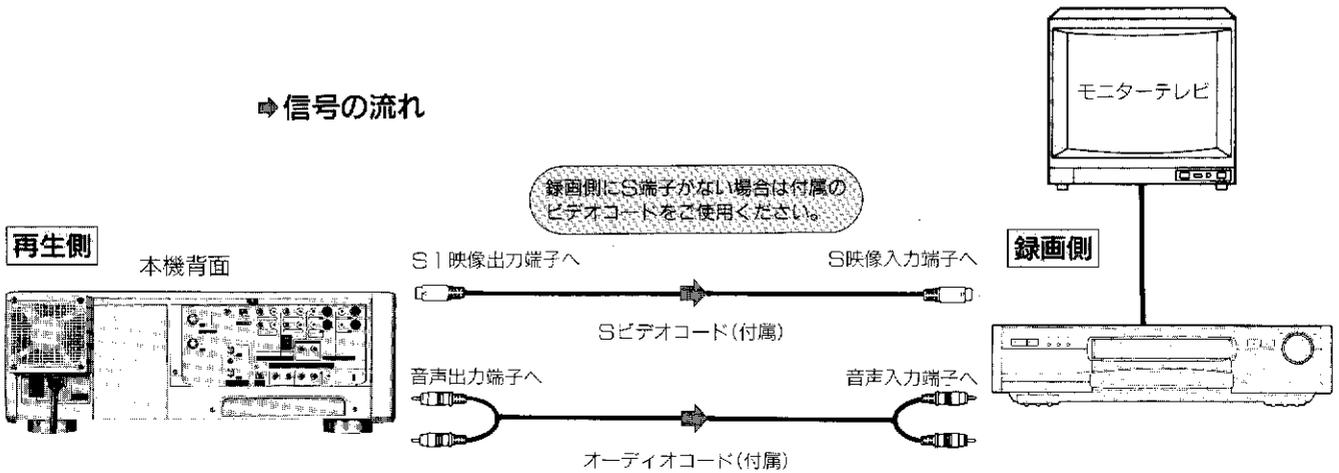
テレビ番組のチャンネルに戻すときは、**チャンネルボタン**を押します。

チャンネル

・ダビング終了後は、**ビデオステータスボタン**で**AIオートポジション**に戻してください。

・録画一時停止が５分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
・あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

テープのコピー(ダビング)(つづき)

本機で再生、他のビデオで録画する場合

本機

ビデオステータスボタンで ダビングポジションにする

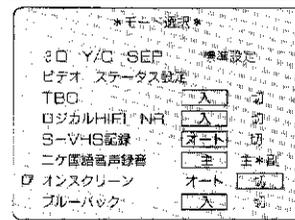
(43ページ参照)

・本体で操作する場合、**ダビングボタン**で **ダビングポジション**にすることもできます。

ダビング

❷ モード選択画面のオンスクリーンを 切にする

(90ページ参照)

録画側

❸ ①外部入力にする ②録画一時停止にする

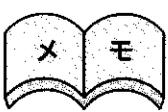
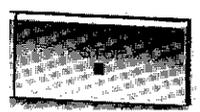
本機

❹ ダビングしたい部分の 少し前から再生する

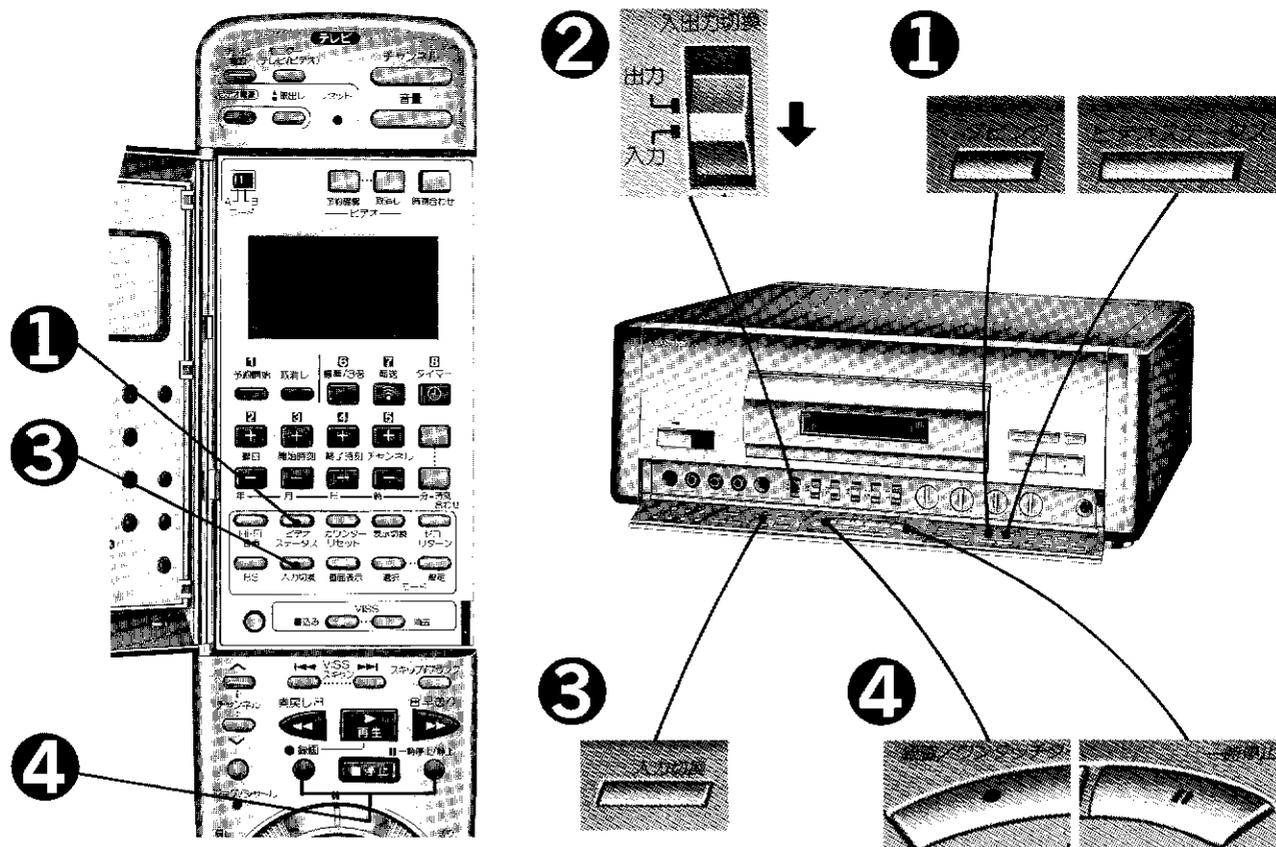
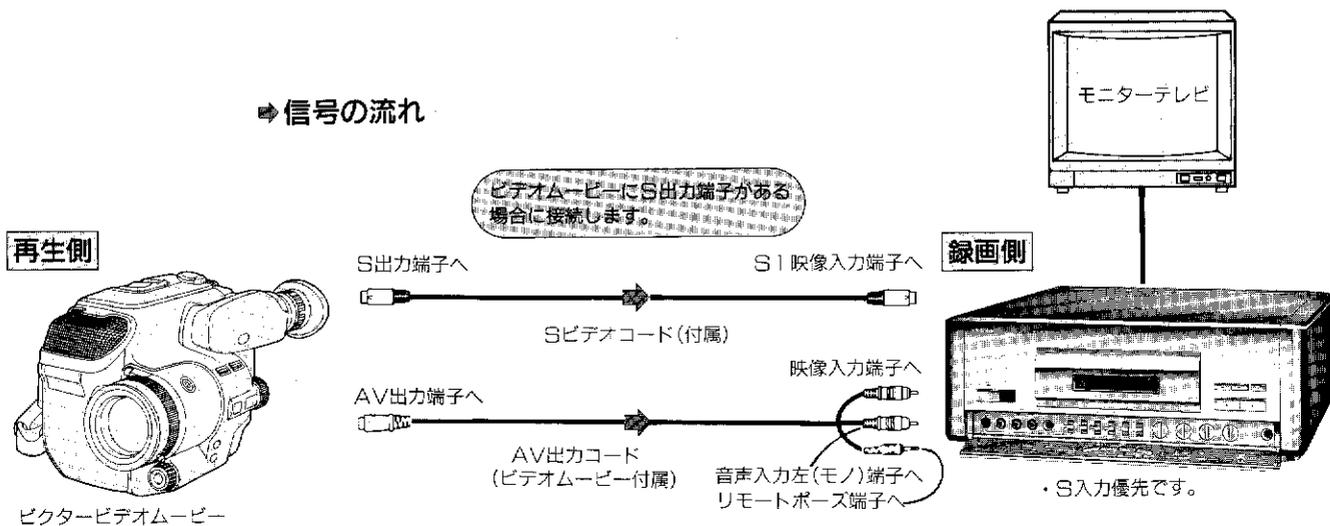
録画側

❺ ダビングしたい場面で録画する

終了するときは、
STOPボタンを押します。

・録画側→本機の順に停止します。

・ダビング終了後は、**ビデオステータスボタン**でAIオートポジションに戻してください。
また、モード選択画面のオンスクリーンをオートに戻してください。

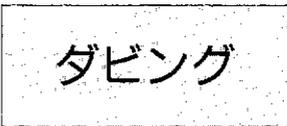
ビデオムービーで再生、本機で録画する場合　マスターエディットコントロール

・マスターエディットコントロール機能とは
　ダビング時、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。
・ビデオムービーの取扱説明書もお読みください。

・本機背面の**ビデオ2切換スイッチ**を**BSデコーダ入力**にすると、ビデオ2の入力端子はBSデコーダ入力専用となり、**入力切換ボタン**を押してもL2チャンネルは表示しません。

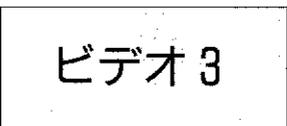
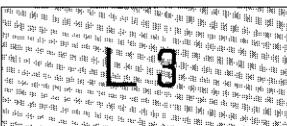
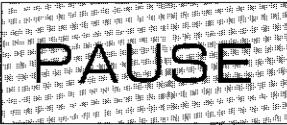
本機

ビデオステータスボタンで ダビングポジションにする

（43ページ参照）

・本体で操作する場合、**ダビングボタン**でダビングポジションにすることもできます。

ダビング

❷ 入出力切換スイッチを入力にする

❸ 入力切換ボタンでチャンネルを L 3（外部入力）にする

ビデオ 3

L 3

❹ 一時停止ボタンを押しながら 録画ボタンを押し、録画一時停止にする

録画　ポーズ

再生側

❺ ダビングしたい場面で静止画再生にする

❻ エディットボタンを押す

・自動的に録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。

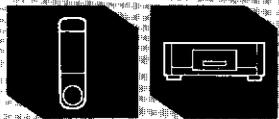
・再びダビングするときは、ビデオムービーのエディットボタンを押します。

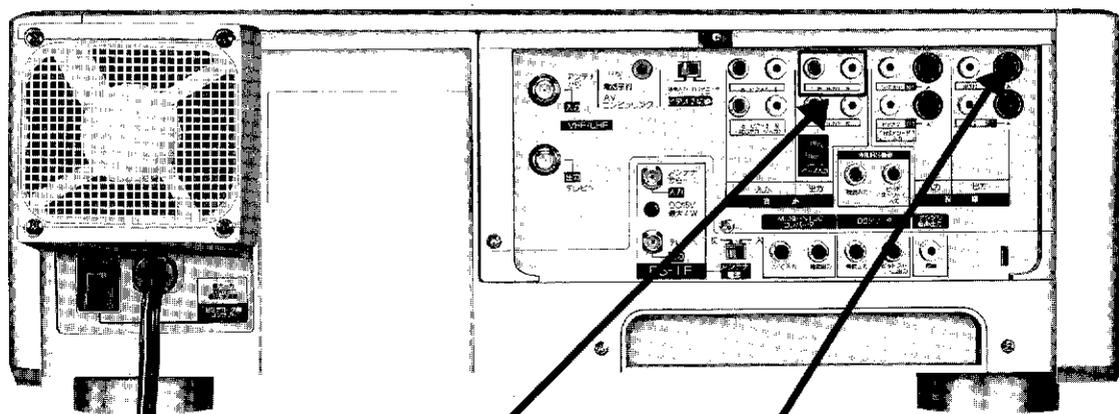
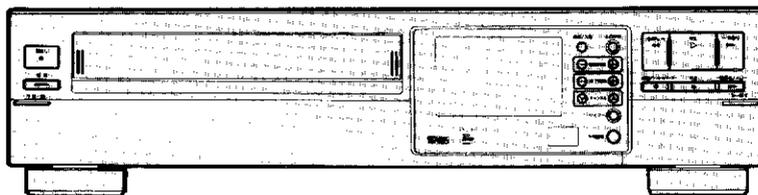
■終了するときは、ビデオムービーの停止ボタンを押します。

・本機は録画一時停止になります。

■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

・ダビング終了後は、**ビデオステータスボタン**で**AIオートポジション**に戻してください。

・録画一時停止が 5 分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

長時間のBS番組をタイマー録画する

BSチューナーを独立に使用し、長時間のBS番組を２台のビデオでリレー録画します。

本機のタイマー予約を設定する

・番組の終わりの時刻をタイマー終了時刻にします。

他機のタイマー予約を設定する

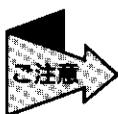
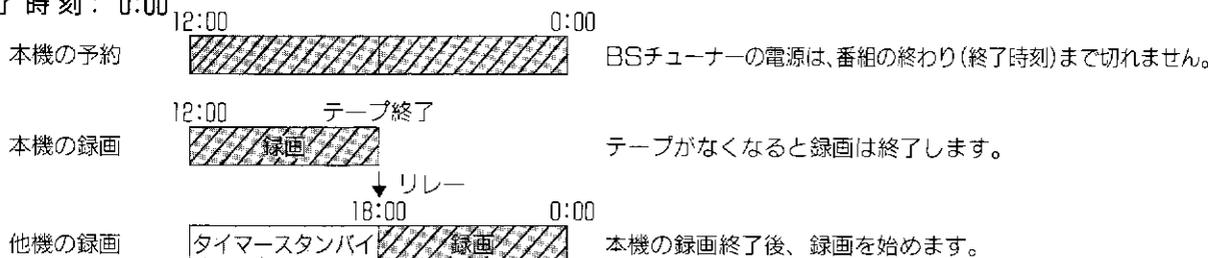
・本機のテープがなくなる時刻から番組終了時刻までを設定します。
・外部入力にします。

本機、他機ともタイマースタンバイにする

BSリレーRECのしくみ

(例)120分テープを2本使用して衛星放送の番組を3倍モードで12時間録画する場合

チャンネル：BS11
開 始 時 刻：12:00
終 了 時 刻： 0:00

本機の予約	12:00 ～ 0:00	BSチューナーの電源は、番組の終わり(終了時刻)まで切れません。
本機の録画	12:00 録画 テープ終了 ↓リレー	テープがなくなると録画は終了します。
他機の録画	タイマースタンバイ 18:00 録画 0:00	本機の録画終了後、録画を始めます。

・他機で録画中に本機を操作しないでください。
・他機のタイマー録画のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。
・本機のタイマー録画が終了すると、TIMERランプとBSモニター表示が点滅し、カセットが出てきます。
・番組の終わり(終了時刻)になると、本機のTIMERランプが点滅します。**タイマーボタン**を押すと点滅は解除します。

関連システムとの接続

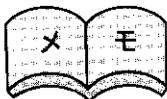
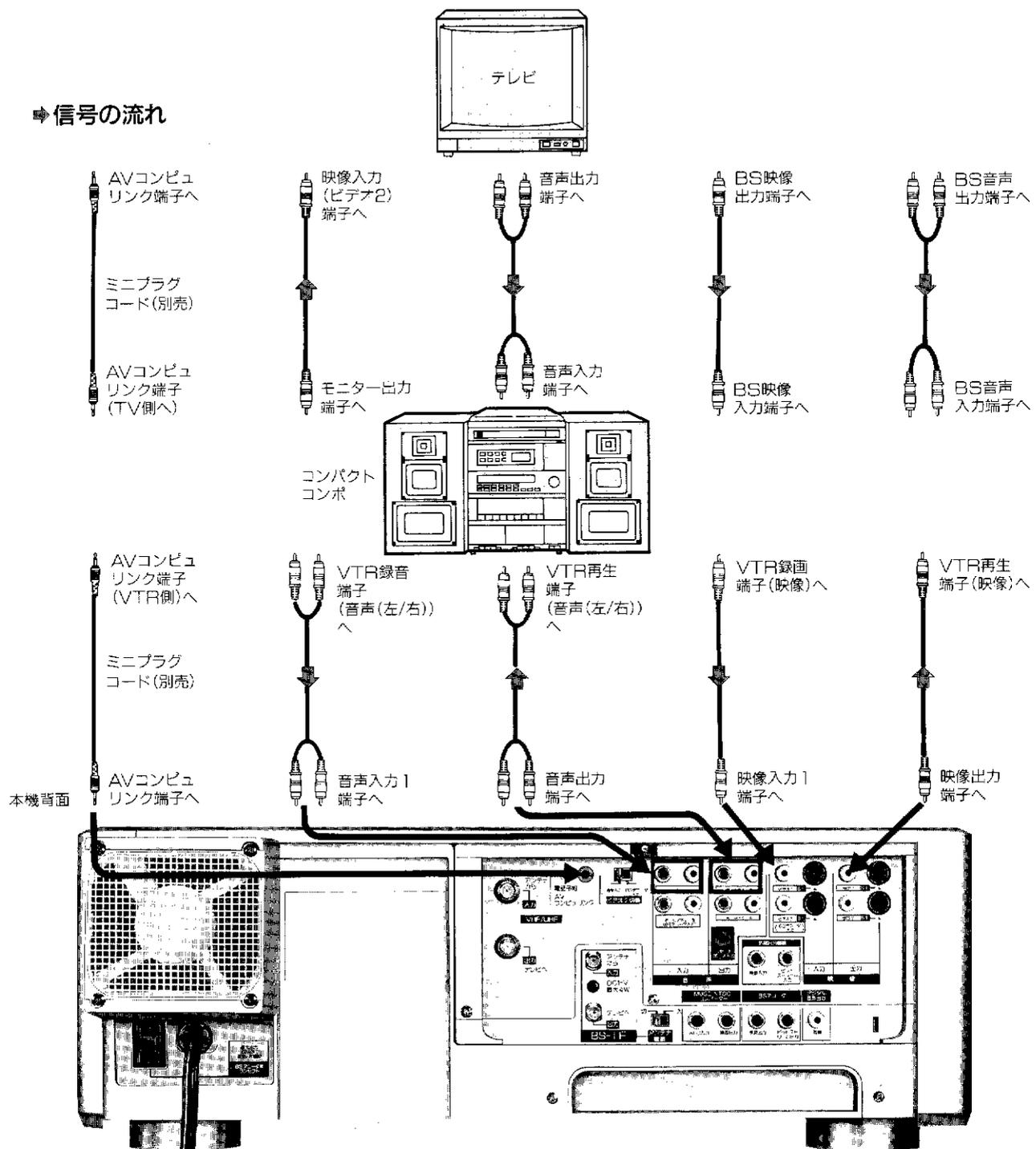
テレビ・コンパクトコンポとの連携プレー　AVコンピュリンク

当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。

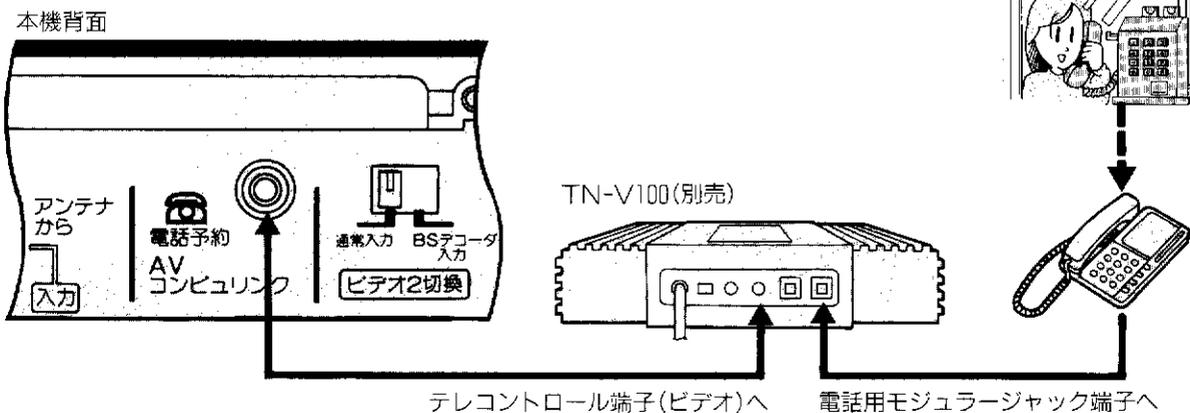
(例)ワンタッチ再生

録画済テープをビデオに入れ、**PLAYボタン**を押すと

コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。

テレビ　　　　　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

・ミニプラグコードは下記の当社製品をご使用ください。
　・CN-120A(1.5m)
　・CN-125A(3.0m)
・詳しくは、コンパクトコンポの取扱説明書をお読みください。

外出先から電話でタイマー予約

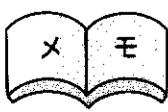
別売のAVテレホンコントローラーTN-V100と組み合わせて、電話で録画予約、録画スタート、予約取消し、テープの巻戻し、電源ON/OFF、停止、カセット有無の確認、在宅者コールが外出先からできます。

AVテレホンコントローラーを準備する

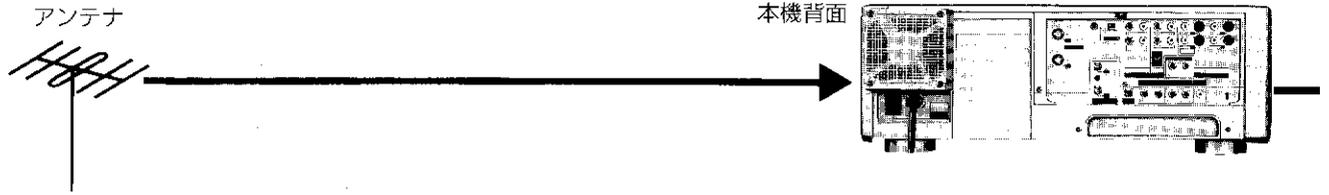
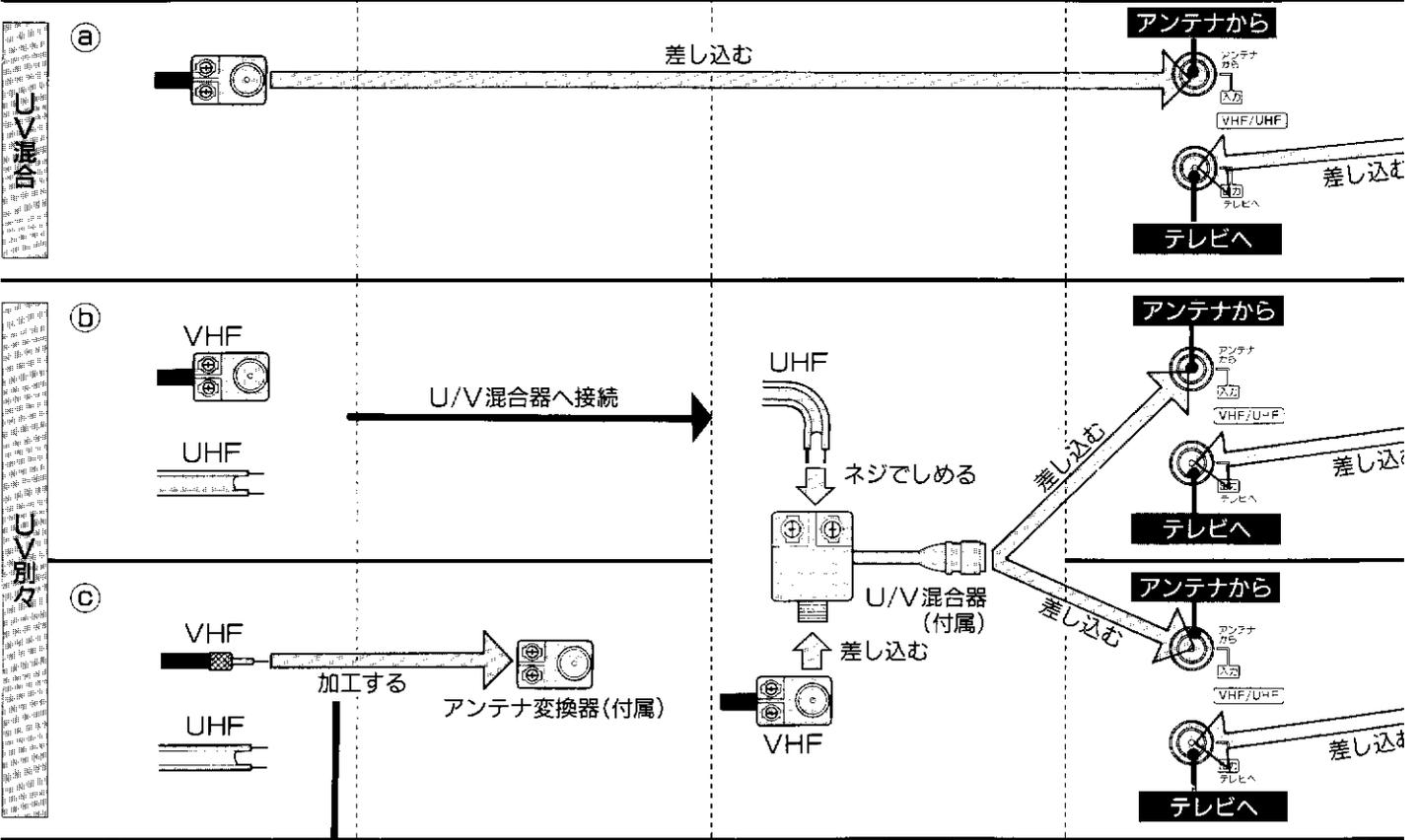
・TN-V100の「取扱説明書」をよく読んで初期設定を行ってください。

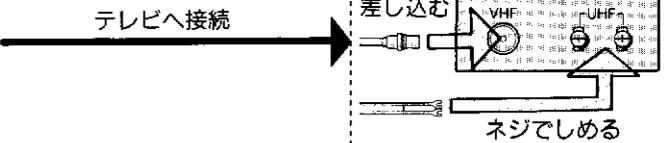
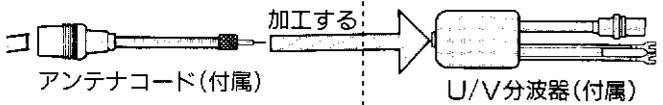
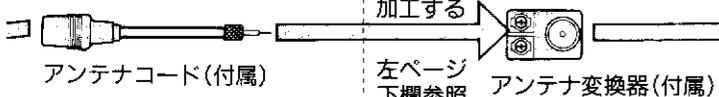
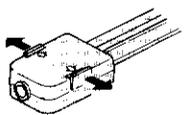
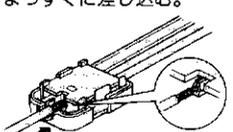
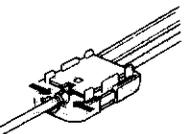
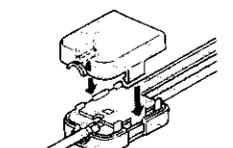
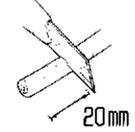
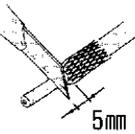
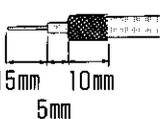
ビデオ(本機)を準備する

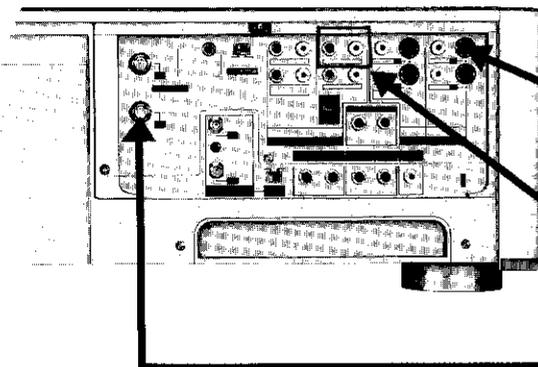
①つめのついたカセットを入れます。
②本体の**リモコンコード切換スイッチ**を**Aコード**にします。(13ページ参照)
③電源を切ります。

電話予約する

・TN-V100(別売)の「取扱説明書」をよくお読みください。
また、同機はオーディオ機器の電話での操作もできます。

・詳しくは、AVテレホンコントローラーの取扱説明書をお読みください。
・BS番組の予約はできません。

アンテナ、ビデオ、テレビの接続

AV接続も合わせて行います。
次ページをご覧ください。

ビデオ←→テレビの接続

AVテレビとの接続

本機背面

AVテレビにS端子がない場合は付属のビデオコードをご使用ください。

S1映像出力端子へ　S映像入力端子へ

Sビデオコード(付属)

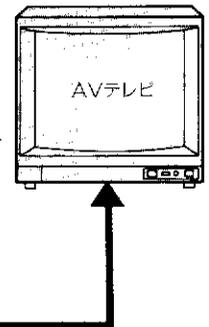
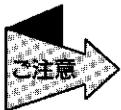
AVテレビ

音声出力端子へ　音声入力端子へ

オーディオコード(付属)

VHF/UHFアンテナ
出力端子へ

アンテナ入力端子へ

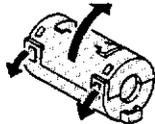
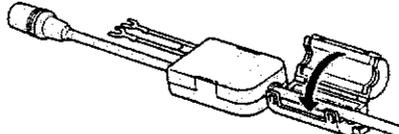
ご注意

・本機は、映像/音声入力端子がないテレビとは接続できません。

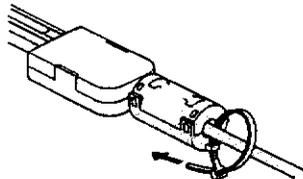
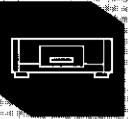
ノイズフィルターの取り付けかた

■本機とテレビとの接続に使用するアンテナコードに、付属のノイズフィルターを取り付けてください。
テレビ画面のノイズを除去し、鮮明な映像をお楽しみいただけます。

完成図

(例・U/V分波器を使用する場合)

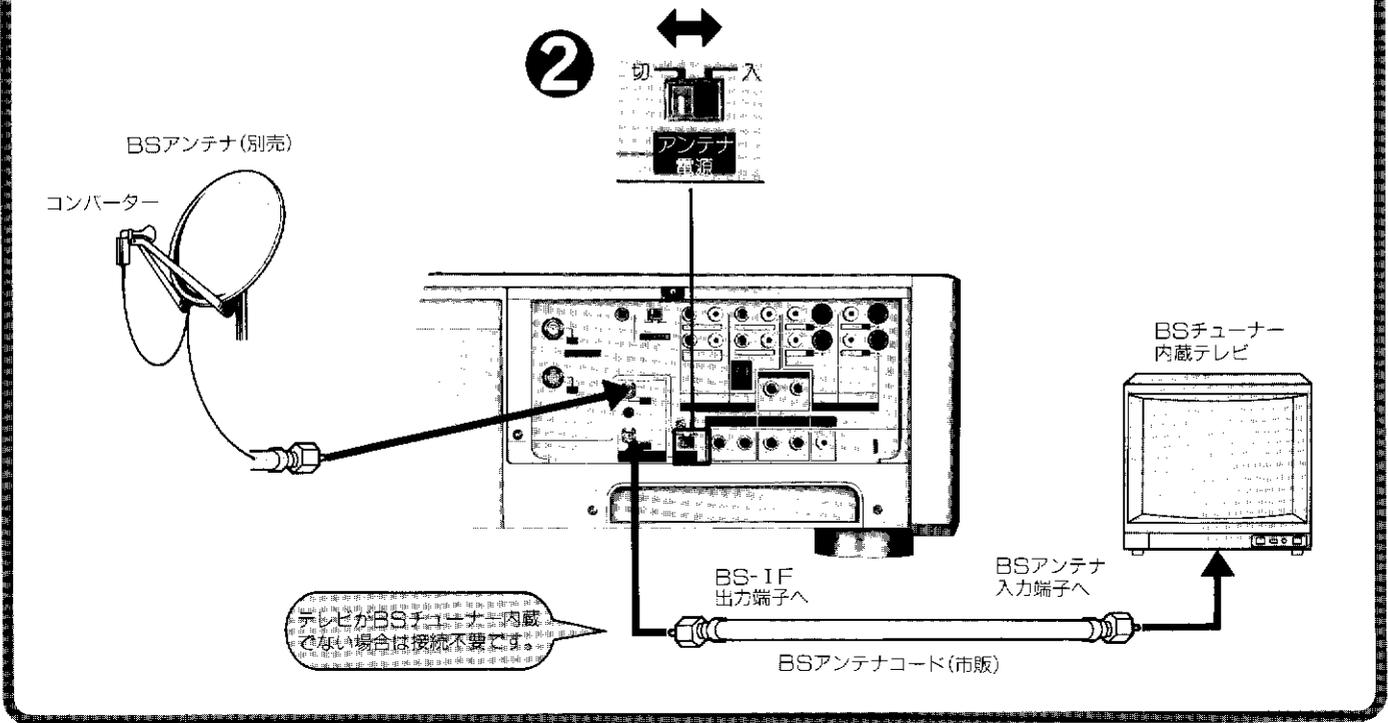
❶ 両端のストッパーをはずし開く。

❷ アンテナコードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる。

・U/V分波器に近い場所に取り付けてください。

❸ バインダーを通し、しめる。(余った部分ははさみなどで切り取ってください。)

BSアンテナの接続

BSアンテナの接続とアンテナ電源スイッチの設定

BSアンテナを接続するときは、アンテナ電源スイッチを切にしてから始めてください。

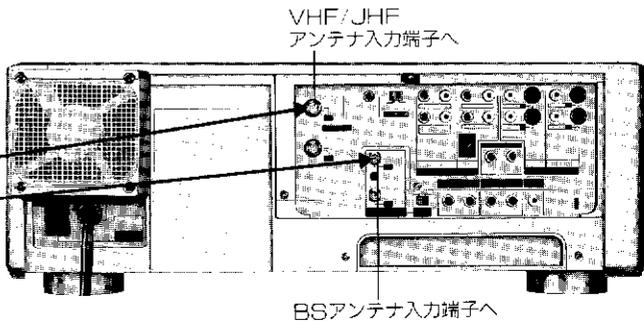
❷ 切 入 アンテナ電源

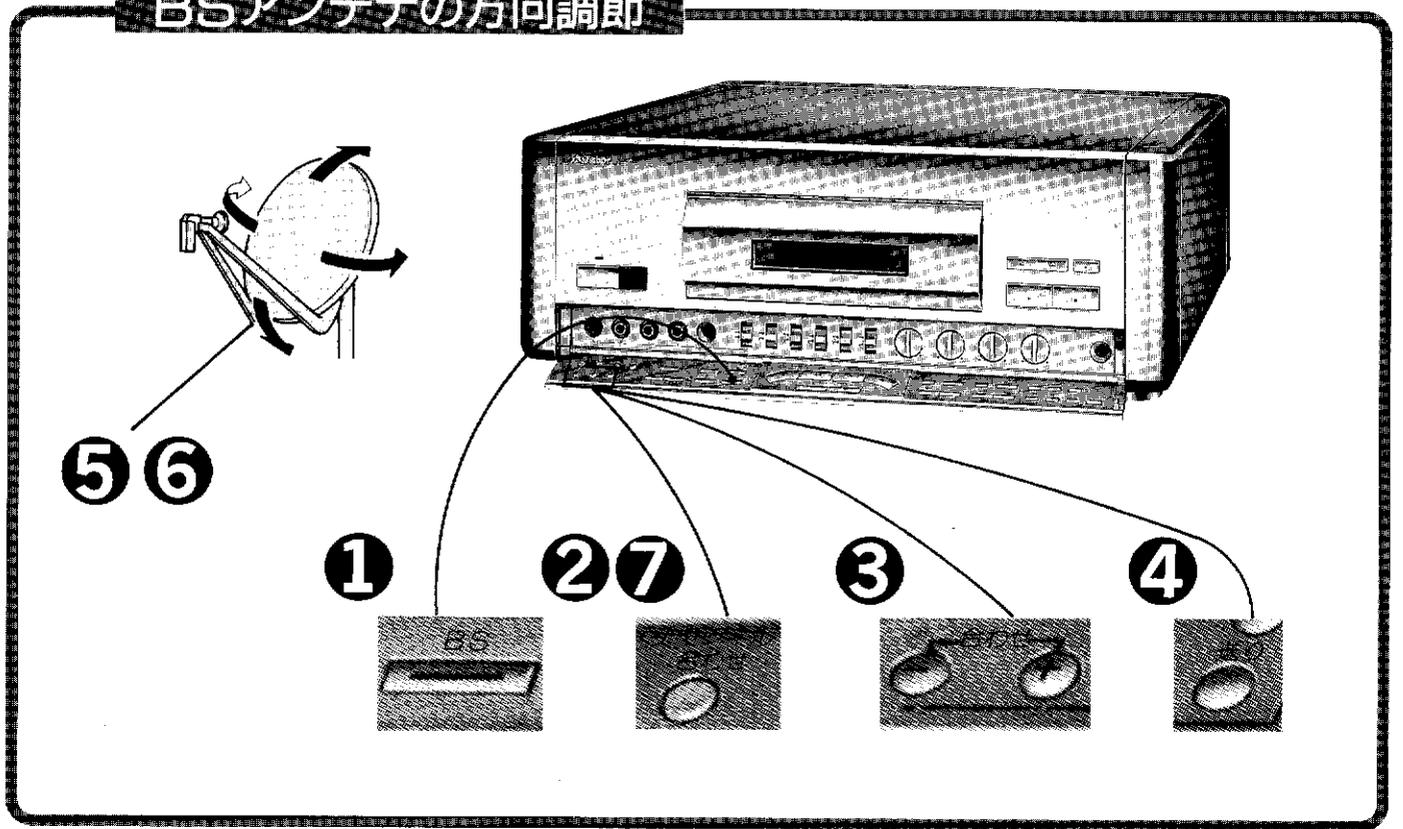
BSアンテナ(別売)
コンバーター
BSチューナー内蔵テレビ
BS-IF出力端子へ
BSアンテナ入力端子へ
テレビがBSチューナー内蔵でない場合は接続不要です。
BSアンテナコード(市販)

❶ BSチューナー内蔵テレビをお持ちのかたは、BSアンテナコードでビデオのBS-IF出力端子とテレビの**BSアンテナ入力端子**を接続する

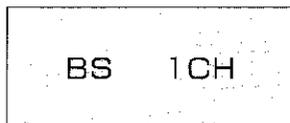
❷ アンテナ電源スイッチを設定する

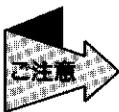
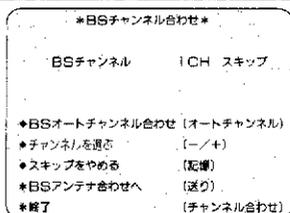
切	共同受信している場合(マンションなど) ・本機からはBSアンテナに電源は供給されません。
入	本機とBSアンテナを接続している場合 本機以外にもBS機器があり、分配器を使用している場合 ・常にBSアンテナに電源が供給されます。

アンテナ端子がBS/UV混合の場合

・市販のBS/UV分波器をご使用ください。

BSアンテナの接続(つづき)

BSアンテナの方向調節

準備
❶テレビとビデオの電源を入れます。
❷テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
❸本機のBSアンテナ電源スイッチを確認します。(前ページ参照)

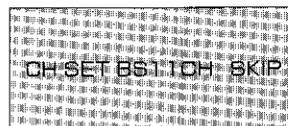
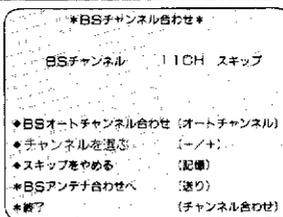
❶ BSオレンジボタンを押す

❷ チャンネル合わせボタンを押す
・BSチャンネル合わせ画面を表示します。

ご注意

・雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。
これは気象条件によるもので、BSアンテナやビデオの故障ではありません。
また、春分と秋分の前後は、食(放送衛星が地球や月の影に入り、電波が途切れる)ため、放送が一時的に休止する場合があります。

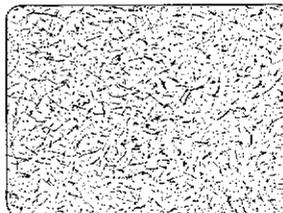
合わせボタンで放送があるチャンネルを選ぶ

・BS番組を受信していないと、ブルーバック画面になります。

＊BSチャンネル合わせ＊
BSチャンネル　11CH　スキップ
◆BSオートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルを選ぶ　(−／＋)
◆スキップをやめる　(記憶)
◆BSアンテナ合わせへ　(送り)
◆終了　(チャンネル合わせ)

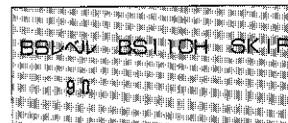
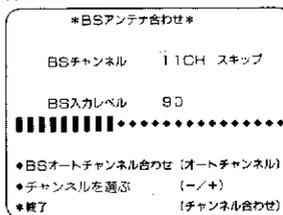
CH SET BS11CH SKIP

送りボタンを押す

・BS番組を受信していないと、ノイズ画面になります。

BSレベル BS11CH SKIP
30

BSアンテナを動かして、BS番組が映るようにする

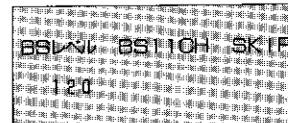
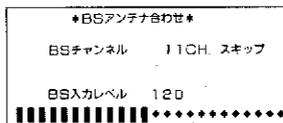
・BSアンテナ合わせ画面を表示します。

＊BSアンテナ合わせ＊
BSチャンネル　11CH　スキップ
BS入力レベル　90
◆BSオートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルを選ぶ　(−／＋)
◆終了　(チャンネル合わせ)

BSレベル BS11CH SKIP
90

BS入力レベルの数値が最大になるように、BSアンテナを動かして微調整する

・数値が小さくても、画面がきれいに映っていれば大丈夫です。

＊BSアンテナ合わせ＊
BSチャンネル　11CH　スキップ
BS入力レベル　120

BSレベル BS11CH SKIP
120

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す〔設置完了〕

■設置完了後、75ページのBSオートチャンネル設定を行ってください。

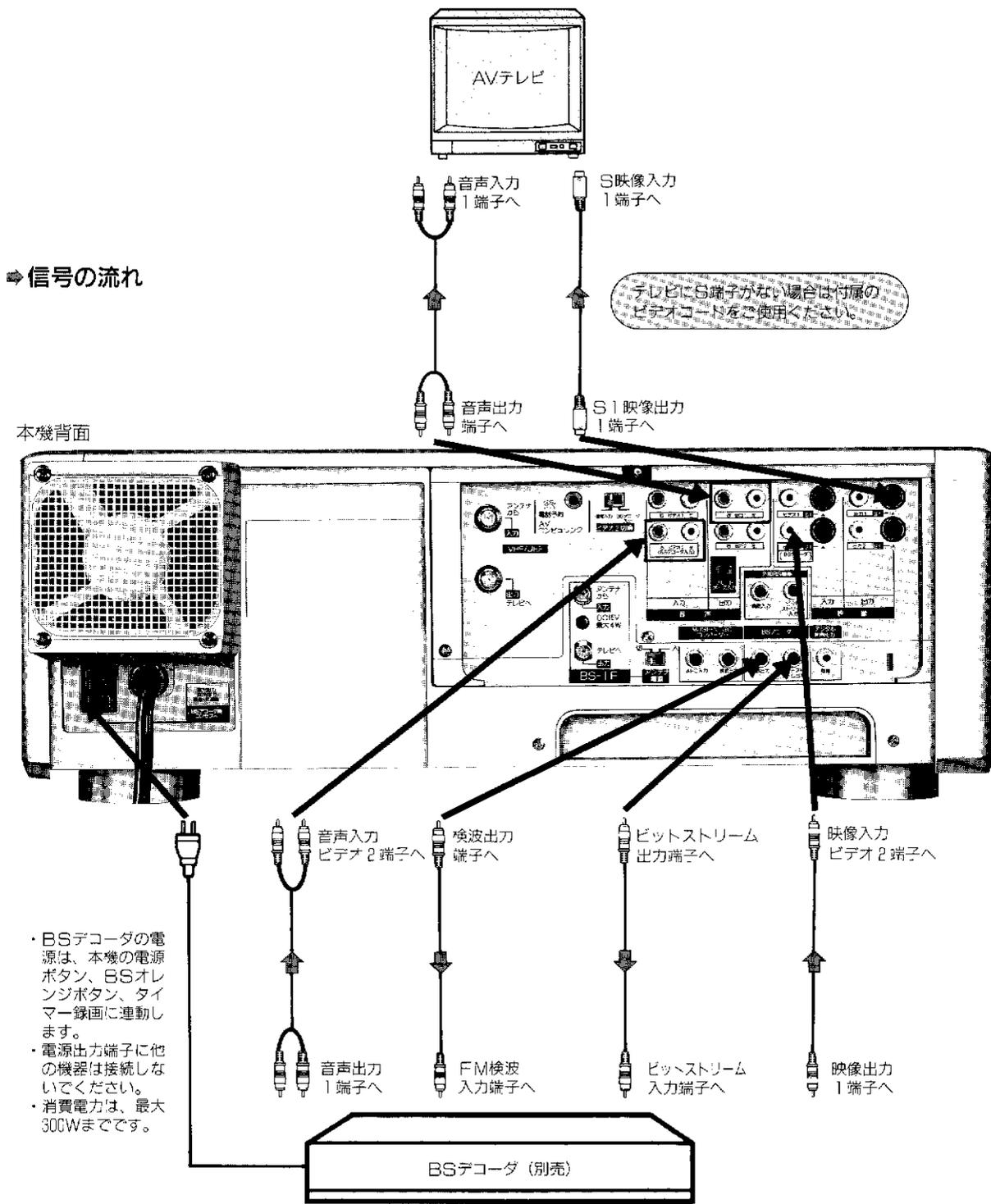
・BS入力レベルは雨、雪、温度、アンテナケーブルの長さなどの影響を受け、時間によって数値が増えたり、減ったりすることがあります。この数値はアンテナ設置のために目安とするものであり、画質や音質のレベルとは関係ありません。
・BSアンテナの設置についてはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

BSデコーダとの接続

BSチューナー内蔵テレビと接続する

WOWOW（ワウワウ）、St.GIGA（セント ギガ）を視聴するには、BSデコーダが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。
WOWOWの見かたは、17ページをご覧ください。
St.GIGAの聞きかたは、18ページをご覧ください。

・BSデコーダの電源は、本機の電源ボタン、BSオレンジボタン、タイマー録画に連動します。
・電源出力端子に他の機器は接続しないでください。
・消費電力は、最大300Wまでです。

AVテレビと接続する

■BSチューナー内蔵テレビでNHKのBS番組を見ているときに、BSデコーダの電源が入っているかたへ

左ページの点線部分の接続を次のように変更してください。
映像・音声のリターン入力端子からコードを抜き、映像・音声入力端子に接続してください。

・ビデオでWOWOW/St.GIGAを録画しながらテレビでNHKのBS番組を見るときは
❶テレビ側で見たいBS番組を選びます。
・ビデオ電源「切」の状態でテレビのWOWOW/St.GIGAを見るときは
❶テレビ側で見たいBS番組を選びます。
❷テレビの入力切換をビデオにします。

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

ミューズ　エヌティーエスシー

MUSE-NTSCコンバーターと接続する

ハイビジョン放送の見かたは、19ページをご覧ください。

BSチューナー内蔵テレビ

音声入力端子へ

S映像入力端子へ

➡信号の流れ

テレビにS端子がない場合は、付属のビデオコードをご使用ください。

音声出力1端子へ

S1映像出力1端子へ

本機背面

AFC入力端子へ

検波出力端子へ

音声入力ビデオ2端子へ

映像入力ビデオ2端子へ

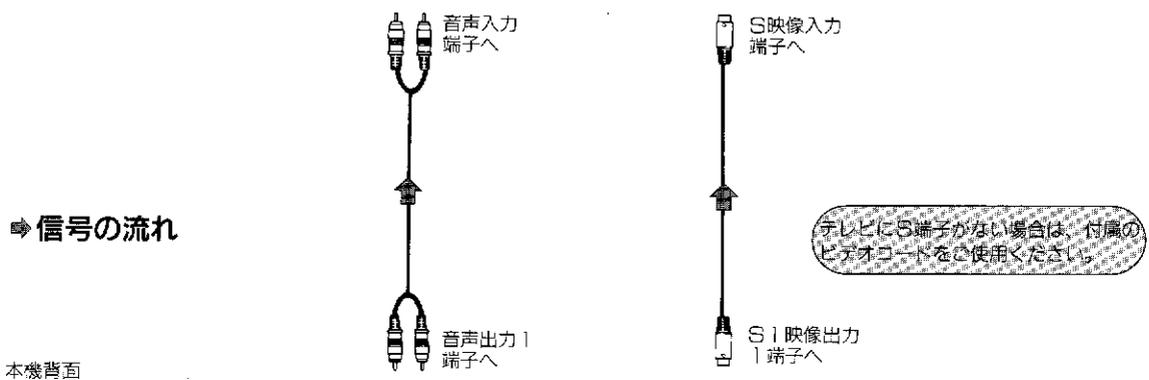
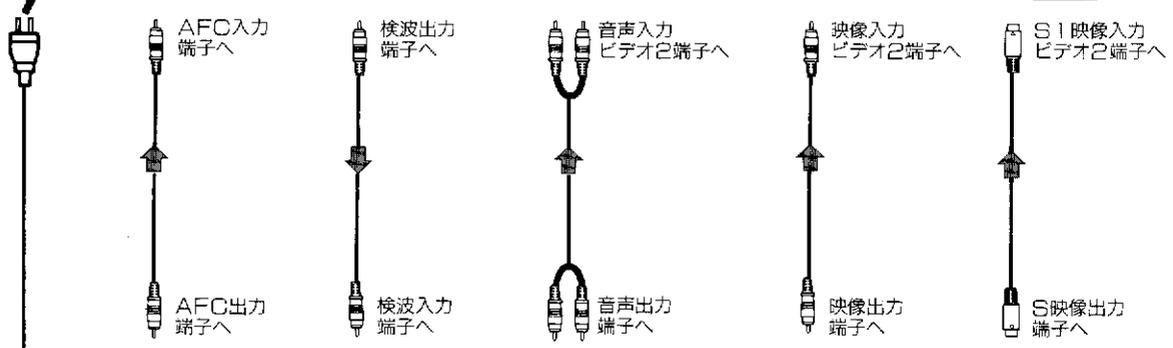
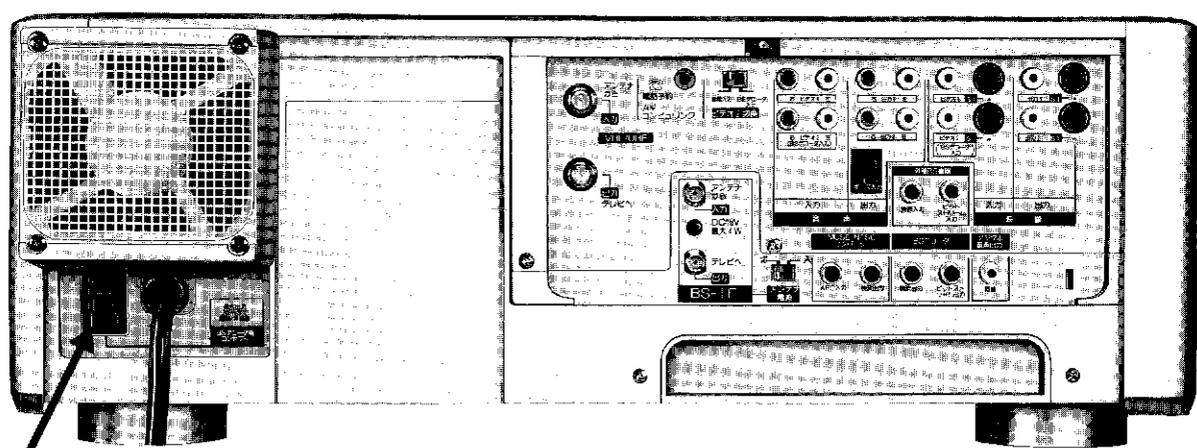
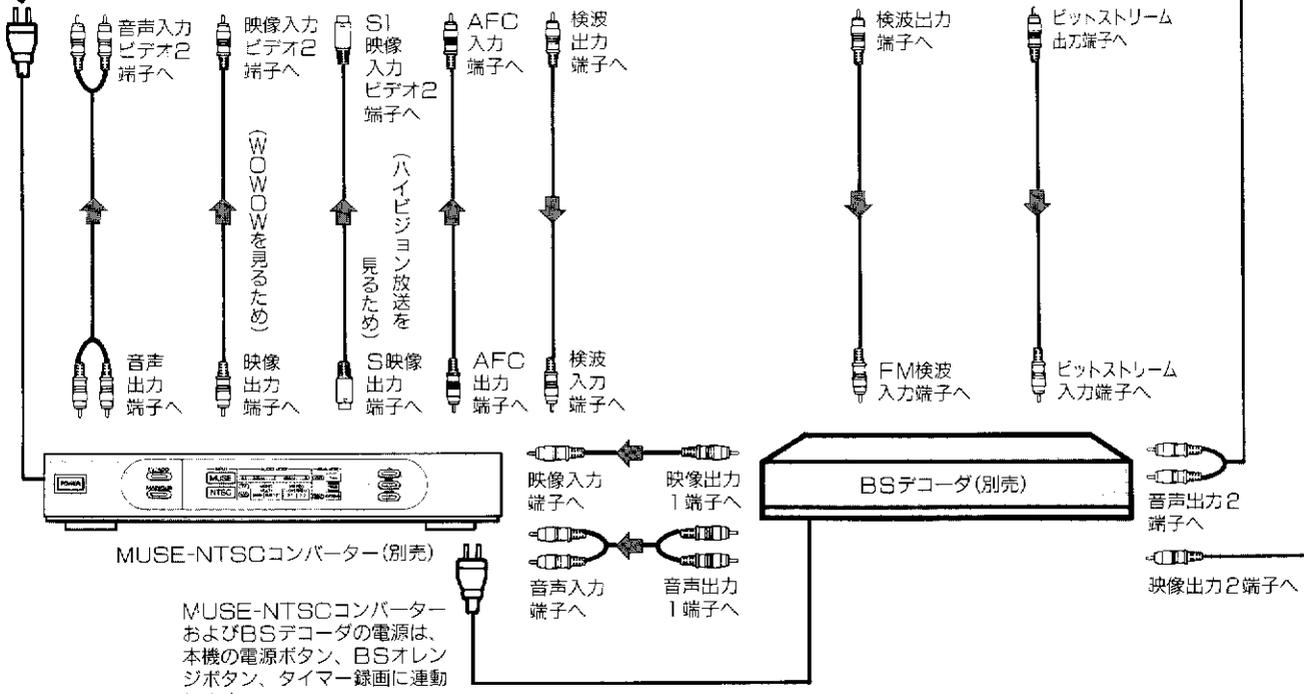
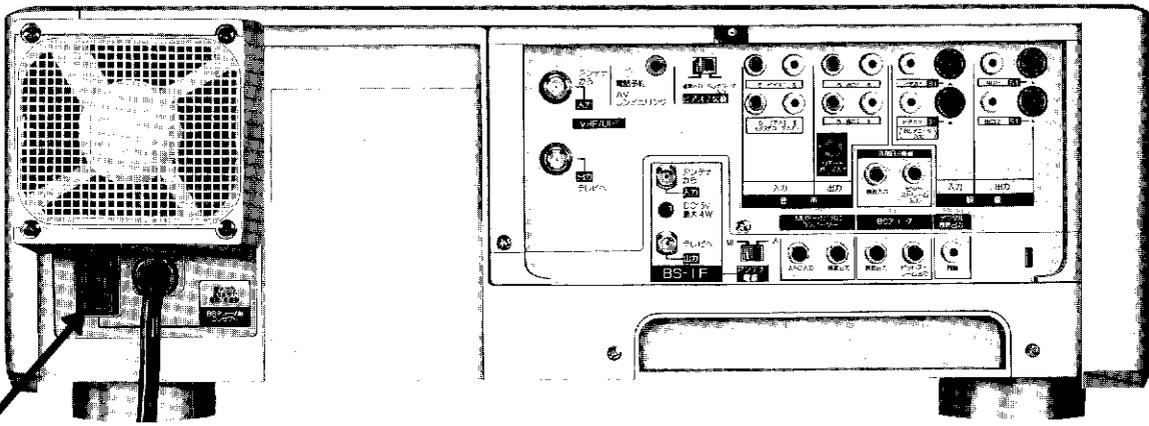
S1映像入力ビデオ2端子へ

AFC出力端子へ

検波入力端子へ

音声出力端子へ

映像出力端子へ

S映像出力端子へ

MUSE-NTSCコンバーターの電源は、本機の**電源ボタン**、**BSオレンジボタン**、タイマー録画に連動します。

MUSE−NTSCコンバーター(別売)

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダと接続する

テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、青色（　）部分の接続は不要です。

ご注意

・本機背面の電源出力端子には、BSデコーダまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源プラグを接続します。
他の機器は接続しないでください。
また、消費電力は最大300Wまでです。

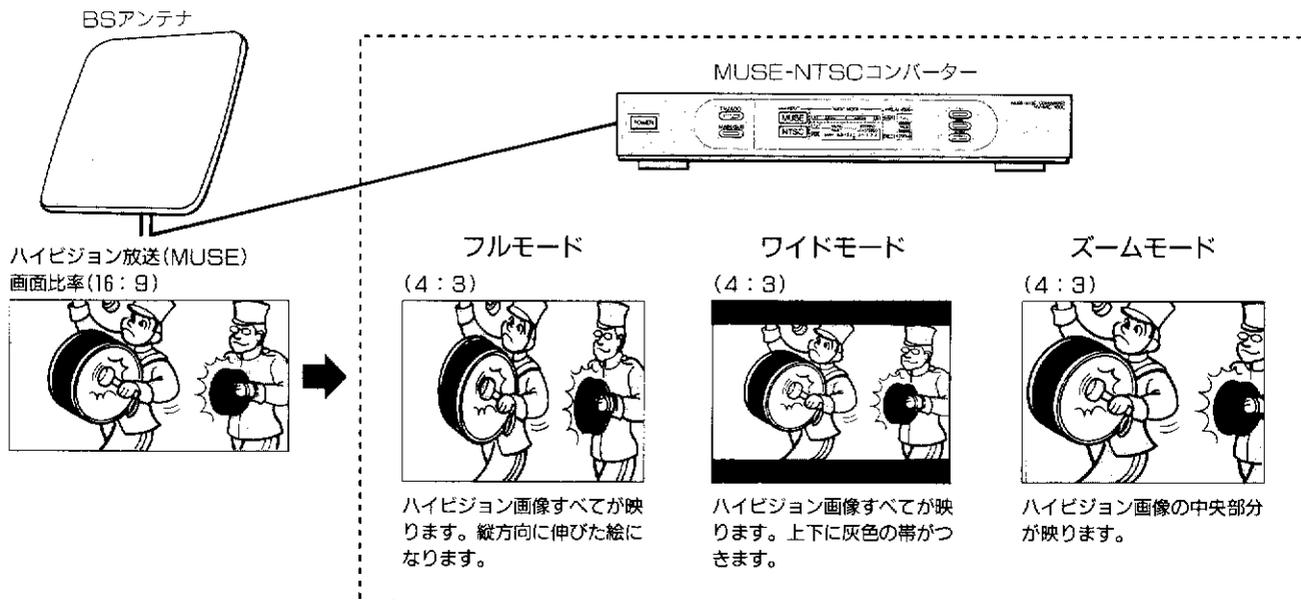
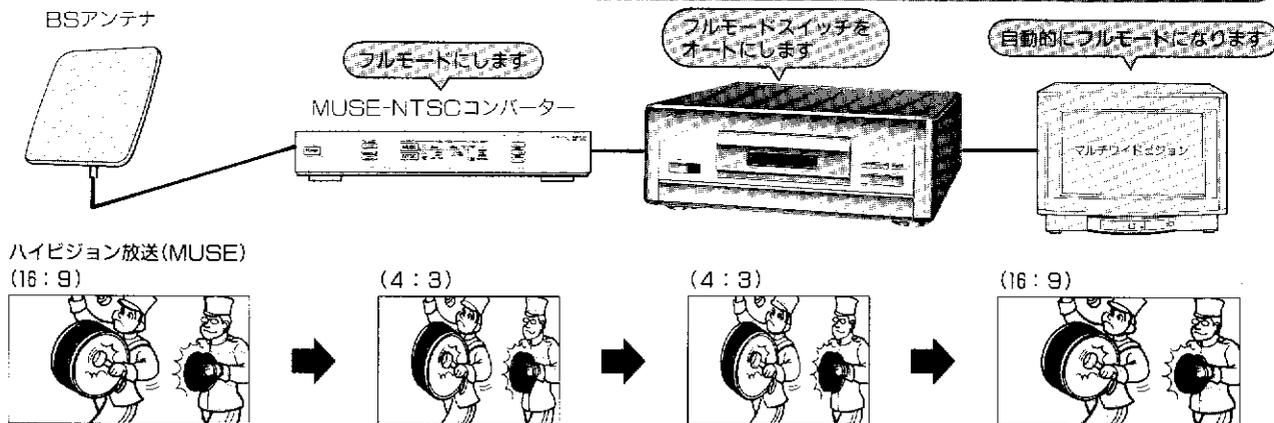
横長画面を楽しむ

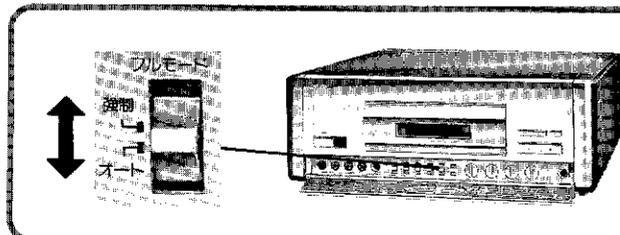
ハイビジョン放送を横長画面で楽しむ

MUSE-NTSCコンバーターを使ってハイビジョン放送を受信すると、MUSE-NTSCコンバーター側で次の3つの画面に変換することができます。

ハイビジョン画像すべてが映ります。縦方向に伸びた絵になります。

ハイビジョン画像すべてが映ります。上下に灰色の帯ができます。

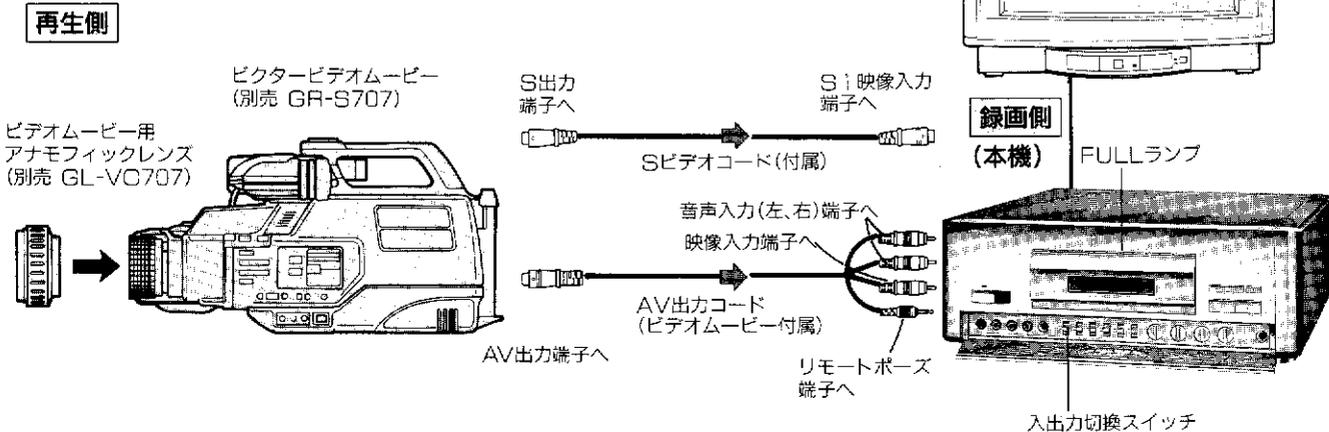
ハイビジョン画像の中央部分が映ります。

マルチワイドビジョンテレビ(画面比率16：9)で見る場合(接続は70ページをご覧ください)

現行方式(画面比率4：3)のテレビで見る場合(接続は70ページをご覧ください)

本機のフルモードスイッチを**オート**にします。
テレビには、MUSE-NTSCコンバーター側で選んだ画面が映ります。

フルモードスイッチ
・録画、再生、テレビ番組受信、BSモニター時に働きます。
オート：通常はオートにします。
強　制：アナモフィックレンズを使ったビデオムービーから本機で録画したものをマルチワイドビジョンテレビで見るときは強制にします。(右ページ参照)

・S1映像入力端子からフルモードのコントロール信号が入力されると、本体のFULLランプが点灯します。
・接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
・MUSE-NTSCコンバーター、マルチワイドビジョンテレビとの接続は71ページをご覧ください。

アナモフィックレンズを使ったビデオムービーからの横長画面記録

本機では、ビクターのビデオムービーGR-S707にアナモフィックレンズ(GL-VC707)を取り付けて撮影した映像に横長信号を追加して記録します。マルチワイドビジョンと接続すると映画館と同じようにワイドな画面でお楽しみいただけます。

➡信号の流れ

本機

1 フルモードスイッチを強制にする
・FULLランプが点灯します。

2 入出力切換スイッチを入力にする

3 入力切換ボタンでチャンネルをL3にする

本機

4 一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押し、録画一時停止にする

ビデオムービー

5 ダビングしたい場面で静止画再生にする

6 エディットボタンを押す
・自動的に録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、ビデオムービーの一時停止ボタンを押します。
・再びダビングするときは、ビデオムービーの**エディットボタン**を押します。

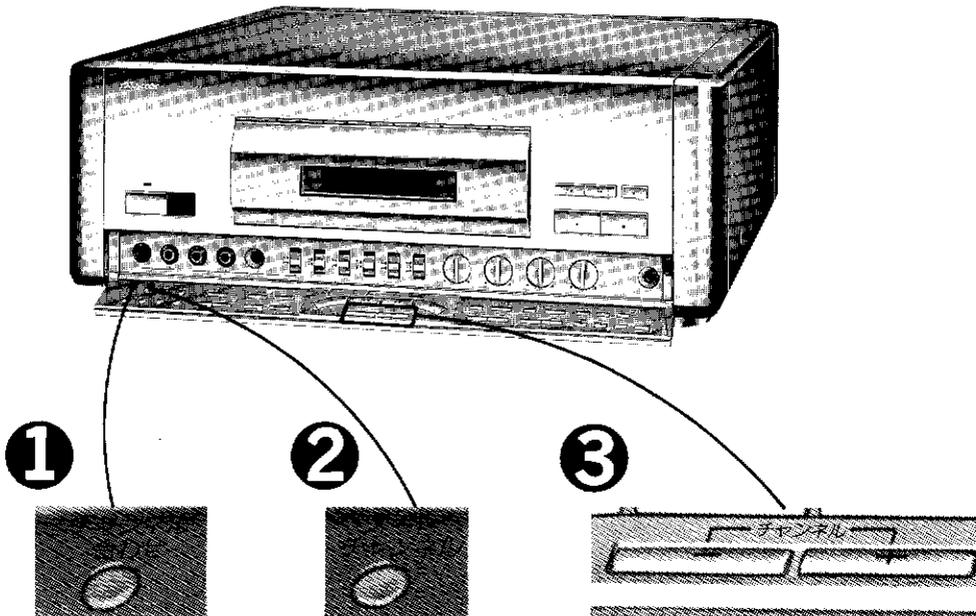
■終了するときは、ビデオムービーの停止ボタンを押します。
・本機は録画一時停止になります。

■テレビ番組のチャンネルに戻すときは、チャンネルボタンを押します。

・横長信号の出力は本機のS1映像出力端子からのみ出力します。
・横長画面を楽しむには、各機器間の映像端子をSビデオコードで接続してください。
・上記の接続で録画中に**BSオレンジボタン**を押すと、ハイビジョン放送以外のBS番組の画像が横方向に伸びることがあります。

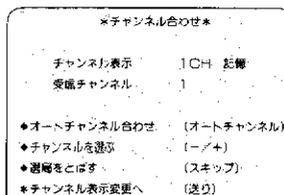
受信チャンネル設定

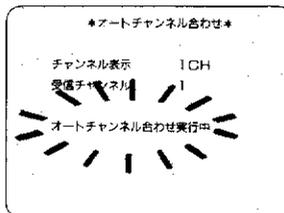
オートチャンネル設定

オートチャンネルボタンで、チャンネルを自動選局します。BSアンテナを接続していれば、BS番組も自動的に選局します。あとからBSアンテナを接続した方は右ページのBSオートチャンネル設定を行います。

準備 テレビの準備

❶電源を入れます。
❷入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

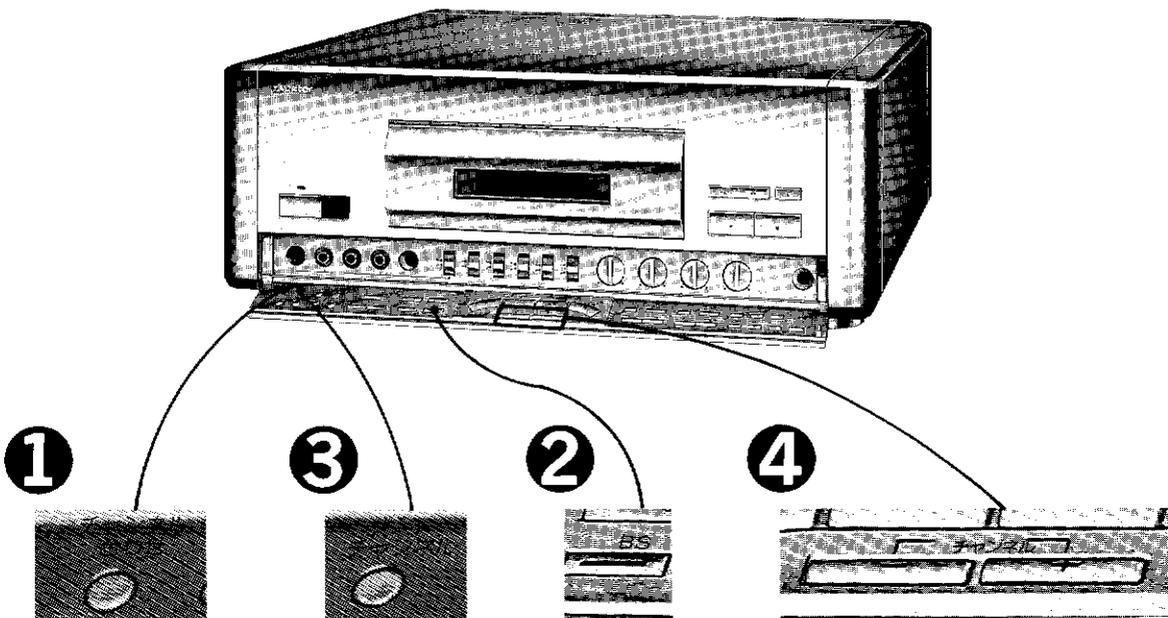
❶ チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

オートチャンネルボタンを押す

・選局が始まり、放送のあるチャンネルを自動的に記憶します。
・終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。

❸ チャンネルボタンで、選局されたチャンネルを確認する

・不要なチャンネルを飛ばすときは、76ページをご覧ください。
・チャンネル表示を変更するときは、78ページをご覧ください。
・きれいに映らないときは、80ページをご覧ください。

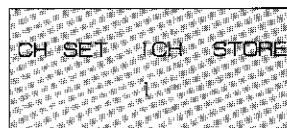
BSオートチャンネル設定

あとからBSアンテナを購入し接続した方は、BS番組のチャンネル設定を行います。
オートチャンネルボタンで、BSチャンネルを自動選局します。

チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1

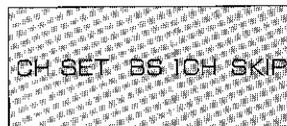
◆オートチャンネル合わせ　（オートチャンネル）
◆チャンネルを選ぶ　（－／＋）
◆選局をとばす　（スキップ）
＊チャンネル表示変更へ　（送り）

BSオレンジボタンを押す

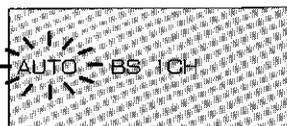
・BSチャンネル合わせ画面を表示します。

＊BSチャンネル合わせ＊

BSチャンネル　1CH　スキップ

◆BSオートチャンネル合わせ　（オートチャンネル）
◆チャンネルを選ぶ　（－／＋）
◆スキップをやめる　（記憶）
＊BSアンテナ合わせへ　（送り）
＊終了　（チャンネル合わせ）

CH SET BS 1CH SKIP

オートチャンネルボタンを押す

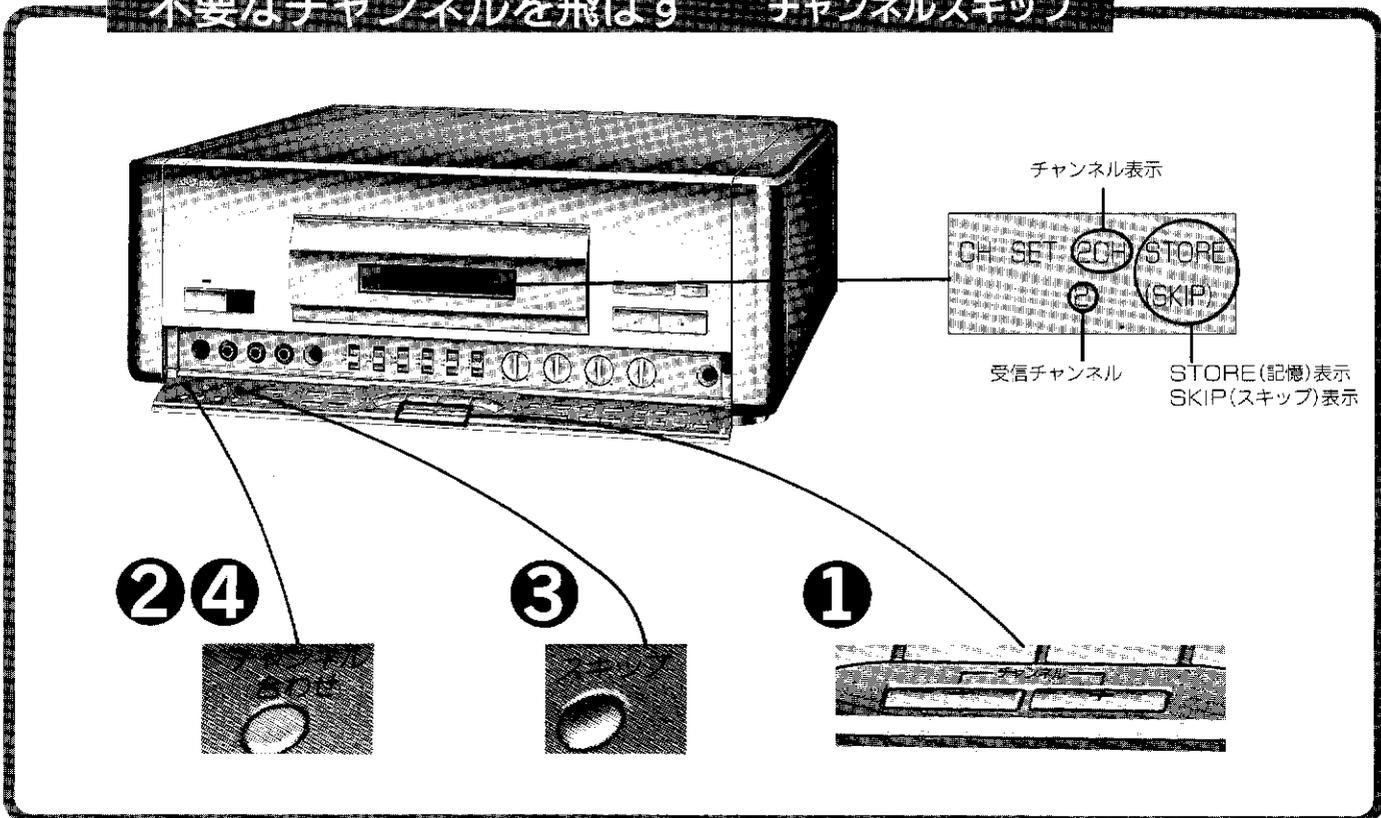
・放送されているBSチャンネルを自動的に記憶します。
・終了すると、一番小さい数字のBSチャンネルが映ります。

チャンネルボタンで、選局されたチャンネルを確認する

・不要なチャンネルを飛ばすときは、次ページをご覧ください。

受信チャンネル設定(つづき)

不要なチャンネルを飛ばす　チャンネルスキップ

チャンネル表示
CH SET 2CH STORE (SKIP)
2
受信チャンネル
STORE(記憶)表示
SKIP(スキップ)表示

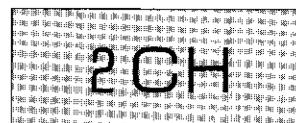
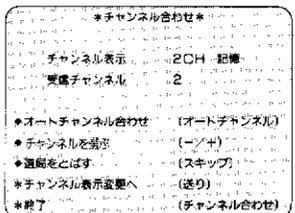
❷❹ チャンネル合わせ
❸ スキップ
❶ チャンネル − ＋

本体表示窓

❶ テレビ画面を見ながら、チャンネルボタンで、飛ばしたいチャンネルに合わせる

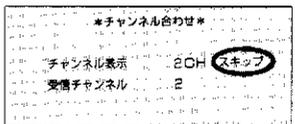
2CH

❷ チャンネル合わせボタンを押す

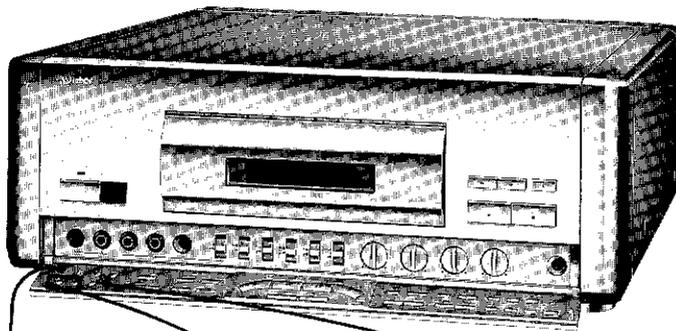
・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　2CH　記憶
受信チャンネル　2
◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルを選ぶ　(−／＋)
◆選局をとばす　(スキップ)
＊チャンネル表示変更へ　(送り)
＊終了　(チャンネル合わせ)

❸ スキップボタンを押す

・スキップを表示します。
・本体表示窓では、SKIPを表示します。

＊チャンネル合わせ＊
チャンネル表示　2CH スキップ
受信チャンネル　2

❹ チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

・他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、❶〜❹をくり返します。

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶する

❶❹ チャンネル合わせ
❷ 合わせ − +
❸ 記憶

テレビ画面 / 本体表示窓

❶ チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1

◆オートチャンネル合わせ　〔オートチャンネル〕
◆チャンネルを選ぶ　〔−／＋〕
◆選局をとばす　〔スキップ〕
＊チャンネル表示変更へ　〔送り〕

CH SET　1CH　STORE
1

❷ 合わせボタンで、記憶したい チャンネルに合わせる

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　2CH　スキップ
受信チャンネル　2

CH SET　2CH　SKIP
2

❸ 記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、STOREを表示します。
・他にも記憶したいチャンネルがあるときは、❷〜❸をくり返します。

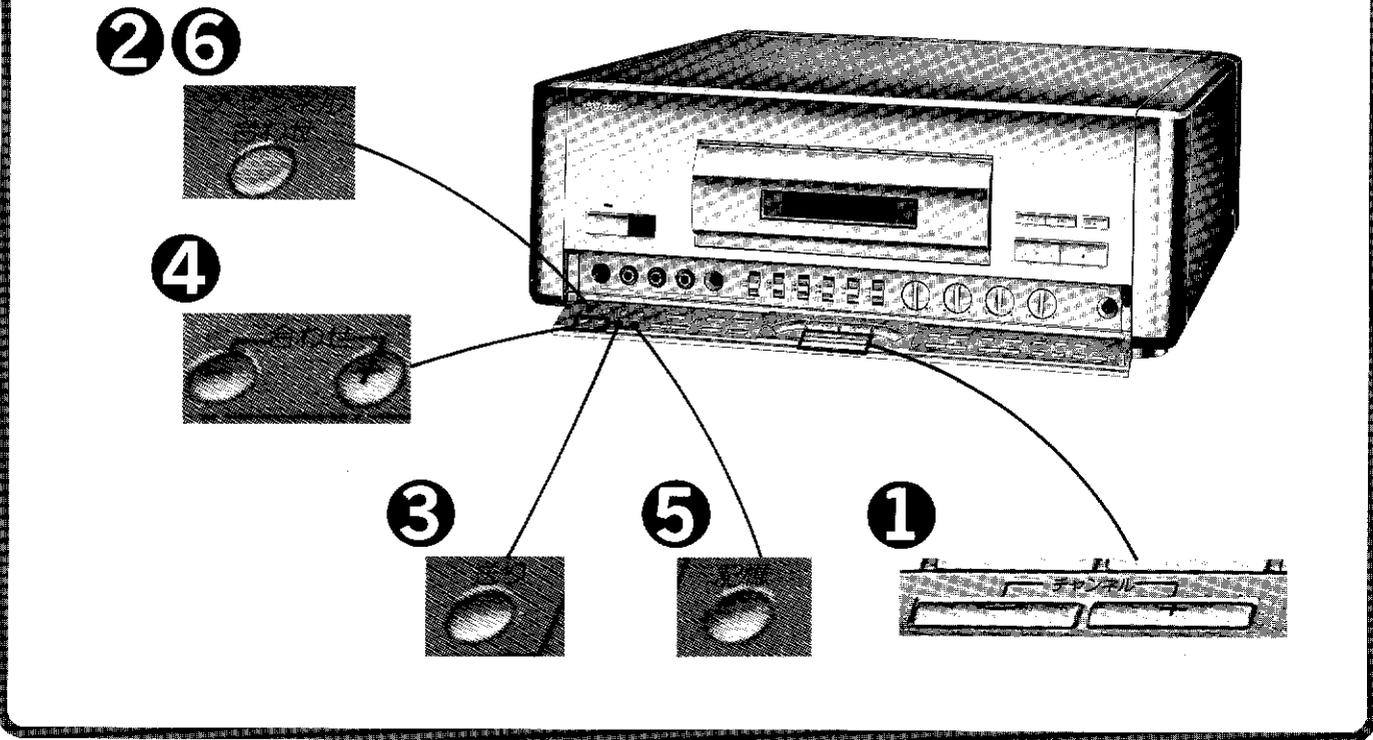
＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　2CH
受信チャンネル　2

❹ チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

受信チャンネル設定(つづき)

チャンネル表示を変更する

❷❻ ❹ ❸ ❺ ❶

(例)テレビ神奈川(42チャンネル)のチャンネル表示を5にする

チャンネルボタンで、変更したいチャンネルにする

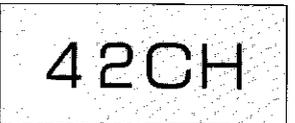
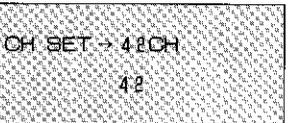
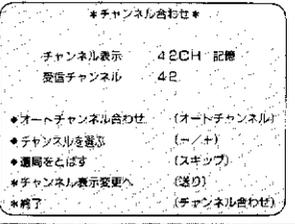
42CH

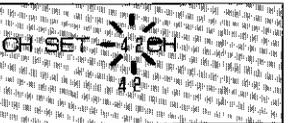
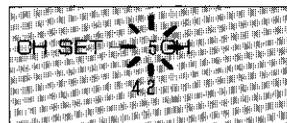
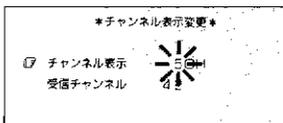
❷ チャンネル合わせボタンを押す

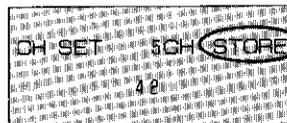
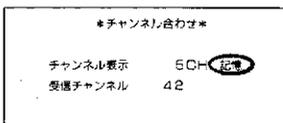
・チャンネル合わせ画面を表示します。

＊チャンネル合わせ＊

チャンネル表示　42CH　記憶
受信チャンネル　42

◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルを選ぶ　(－／＋)
◆週局をとばす　(スキップ)
＊チャンネル表示変更へ　(送り)
＊終了　(チャンネル合わせ)

❸ 送りボタンを押す

・チャンネル表示変更画面を表示します。

合わせボタンで、チャンネル表示を変更する

記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、STOREを表示します。

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

・タイマー予約をするときは、チャンネル表示の数字で予約します。
・他にも変更したいチャンネルがあるときは、❶～❻をくり返します。

・チャンネル表示の変更をまちがえたときは、74ページのオートチャンネル設定をやり直してください。
ただし、チャンネル表示の変更や微調整したチャンネルも前の状態に戻りますので注意してください。

受信チャンネル設定(つづき)

チャンネルの微調整をする

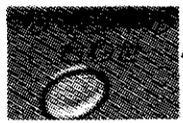
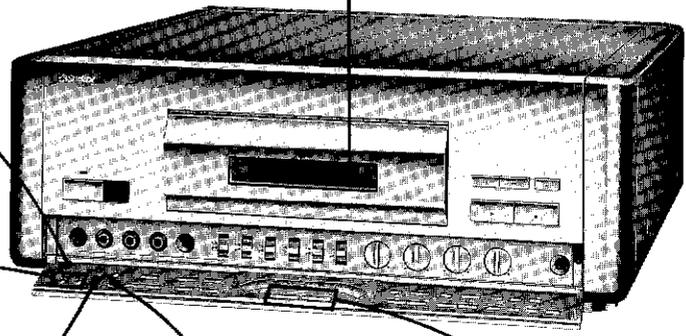
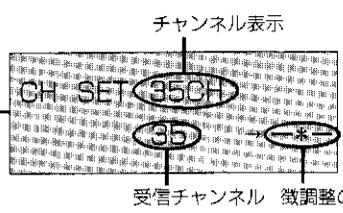
受信したチャンネルが白黒画面のときや、しま模様の画面になっているときは微調整が必要です。

チャンネル表示

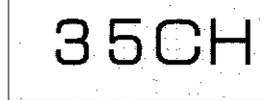
CH SET 35CH

35 → ―*―

受信チャンネル　微調整の方向

❷❻ ❹ ❸ ❺ ❶

チャンネル

テレビ画面　本体表示窓

❶ チャンネルボタンで、微調整したいチャンネルに合わせる

35CH

35CH

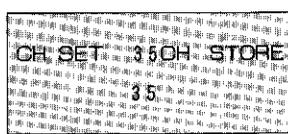
❷ チャンネル合わせボタンを押す

・チャンネル合わせ画面を表示します。

チャンネル合わせ

チャンネル表示　35CH　記憶
受信チャンネル　35

◆オートチャンネル合わせ　(オートチャンネル)
◆チャンネルを選ぶ　(－／＋)
◆選局をとばす　(スキップ)
*チャンネル表示変更へ　(送り)
*終了　(チャンネル合わせ)

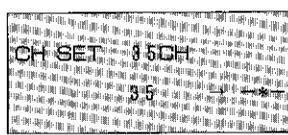
CH SET　35CH　STORE
35

❸ 送りボタンを3回押す

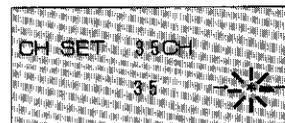
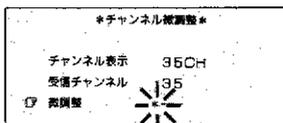
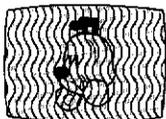
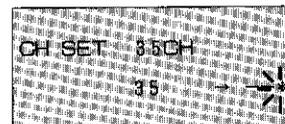
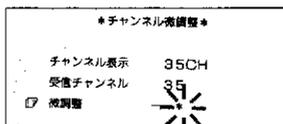
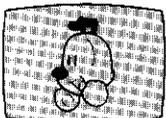
・チャンネル微調整画面を表示します。

チャンネル微調整

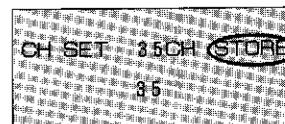
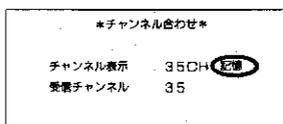
チャンネル表示　35CH
受信チャンネル　35
☞ 微調整　―*―

◆微調整する　(－／＋)
◆変えた内容を記憶する　(記憶)
*終了　(チャンネル合わせ)

CH SET　35CH
35　→　―*―

合わせボタンで、微調整する

●しま模様の画面のときは、
合わせ(−)ボタンを押します。

●白黒画面のときは、**合わせ(+)ボタン**を押します。

・調整前の状態に戻したいときは、**合わせ(−)と(+)ボタン**を同時に押します。

記憶ボタンを押す

・記憶を表示します。
・本体表示窓では、STOREを表示します。

チャンネル合わせボタンで、表示を戻す

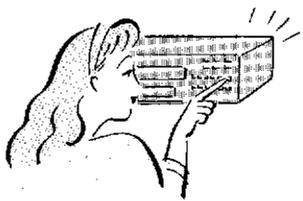
・他にも微調整したいチャンネルがあるときは、❶〜❻をくり返します。

リモコンのチャンネル設定

ビデオ・プラス　Gコードを使ってタイマー予約する前の準備

Step❶ あなたのお住いの地区で受信できる録画チャンネルをチャンネルボタンで調べて、Step❹の表に記入する

・本体のオートチャンネル設定をまだしていない方は 74 ページをご覧ください。

オートチャンネル
ボタンで、受信できる
チャンネルを一発選局ネ!
オートだから、
簡単だわ。

例えば横浜市なら、本体で
受信できるチャンネルは9つだ！

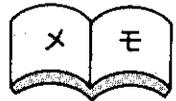
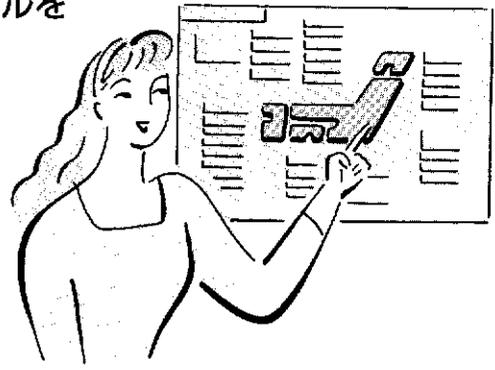
1	3	4	6	8
10	12	16	42	

Step❷ 受信できた放送局名を調べる

・テレビ画面を見て、この番組の放送局名を
番組欄で調べて、Step❹の表に記入します。

放送局名を探さなきゃ。
え～と、1チャンネルはNHK総合で、
次に3チャンネルは…

Step❸ 自分の住んでいる地域のガイドチャンネルを一覧表で調べる(84 ページ参照)

・Step❹の表にガイドチャンネルを記入
します。

・ケーブルテレビなどで衛星放送を受信している
ときは、チャンネル設定が必要です。
・引っ越しした場合は、必要に応じて設定し直し
てください。

・電池交換後、リモコンの時計表示が0:00で点
滅するときは、チャンネル設定をやり直してく
ださい。

Step 4 あなたのお住いの地区に合わせて表を作成しましょう。

Step 1
本体で受信したチャンネルを記入する

Step 2
新聞や雑誌の番組欄を見て放送局名を記入する

Step 3
84ページのガイドチャンネル一覧表を見て記入する

録画チャンネル	放送局名	ガイドチャンネル
	NHK総合	80
	NHK教育	90

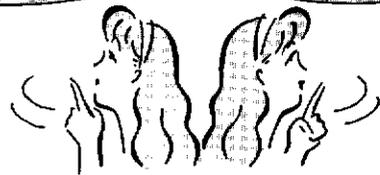
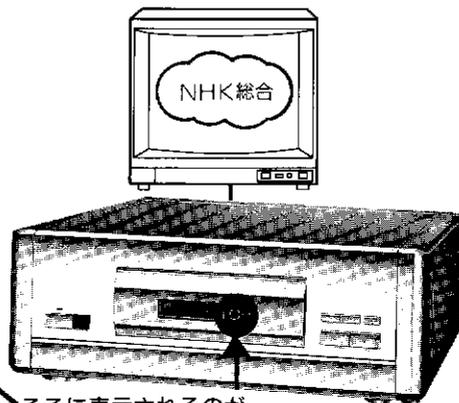
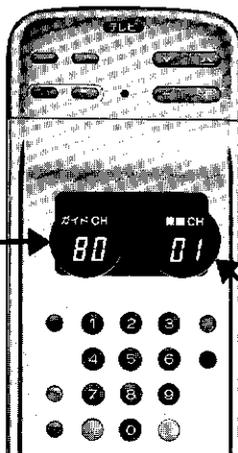
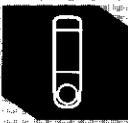
Step 5 上の表より、録画チャンネルとガイドチャンネルを見比べて数字が違っている放送局をリモコンに記憶する（86ページ参照）

・違っているところにレ印を入れます。

例えばこの場合・日本テレビは数字が同じなのでチャンネル設定の必要はありません。

(例)横浜市の場合

	録画チャンネル	放送局名	ガイドチャンネル
レ	1	NHK総合	80
レ	3	NHK教育	90
	4	日本テレビ	4

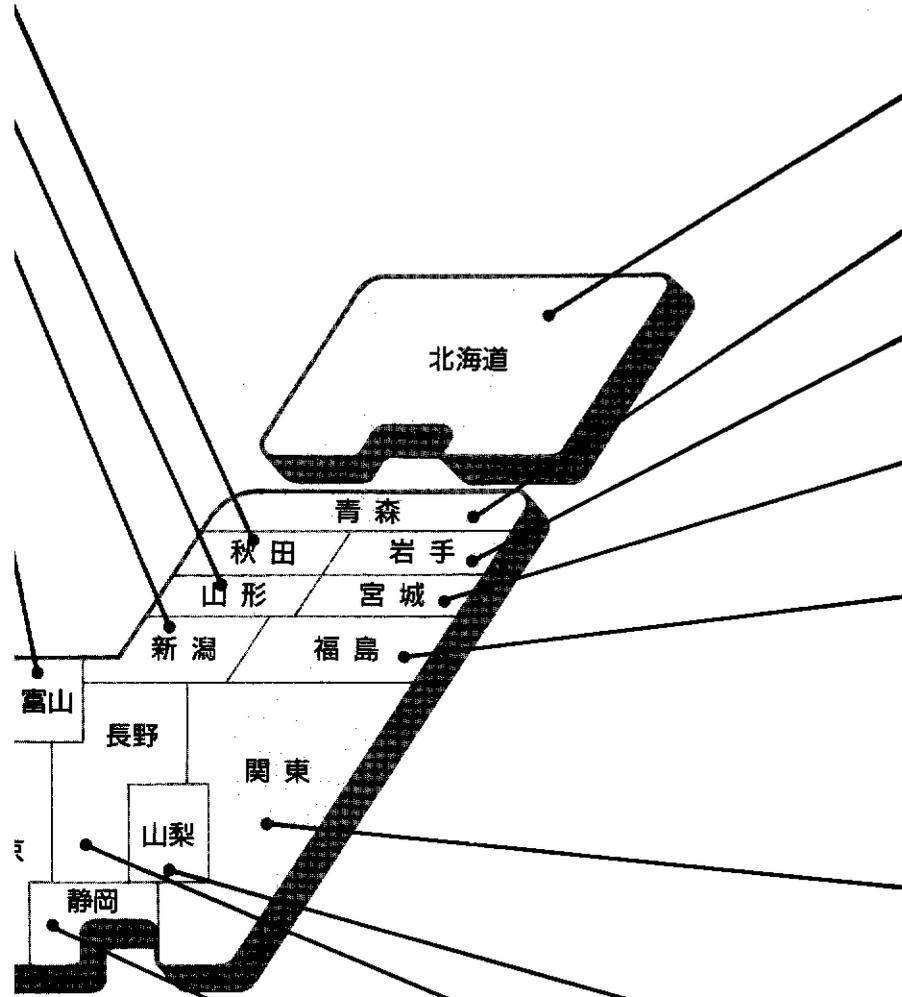
・NHK総合とNHK教育テレビは、どの地域にお住いのかたでもチャンネル設定が必要です。
・衛星放送のチャンネルはすでにメモリーしてありますので、チャンネル設定の必要はありません。

●ガイドチャンネル一覧表

	放送局名	ガイドチャンネル
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5 WOWOW	73
	BS7 NHK衛星第1	74
	BS9	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

	放送局名	ガイドチャンネル
秋田	秋田放送(ABS)	1
	秋田朝日(AAB)	3
	秋田テレビ(AKT)	3
山形	山形放送(YBC)	1
	テレビユー山形(TUY)	3
	山形テレビ(YTS)	3
新潟	新潟放送(BSN)	5
	新潟テレビ21(NT21)	2
	テレビ新潟(TNN)	2
	新潟総合(NST)	3
富山	北日本放送(KNB)	1
	テレビユー富山(チューリップ)	3
	富山テレビ(T34)	3
福井	福井放送(FBC)	1
	福井テレビ(FTB)	3
石川	北陸放送(MRO)	6
	北陸朝日(HAB)	2
	テレビ金沢(KTK)	3
	石川テレビ(ITC)	3
山口	山口放送(KRY)	11
	テレビ山口(TYS)	38
広島	中国放送(RCC)	4
	広島テレビ(HTV)	12
	テレビ新広島(TSS)	31
	広島ホーム(HOME)	35
岡山	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
鳥取・島根	日本海テレビ(NKT)	1
	山陰放送(BSS)	10
	山陰中央(TSK)	34
福岡	九州朝日放送(KBC)	1
	RKB毎日(RKB)	4
	テレビ西日本(TNC)	9
	TXN九州(TVQ)	19
	福岡放送(FBS)	37
長崎	長崎放送(NBC)	5
	長崎国際(NIB)	25
	長崎文化(NCC)	27
	テレビ長崎(KTN)	37
佐賀	サガテレビ(STS)	36
熊本	熊本放送(RKK)	11
	熊本朝日(KAB)	16
	熊本県民(KKT)	22
	テレビ熊本(TKU)	34
大分	大分放送(OBS)	5
	テレビ大分(TOS)	36
宮崎	宮崎放送(MRT)	10
	テレビ宮崎(UMK)	35
鹿児島	南日本放送(MBC)	1
	鹿児島放送(KKB)	32
	鹿児島テレビ(KTS)	38
沖縄	沖縄テレビ(OTV)	8
	琉球放送(RBC)	10

沖縄

	放送局名	ガイドチャンネル
徳島	四国放送(JRT)	1

	放送局名	ガイドチャンネル
香川	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
高知	高知放送(RKC)	8
	テレビ高知(KUTV)	38
愛媛	南海放送(RNB)	10
	伊予テレビ(ITV)	29
	愛媛放送(EBC)	37

北海道		
	北海道放送（HBC）	1
	札幌テレビ（STV）	5
	テレビ北海道（TVH）	17
	北海道文化（UHB）	27
	北海道テレビ（HTB）	35

青森		
	青森放送（RAB）	1
	青森朝日（ABA）	34
	青森テレビ（ATV）	38

岩手		
	岩手放送（IBC）	6
	めんこい（MIT）	33
	テレビ岩手（TVI）	35

宮城		
	東北放送（TBC）	1
	仙台放送（OX）	12
	東日本放送（KHB）	32
	宮城テレビ（MMT）	34

福島		
	福島テレビ（FTV）	11
	テレビユー福島（TUF）	31
	福島中央（FCT）	33
	福島放送（KFB）	35

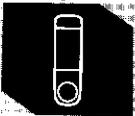
関東		
	日本テレビ（NTV）	4
	東京放送（TBS）	6
	フジテレビ（CX）	8
	テレビ朝日（ANB）	10
	テレビ東京（TX）	12
	放送大学	16
	テレビ埼玉（TVS）	38
	テレビ神奈川（TVK）	42
	千葉テレビ（CTC）	46
	群馬テレビ（GTV）	48

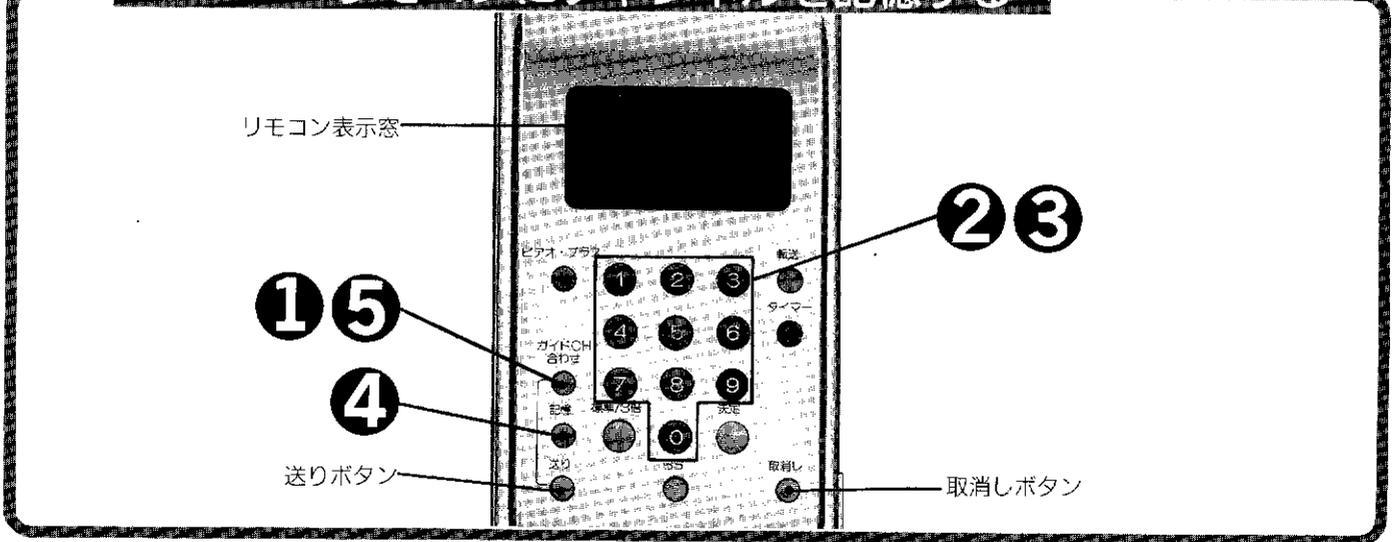
山梨		
	山梨放送（YBS）	5
	テレビ山梨（UTY）	37

長野		
	信越放送（SBC）	11
	長野朝日（ABN）	20
	テレビ信州（TSB）	30
	長野放送（NBS）	38

静岡		
	静岡放送（SBS）	11
	静岡第一（SDT）	31
	静岡県民（SKT）	33
	テレビ静岡（SUT）	35

中京		
	東海テレビ（THK）	1
	中部日本放送（CBC）	5
	名古屋テレビ（NBN）	11
	テレビ愛知（TVA）	25
	三重テレビ（MTV）	33
	中京テレビ（CTV）	35
	岐阜放送（GBS）	37

関西		
	毎日放送（MBS）	4
	朝日放送（ABC）	6
	関西テレビ（KTV）	8
	読売テレビ（YTV）	10
	テレビ大阪（TVO）	19
	テレビ和歌山（WTV）	30
	びわ湖放送（BBC）	30
	近畿放送(京都テレビ)(KBS)	34
	サンテレビ（SUN）	36
	奈良テレビ（TVN）	55

ビデオ・プラス

リモコンにチャンネルを記憶する

(例)NHK総合テレビのチャンネルを記憶する場合(横浜市)

準備
- リモコンの時刻合わせをします。(右ページ参照)
- 82～83ページのStep❶～❹を行い、表を作成します。

❶ ガイドCH合わせボタンを押す

リモコン表示窓

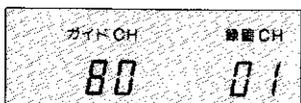
❷ 数字ボタンで、ガイドCHを入力する

・1ケタの場合は0を先に押します。

❸ 数字ボタンで、録画CHを入力する

・1ケタの場合は0を先に押します。

❹ 記憶ボタンを押す

- 他にも記憶したいチャンネルがあるときは、❷～❹をくり返します。
- すべてのチャンネルを記憶後、送りボタンを押して記憶したチャンネルを確認してください。

❺ ガイドCH合わせボタンで、時計表示に戻す

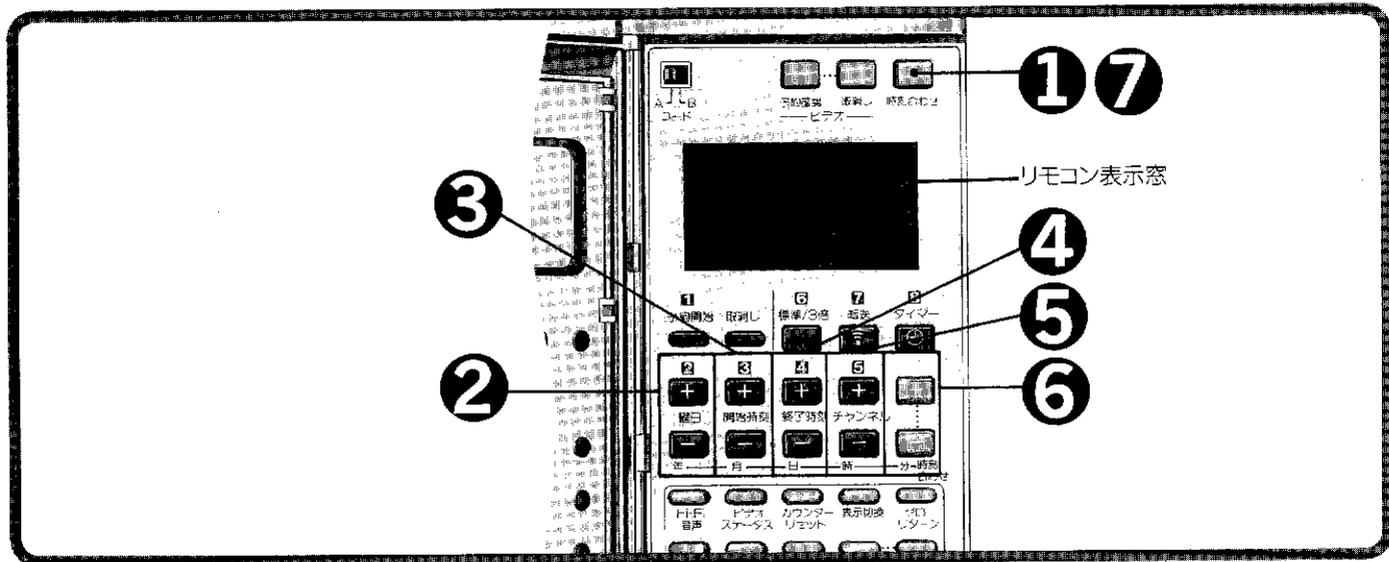
(設定完了)

■記憶したチャンネルの取消しをする

①ガイドCH合わせボタンを押します。
②送りボタンを押し、取消したいガイドCHを表示させます。
　・送りボタンを押すごとに次のガイドCHを表示します。
③取消しボタンを押します。
④ガイドCH合わせボタンで時計表示に戻します。(設定完了)

■記憶した録画チャンネルの変更をする

①ガイドCH合わせボタンを押します。
②送りボタンを押し、変更したい録画CHを表示させます。
③数字ボタンで新しい録画CHを入力します。
④記憶ボタンを押します。
⑤ガイドCH合わせボタンで時計表示に戻します。(設定完了)

時刻合わせ(リモコン)

(例)1993年12月24日 午後3時35分(15:35)に合わせる

時刻合わせボタンを押す

リモコン表示窓

0:00 月日 1.0 1 水
1992 年

曜日ボタンで年を合わせる

0:00 月日 1.0 1 金
1993 年

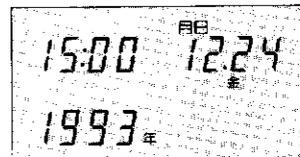
開始時刻ボタンで月を合わせる

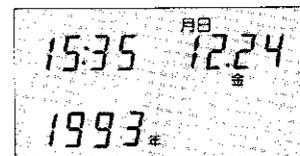
0:00 月日 12.0 1 水
1993 年

終了時刻ボタンで日を合わせる

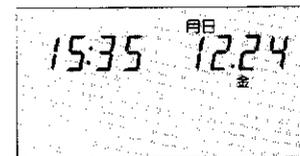
0:00 月日 12.24 金
1993 年

チャンネルボタンで時を合わせる

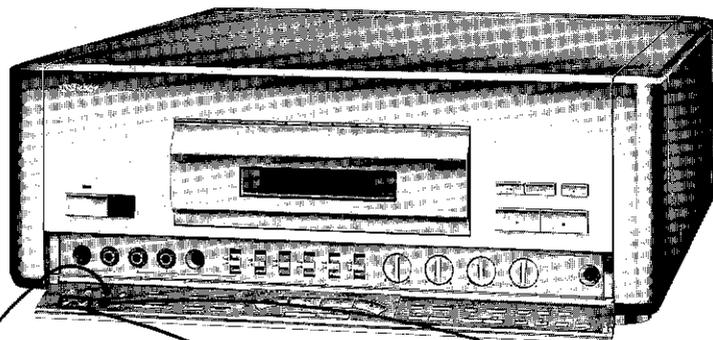
15:00 月日 12.24 金
1993 年

時刻合わせの分ボタンで分を合わせる

15:35 月日 12.24 金
1993 年

時刻合わせボタンを押す

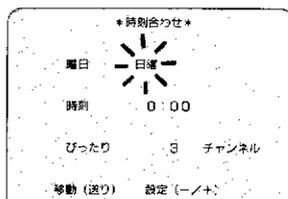
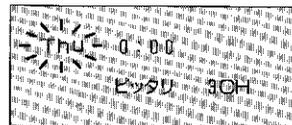
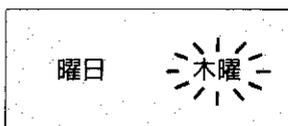
・年表示が消え時計が動き始めます。

15:35 月日 12.24 金

・時刻を正確に合わせたいときは、❼の操作で時報(☎117)に合わせて時刻合わせボタンを押してください。

タイマー録画を正しく行うために、時刻を正確に合わせましょう。

❶❾　❷❹❻❽　❸❺❼

(例)木曜日 午後3時35分(15:35)、ぴったりクロックのチャンネル12(関西地区)に合わせるとき

準備　テレビの準備
❶電源を入れます。
❷入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

❶ 時刻合わせボタンで時刻合わせ画面を表示する

❷ 合わせボタンで曜日を合わせる

・ぴったりクロックとは
自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。
NHK教育テレビの時報で1日3回(7、12、19時)時計を修正します。ただし、ビデオ使用中は動作しません。
時報合わせ中は、本体表示窓にぴったりチャンネルを表示します。
※NHK教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認のうえチャンネルを設定してください。

❸ 送りボタンを押す

時刻　0:00

❹ 合わせボタンで時を合わせる

時刻　15:00

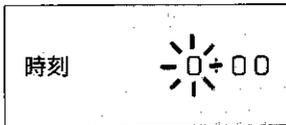
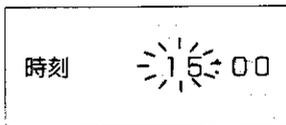
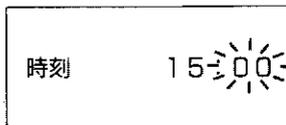
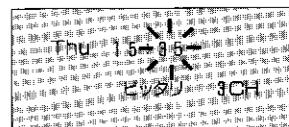
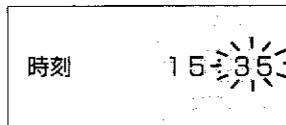
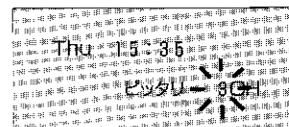
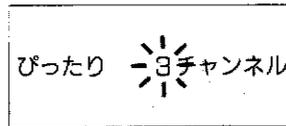
❺ 送りボタンを押す

時刻　15:00

❻ 合わせボタンで分を合わせる

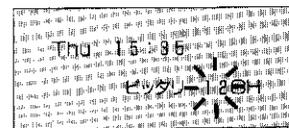
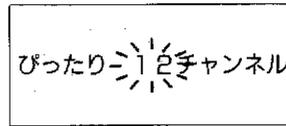
時刻　15:35

❼ 送りボタンを押す

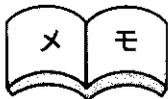
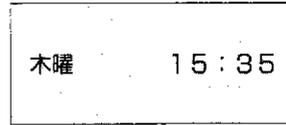
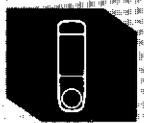
ぴったり　3チャンネル

❽ 合わせボタンでぴったりクロックのチャンネルを設定する

・NHK教育テレビのチャンネルに合わせます。

NHK教育テレビが3チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

ぴったり　12チャンネル

❾ 時刻合わせボタンを押す

・時計が動き始めます。
・正確に合わせたいときは、時報(☎117)に合わせて**時刻合わせボタン**を押してください。

木曜　15:35

・途中で修正するときは**送りボタン**で点滅部分を移動させ、**合わせボタン**で修正します。
・現在時刻とのずれが±３分以上あるときは、ぴったりクロックは働きません。
・音楽入りの時報では機能しないことがあります。
・30分以上の停電があると、本体表示窓が０：００で点滅します。
再度、時刻合わせをしてください。

モード選択画面を表示して設定する

テレビ画面にでる表示項目を見ながら、操作に必要な設定を行います。

(例)S-VHS記録を切にする

準備 **テレビの準備**

❶電源を入れます。
❷入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。

テレビ画面

❶ モード選択ボタンを押す

・モード選択画面を表示します。

＊モード選択＊		
☞ 3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	入	切
ロジカルHIFI NR	入	切
S-VHS記録	オート	切
二ケ国語音声録音	主	主＊副
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切

❷ モード選択ボタンで変更する項目を選ぶ

・モード選択ボタンを押すごとに下の項目へ進みます。

＊モード選択＊		
3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	入	切
ロジカルHIFI NR	入	切
☞ S-VHS記録	オート	切
二ケ国語音声録音	主	主＊副
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切

❸ モード設定ボタンで選ぶ

＊モード選択＊		
3D Y/C SEP	標準設定	
ビデオ ステータス設定		
TBC	入	切
ロジカルHIFI NR	入	切
☞ S-VHS記録	オート	切
二ケ国語音声録音	主	主＊副
オンスクリーン	オート	切
ブルーバック	入	切

■モード選択画面を消すには、**表示切換ボタン**を押します。

モード選択ボタンで選ぶ	モード設定ボタンで選ぶ	各項目の内容
❶3D Y/C SEP	標準設定	通常は標準設定にします。
	動画設定	滝から流れ落ちる水など動きの激しい映像を録画するときに適しています。
	高SN設定	雨天時のBS受信などノイズの多い映像を録画するときに適しています。
❷ビデオステータス設定	設定1／設定2	お好みの画質に調整できます。（42ページ参照）
❸TBC	入	画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生します。通常は入にします。
	切	電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、ノイズが多いテープの場合は**切**にします。
❹ロジカルHIFI NR	入	レンタルビデオや他のビデオで録画したテープを再生したときに出るHi-Fi音声のノイズを解消します。通常は入にします。
	切	本機で録画したテープしか再生しないときは**切**にします。
❺S-VHS記録	オート	S-VHSカセットのときはS-VHS記録、VHSカセットのときはVHS記録します。
	切	S-VHSカセットにVHS記録するときは**切**にします。
❻ニケ国語音声録音	主	ニケ国語放送のときに主音声（日本語など）だけを録音します。
	主＊副	ニケ国語放送のときに主音声と副音声の両方を録音します。 外国語を録音するときは主＊副にします。再生・録画時に、Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。（47ページ参照）
❼オンスクリーン	オート	テレビ画面に文字を表示します。
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように**切**にします。
❽ブルーバック	入	放送のないチャンネルを青い画面にします。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは**切**にします。

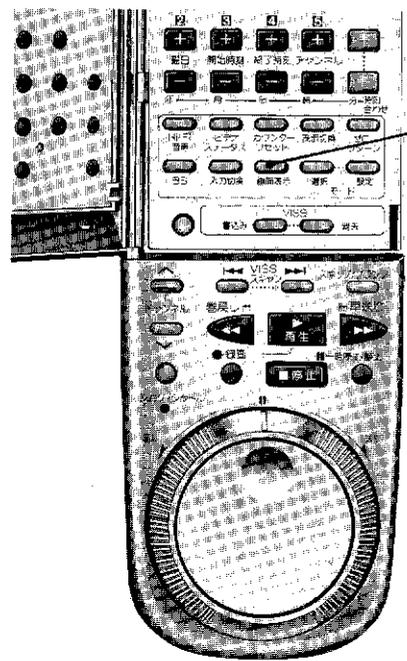
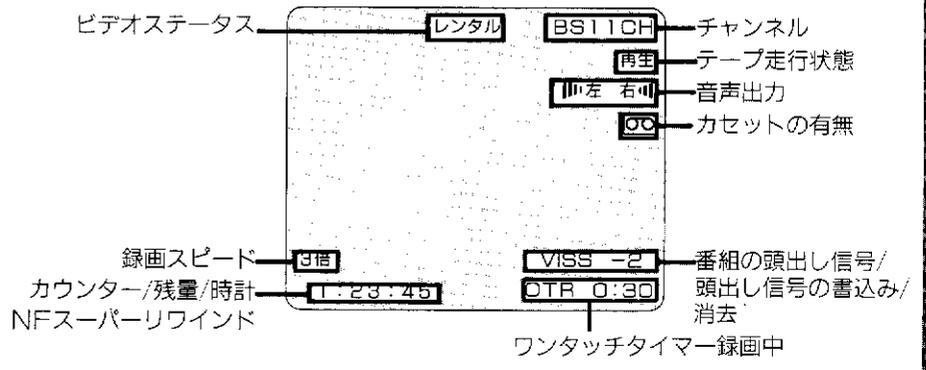
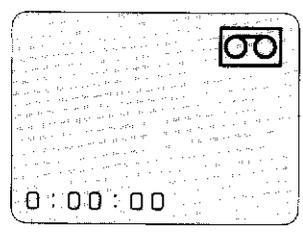
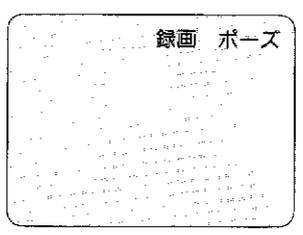
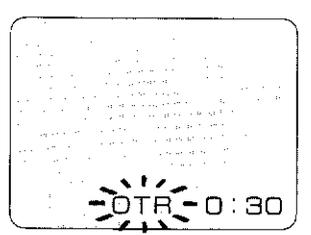
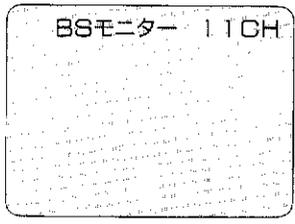
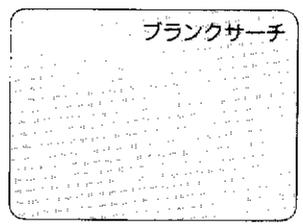
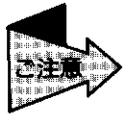
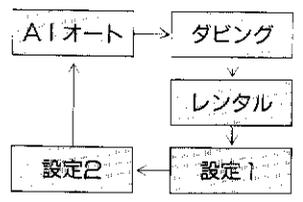
- 30分以上の停電があり、本体表示窓が0：00で点滅しているときは、ご購入時の設定に戻りますので、再度設定し直してください。
- 可変速再生中にモード選択画面は表示できません。

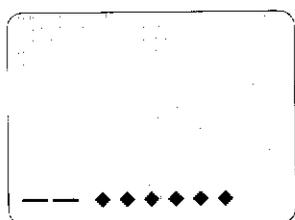
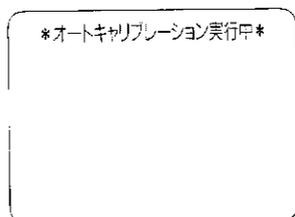
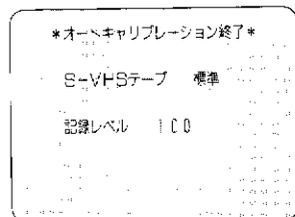
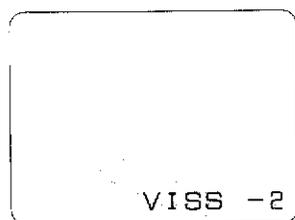
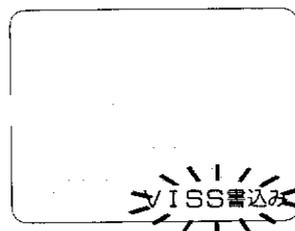
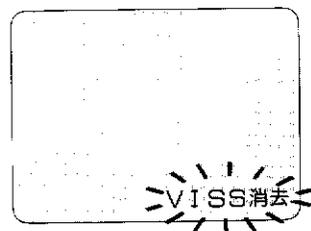
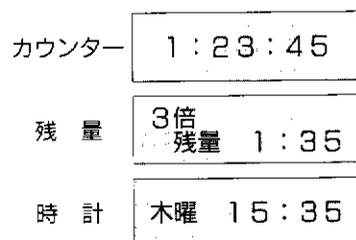
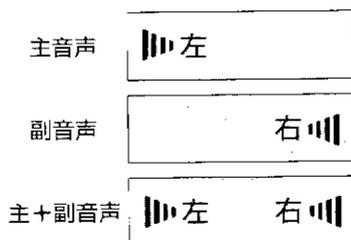
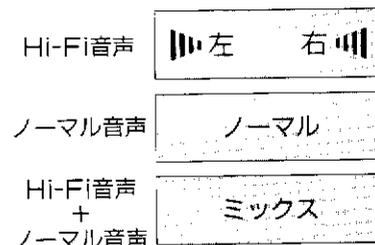
画面表示(つづき)

画面表示で動作を確認する

画面表示ボタンを押すと、現在の操作状況をテレビ画面に５秒間表示します。
表示しないときは、モード選択画面(90ページ参照)のオンスクリーンをオートにしてください。

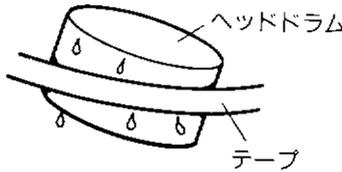
画面表示ボタン

ビデオステータス　レンタル
BS11CH　チャンネル
再生　テープ走行状態
左　右　音声出力
カセットの有無
3倍　録画スピード
1:23:45　カウンター/残量/時計　NFスーパーリワインド
VISS -2　番組の頭出し信号/頭出し信号の書込み/消去
OTR 0:30　ワンタッチタイマー録画中

●カセットを入れると、カウンターが0：00：00になります。

●録画を一時停止にすると

●ワンタッチタイマー録画中は

●ウラ番組としてBS番組を見るときに、**BSオレンジボタン**を押すと

●録画していない部分をさがすときに、**ブランクサーチボタン**を押すと

●**ビデオステータスボタン**を押すごとに

・BSモニター中は、**画面表示ボタン**を押しても他の表示内容はでません。

●NFスーパーリワインド中は

●A I オートキャリブレーション実行中は

●A I オートキャリブレーション終了後は

●**VISSスキャンボタン**を押すと

●頭出し信号を書き込むと

●頭出し信号を消去すると

●**表示切換ボタン**を押すごとに

●**Hi-Fi音声切換ボタン**で聞きたい音声を選ぶと

●**音声出力切換ボタン**で聞きたい音声を選ぶと

使用上のご注意

つゆつきにご注意

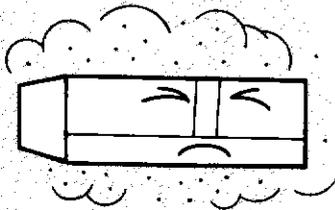
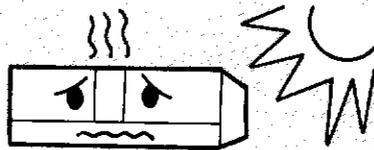
「つゆつき」とは
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

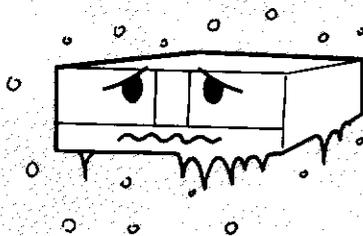
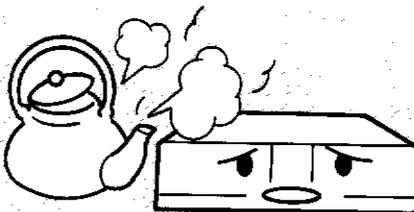
「つゆつき」がおきると
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴がつくとテープが貼りついて、テープやビデオをいためてしまいます。

こんなときは「つゆつき」にご注意
- 寒いところから暖かい部屋に移動したとき。
- 急に部屋を暖房したとき。
- エアコンなどの冷風が直接あたるところ。
- 湿気の多いところ。

「つゆつき」をおこしそうなときは
あらかじめビデオの電源を入れておくと、「つゆつき」がおきにくくなります。

「つゆつき」がおきてしまったら
ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

故障の原因となりますので、こんなところでは使用しないでください

湿気やほこりの多いところ

直射日光が当るところ ストーブの近くなど暑いところ

磁気の発生するところ 振動のあるところ

極端に寒いところ

湯気や油煙の当るところ

じゅうたんなどのやわらかいところ でこぼこしたところ

ビデオの上にものをのせない
ビデオの上にものをのせたり、近くに水の入った容器などを置かないでください。

雷にご注意
雷が近いときは早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、アンテナ線には絶対触れないようにしてください。

通風孔をふさがないで
ビデオにテーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置かないでください。

キャビネットをあけないで
キャビネットは絶対にはずさないでください。
内部に手を触れると感電の危険があります。

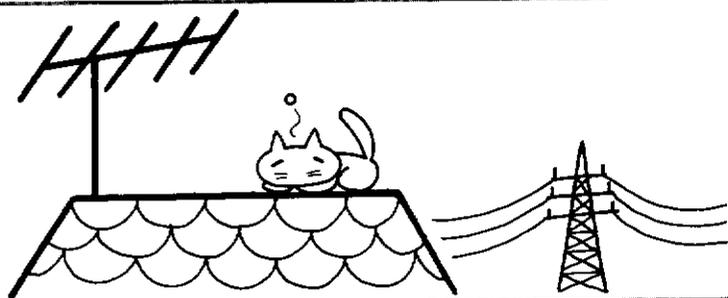
ビデオに手やものをいれない
カセット挿入口や通風孔に手やものを入れないでください。
万一異物が入ったときは電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。けがをする場合があります。

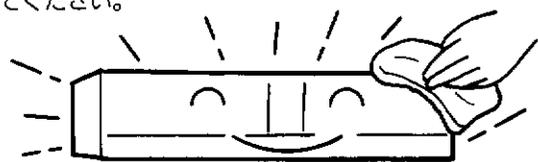
長時間使用しないときは
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグは、停止状態にしてカセットを取り出してから抜いてください。

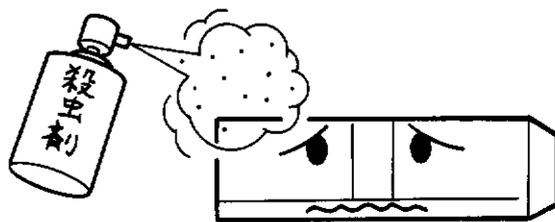
電源コードを大切に
電源プラグをコンセントから抜くとき、コードをひっぱらずにプラグを持って抜いてください。
電源コードの上に重いものなど乗せないでください。

持ち運ぶときは
持ち運びや運送時に、衝撃を与えないでください。
カセットを取り出し、製品の入っていた段ボールで梱包してください。

アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してたててください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検、交換することをおすすめします。
- アンテナ線には良好な画像を得るため、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルのよごれは、柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げしてください。ご使用の際は、その注意書に従ってください。

シンナー、ベンジンなど使用しないでください。
キャビネットがいたんだり、塗料がはがれたりすることがあります。

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

ゴムやビニール製品などに長時間接触させないでください。

ビデオカセットについて

- ビデオカセットはS VHS、VHSタイプをお使いください。
- 録画済テープに新しく録画するときは、前に録画されたものは自動的に消されます。
- カセットはうらがえしでは使えません。
- テープを走行させないで、カセットを何度も出し入れしないでください。
- テープ使用後は、始めまで巻戻しておいてください。

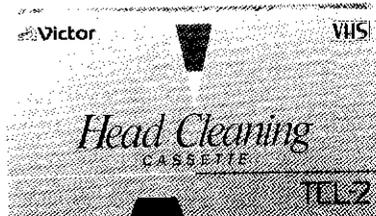
カセットの保管は

- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところはさけてください。
- 直射日光が当るところやストーブの近くはさけてください。
- 磁気の発生するところはさけてください。
- 落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。
- むらのある巻き取り状態はテープをいためます。きれいに巻きなおしてください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。

このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。

This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ビデオヘッドのクリーニング

テレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生するとザラザラした画面になることがあります。これは長い間ご使用しているうちに、ビデオヘッドが汚れて録画、再生能力が低下したためです。
別売のヘッドクリーニングテープTCL-2をご使用になり、ヘッドを清掃してください。

ヘッドクリーニングテープ

保証とアフターサービス

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い

この商品には保証書を別途添付しています。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービスについて

保証期間経過後の修理

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは

98～99ページをよくお読みの上、故障かどうかお調べください。

ビデオが異常なときは

ビデオから異常な音や煙が出るとき、また画像が映らなくなったときなどは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオテープレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめします。

仕様/付属品

仕様

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- ●電源……………………AC100V 50/60Hz
- ●消費電力………………59W（BSアンテナ電源使用時 64W／電源「切」時 9W）
- ●電源出力………………AC100V 50/60Hz 連動/非連動
BSデコーダ用電源コンセント
最大300W以下
- ●外形寸法………………445(幅)×170(高さ)×462(奥行き)mm
- ●重量……………………14.5kg
- ●許容動作温度…………+5℃～+40℃
- ●許容相対湿度…………35%～80%
- ●許容保存温度…………−20℃～+60℃

ビデオ(映像)

- ●録画・再生方式………S-VHS方式
回転2ヘッドヘリカルスキャン
輝度信号 FM方式
色信号 低域変換直接記録方式
- ●映像信号………………NTSC日米標準信号

Hi-Fiオーディオ(音声)

- ●録音方式………………VHSステレオハイファイ方式
- ●周波数特性……………20Hz～20kHz
- ●ダイナミックレンジ…90dB以上
- ●ワウ・フラッター……0.005%以下
- ●チャンネルセパレーション……60dB以上

ノーマルオーディオ(音声)

- ●録音方式………………リニアトラック
- ●音声トラック…………1チャンネル(モノラル)

チューナー(テレビ受信)

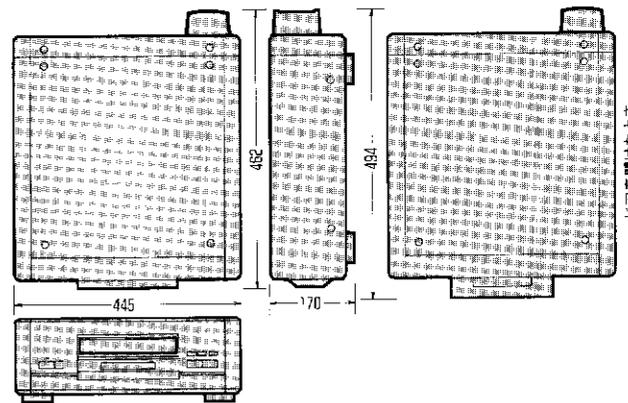
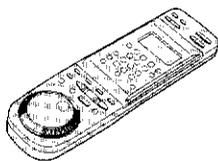
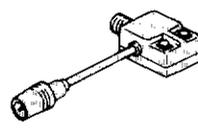
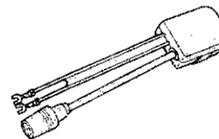
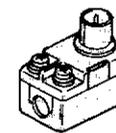
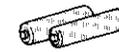
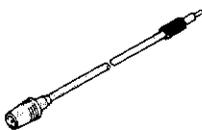
■VHF/UHFチューナー部
- ●受信方式………………周波数シンセサイザー方式
- ●音声多重受信方式……インターキャリア方式
- ●受信チャンネル………VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル

■BSチューナー部
- ●受信方式………………周波数シンセサイザー方式
- ●受信チャンネル………BS1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル

タイマー(タイマー予約・時計)

- ●タイマー予約…………2週間8番組予約
- ●時計……………………24時間方式
- ●停電補償時間…………約30分

接続端子

- ●アンテナ………………75Ω F型コネクター
VHF/UHF一軸
- ●BSアンテナ……………75Ω F型コネクター
アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
- ●BS-IF出力……………75Ω F型コネクター
- ●S映像…………………入力 Y：0.8～1.2Vp-p 75Ω
C：0.2～0.4Vp-p 75Ω
出力 Y：1.0Vp-p 75Ω
C：0.29Vp-p 75Ω
- ●映像……………………入力 0.5～2.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
出力 1.0Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ●音声……………………入力 −8dBs 50kΩ(ピンジャック)
モノ(左)対応
出力 −8dBs 1kΩ(ピンジャック)
- ●検波入/出力……………0.67Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ●ビットストリーム入/出力……0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ●デジタル音声出力(同軸)……0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ●AFC入力………………0.5Vp-p 75Ω(ピンジャック)
- ●リモートポーズ………ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
- ●電話予約………………3.5φ AVコンピュリンク兼用
- ●ヘッドホン……………3.5φ 8Ω～1kΩ

付属品

リモコン

U/V混合器

U/V分波器

アンテナ変換器

単三乾電池
(×2)

アンテナコード
(1.5m)

Sビデオコード
(1.5m)

ビデオコード
(1.5m)

オーディオコード
(1.5m)

ノイズフィルター

故障かな?と思ったら

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
電源	・電源が入らない	・電源コードがコンセントからはずれていませんか? ・TIMERランプが点灯していませんか?	—
電源	・電源が切れる	・ビデオ内部の温度が上昇し過ぎると、保護回路が働いて自動的にビデオの電源が切れます。ファンの周りをふさがないようにビデオを置いてください。	—
電源	・引っ越し先でも使えるか	・日本国内は大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	・カセットが入らない	・正しい向きで入れてください。	—
カセット	・カセットが出ない	・録画中またはTIMERランプが点灯していませんか?	—
カセット	・コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	・別売のカセットアダプターC-P6をご使用ください。	14
再生	・テレビに再生画がでない	・テレビの入力切換をテレビからビデオにしてください。	23
再生	・画面の一部にノイズが出る	・本体のAT(トラッキングの自動調節)ランプが点灯していますか? ・ATランプ点灯中にノイズが出るときは、トラッキング調節を手動で行います。 ・長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚なくなることがあります。別売のクリーニングテープTCL-2で掃除してください。	44 95
再生	・Hi-Fi音声が出ない	・Hi-Fi音声ボタンまたは音声出力切換ボタンで、テレビ画面に「((•左右•))」を表示させます。 ・Hi-Fiでないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。	47
再生	・日本語と外国語が同時に聞こえる	・Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
再生	・可変速再生中にノイズが出る	・再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。 故障ではありません。	—
放送受信	・希望の番組が映らない	・映したいチャンネルを記憶してください。本体で操作します。 ❶チャンネル合わせボタンを押す。 ❷合わせボタンで、復帰したいチャンネルに合わせる。 ❸記憶ボタンを押す。 ❹チャンネル合わせボタンで、表示を戻す。	77
録画	・録画できない	・カセットのつめが付いていますか?	14
録画	・希望の番組が録画できない	・ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ・ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか?	77
録画	・録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	・Hi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	47
録画	・日本語だけ録音したいのだが	・モード選択画面の二ヶ国語音声録音を主にします。	46
録画	・テレビ番組録画中にBS番組を見たい	・録画中にBSオレンジボタンを押します。チャンネルボタンで見たい番組を選びます。	21

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

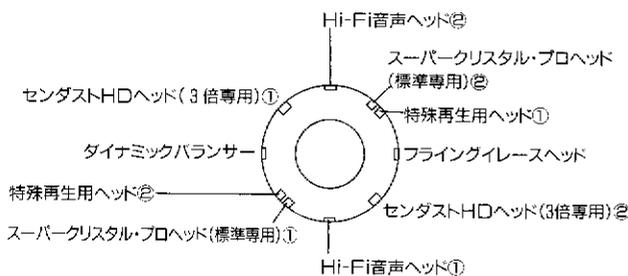
	こんなときは	ここをお調べください	ページ
ビデオ・プラス	・ビデオ・プラスができない	・リモコンの時刻合わせとチャンネル設定はしましたか？	86
	・野球などで番組の延長が予想され、終了時刻を変更したい	❶予約したい番組のGコードを入力します。 ❷決定ボタンを押し、予約内容を表示させます。 ❸リモコンのフタを開け、終了時刻ボタンを押し、終了時刻を変更します。 ❹本体へ転送し、タイマーボタンを押します。	26
	・リモコンのチャンネル設定で、誤って記憶したチャンネルを取り消したい	❶ガイドCH合わせボタンを押します。 ❷送りボタンを押し、取り消したいガイドCH・録画CHを表示させます。 ❸取消しボタンを押します。 ❹ガイドCH合わせボタンを押し、時計表示に戻します。	86
タイマー録画	・タイマー録画ができない	・現在時刻は合っていますか？ ・カセットのつめが付いていますか？ ・TIMERランプは点灯していますか？ ・予約内容を確認してください。 ・停電があったときは正しく動作しません。	26～35
リモコン	・リモコンが働かない	・本体とリモコンのコード（A／B）が合っていますか？ 本体のリモコンコード切換スイッチが切のときは、働きません。 ・電池が消耗していませんか？	13
	・テレビが操作できない	・電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビに合わせてください。	12
	・本体への予約転送ができない	・本体に近づけて転送してください。	―
衛星放送	・BS番組が映らない	・アンテナ電源スイッチが切になっていませんか？ 使用状況により、入にします。 （共同受信している場合は、他から電源が供給されているので切のままです。） ・BSデコーダを接続していますか？ ・スクランブル放送を受信していませんか？	65 68
	・BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される	・不要なBSチャンネルを飛ばしてください。	76
	・BSデコーダを接続しているのにスクランブルが解除されない	・本体背面のビデオ2切換スイッチが**BSデコーダ入力**になっていますか？ ・BSデコーダの電源は入っていますか？	17
	・Aモード音声放送受信中にテレビ音声が出ない	・BS音声スイッチが**テレビ**になっていますか？ ・スクランブル放送中は、BSデコーダの音声選択を**テレビ**にしてください。	17
編集	・ダビングできない	・前面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルをL3にします。 ・背面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルをL1（またはL2）にします。	52 56
	・ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	・モード選択画面のオンスクリーンを**切**にしてください。	90

高品位映像設計(基本信号系)

●高性能ビデオヘッド

高画質の基本はヘッドにあります。HR-20000では、標準モード、3倍モードそれぞれ専用に開発した高性能ヘッドを搭載しています。

スーパークリスタル・プロヘッド(標準モード用)：映像の記録/再生には、2個一対のヘッドが使われますが、従来はサーチなど特殊再生時の画質を保つため、トラック幅の異なるヘッドが使われていました。スーパークリスタル・プロヘッドは、となりあうトラックからの影響を低く抑えたうえで、2個のヘッドに画質上最適とされるトラック幅を持つヘッドをバランス設定。幅の狭かった方のヘッドで17%もトラック幅を広げることができました。これによりヘッド特性もバランスがとれ、高画質を引き出すことができます。

センダストHDヘッド(3倍モード用)：標準モードに比べ、トラック幅が1/3しかない3倍モード。この厳しい条件のもとで高画質な録画/再生を行うには、低域のカラー信号から高域まで、偏りのない特性を持ったヘッドが必要です。センダストHDヘッドは、ギャップ面全体をセンダスト合金の積層構造とすることで、優れた高域特性を確保しながら、カラー信号の録画/再生特性も高めたヘッドです。同時にテープとの接触もよくなり、ノイズを低減することができました。

●低ノイズディスクリートRECアンプ

通常、IC(集積回路)で作られる映像信号のREC(録画)アンプを、厳選した個別部品を用いて作ったアンプです。低ノイズ化が図れ、とくにカラー信号帯域のS/Nが大きく向上しています。

●ハイパーパラレルFETプリアンプ

再生ヘッドから取り出した信号を増幅するプリアンプ。通常は1個のヘッドは1個のプリアンプが受け持ちますが、HR-20000では1個のヘッドに複数のプリアンプを並列に設けて、出力を合成することで相対的にノイズを抑えています。プリアンプの数は標準モード、3倍モード合わせて18個です。加えて、ノイズ電流をシャットアウトしやすいFET(電界効果型トランジスター)で構成。これまで低ノイズ化が難しかった、カラー信号を含む低い周波数帯域でのノイズを大幅に改善しています。

高品位映像設計(信号処理系)

●629デジタルTBC 41

TBC(タイムベースコレクター)というのは走査線1本1本のタイミングと長さを整える回路のことです。テープから読み出される映像信号は、ミクロの目で見るとテープの走行ムラや振動、ヘッドドラムの回転ムラなどによって微妙にタイミングが早くなったり遅くなったりしています。これをジッターと呼び、そのままにしておくと、画面がゆがむ原因になります。デジタルTBCは走査線の映像信号を丸ごとメモリーにいったん記憶します。そして、クオーツの正確なタイミングで読み出してやるものです。テープの走行精度に左右されない、縦ラインのそろった画面が得られます。さらに、新開発の629デジタルTBCは、低い周波数(629kHz)に置き換えて記録されているカラー信号にもTBCをかけます。これにより、高い周波数のジッターに引きずられて発生していた、色相の変化も少なくなり、安定した色再現を実現しています。

●3次元ダイナミックカラープロセッシング

フレームメモリーに蓄えられた直前画面も考慮してカラー信号処理を行う方式です。静止画像にも、動きの激しい画像にも対応し、再生カラーS/Nを改善しています。

●3次元デジタルアダマール

従来のノイズリダクションでは除去できなかった、濃淡が微妙に変わる部分のノイズ(通称ほっぺたノイズ)。ビクターは、高度な数理解析理論「アダマール行列」を用いることでノイズ成分だけを適切に抜き出すことに成功しました。3次元デジタルアダマールは、それをさらに進化させたものです。ノイズの周波数・レベル適応型の信号処理に加え、直前の1画面をそっくり憶え込むフレームメモリーを搭載し現在の画面と比較。画面の動きにまで対応したノイズ除去を実現しました。

●3次元Y/Cセパレーション 91

家庭用VTRでは、輝度信号(Y)とカラー信号(C)を別の周波数帯に分けてテープに記録しています。ところがテレビ番組などの信号は輝度とカラーの両信号が重ね合わされた形になっているので、記録する前に分けてやる必要があります。これを行うのがY/Cセパレーション回路です。ここでの分離がうまくいかないと、再生時、クロスカラーやドット妨害となって現われます。HR-20000では、画面は連続的に動いていくものの、1枚1枚を取り出してみると、少しづつ変化していくことに着目。そこで、Y/C分離を行うにあたって、直前の1画面をメモリーに保存しておき比較。トータルにドット妨害やクロスカラーを少なくし、水平・垂直のみならず、斜め方向の解像度も損なわないY/C分離を実現しています。また、場面の転換点や動きの激しい映像など、メモリーした画面と明らかに似ていない画面では、走査線単位の比較を行う3ラインデジタルロジカルコムY/Cセパレート回路に切替えます。さらに、3次元Y/C分離で最も重要な動き検出ソフト、入出力フィルターなどの新規設計により、ディテール再現力、くっきりとした立体感など、密度の高い高品位映像がお楽しみいただけるようになりました。通常の「標準設定」のほか、動きのクリアさを重視した「動画設定」、S/N改善効果を重視した「高SN設定」と、録画内容に応じてお好みの選択ができます。

●ニューAIナチュラルカラーシステム

カラー信号をデジタル処理することで色濁りの発生を抑えるとともに、新しい処理手順の開発により、いままで難しかった細かい濃淡の再現特性が向上しています。

●Y/Cタイミングアジャスト 45

画面の正しい位置と、ちょっと横にずれた位置に色が付く。気になりますね。これは画像をかたち作る輝度信号(Y)と、色を付けるカラー信号(C)のタイミングがずれた時に起こる現象です。この現象をデジタルで補正するのがY/Cタイミングアジャストです。

●信号系システムにおける基本S/Nの改善

オートチューナーノイズリジェクト:テレビ番組を録画するとき、放送では映像信号が含まれていない高い周波数帯域をカットすることで、その帯域のノイズが低域のカラー信号に与える悪影響を追放。よりクリアな番組録画ができます。

ディスクリートディテールエンハンサー:録画/再生の繰り返しで劣化した映像信号を補正して、メリハリのある輪郭を再現するディテールエンハンサーを、IC(集積回路)を使わず、厳選されたパーツのみで徹底的に特性にこだわって再設計。ディテール改善効果を高めたばかりでなく、低ノイズ化も実現できました。

ダブルカラープロセスシステム:低い周波数に置き換えて記録されたカラー信号を取り出して、輝度信号に乗せ直すのがカラー処理回路。この回路に求められる能力は、通常再生の時と、サーチの時では全く異なります。通常再生ではノイズの発生を極力抑えるため、いわばじっくりと腰を据えて処理することが大切です。対してサーチの時は次々と変化する信号を高速で処理する必要があります。ならば、それぞれの状態に適した回路を専用に設けて、使い分けるのがダブルカラープロセスシステムです。緻密でクリアな通常再生画像と、色乱れの少ない美しいサーチを実現しました。

高音質Hi-Fi設計

●ダイナミックディストーションキャンセラー（録画時）

入力と、それに対する出力が正比例でない関係を非直線といいます。ヘッドは電気を磁気に変えてテープに録画し、反対にテープ上の磁気を電気に戻して画像を再生するわけですが、このヘッドにも非直線性があるのです。これが混変調ノイズを呼び、カラー信号帯域に影響を与えていました。ダイナミックディストーションキャンセラーは混変調ひずみの発生を抑えるものです。高画質を維持するとともに、Hi-Fiオーディオの特性も改善しています。

●ロジカルHi-Fi NR（再生時）49

別のビデオデッキで録音したハイファイテープを再生する時に発生しやすい低い周波数のノイズを、マイコン制御の適応動作フィルターによりカット。市販のソフトやレンタルビデオの音声をクリアに再生します。

●FMAフラットフェーズシステム

ハイファイ音声録音時や再生時に、ヘッド共振回路および再生用バンドパスフィルターの群遅延特性の見直しなど、システムトータルでFM音声系統のフラットフェーズ化（位相差の平坦化）を行い、中・高域ひずみを減少させました。

●ハイパーグランディングバス

オーディオの各回路でのグランド（アース）電位差をなくし、渦巻電流ひずみを追放するため、グランド部に3枚の銅板を設置し、グランドの低インピーダンス化を図っています。

●音声専用電源＋音声独立基板

比較的変動の大きいメカニズム部の電源などと、音声系統の電源部を明確に分離することにより、電源電圧が安定し、他回路ノイズに左右されない、高音質な録音/再生が行えます。

●ハイパータンジェント方式

VHSハイファイでは、音声も回転ヘッドによって記録されているため、再生時にはAヘッド→Bヘッド→Aヘッドと、2つのヘッドを交互に切り換えながら信号をピックアップすることになります。この、ヘッドの切り換え部分で発生するのがスイッチングノイズです。
ハイパータンジェント方式は、2つのヘッドから得られた波形と波形のつながりを予測して間を埋めるとともに、その結果を調べ、誤差があったら直ちに補正する2段構えのスイッチングノイズ対策です。これにより、よりクリアなハイファイ音声が楽しめるようになりました。

メカニズム

●スーパーソリッドDDメカニズム

高性能、高応答性を追求して開発されたスーパーソリッドメカニズムをさらに進化させ、プレステージ機としてふさわしいテープ走行メカニズムを開発しました。

低ジッター：モーターの動力を、ギアを介してリール駆動を行う方式では、ギアかみ合わせの細かな振動が、リールやキャプスタンを通じてテープに伝わり、ジッター（時間軸のゆらぎ）となって悪影響を与えていました。スーパーソリッドメカニズムでは、供給/巻取りの両リールをダイレクトドライブモーターで駆動することにより、ギアを追放。振動源をなくすことでジッターを低減しています。

低騒音：ダイレクトドライブのメリットは、早送りや巻戻しの際にも顕著に表れます。通常、回転が早くなるにつれ耳に付くギア鳴きがありませんので、サーチ時にも騒音が気になりません。

定テープテンション：テープとヘッドの接触をよくするために、テープにはテンション（張り）がかけられています。従来は供給側リールにベルトを巻き付けて、いわばブレーキをかけることでテンションをかけていました。この方式はテープの巻き始めと終わりで、テンション量が大きく違っていたのが実情です。スーパーソリッドDDメカニズムは、両リールモーターの駆動力を電気的にコントロールすることでほぼ一定のテンション量を、テープの位置にかかわらずかけることができます。

●ダイナミックデジタルサーチ 24

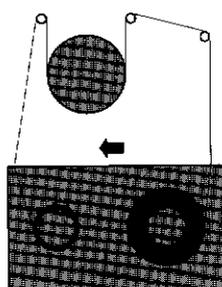
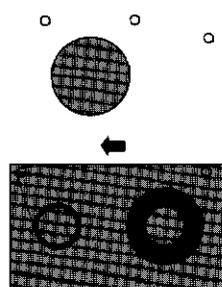
メカニズムの改良や、画像処理のデジタル化で可能になった高速・高画質での自由なサーチの総称です。

ハイパーストロボサーチ：とりあえずテープの内容を確かめてみたい。そんな時に便利なサーチです。標準モードのテープなら33倍速で、1時間の内容を2分弱、3倍モードでは100倍速で同じく40秒足らずでチェックできます。

スキューレスファインサーチ：再生中にちょっと早送りしたい、あるいは巻き戻してもう一度見たい、こんな時に活躍するシャトルサーチ。スキューレスファインサーチはシャトルサーチの画質を改善したものです。

ハイスピードオープンサーチ：早送りや巻戻しをしながら見たいところを探すのに便利なサーチです。早送り中なら早送りボタンを、巻戻し中なら巻戻しボタンを押すことで、標準モード33倍速、3倍モード100倍速の高速度でテープの進み具合いを知ることができます。

●NFスーパーリワインド 39

巻戻して、電源を切る（巻戻しボタンに続けてPOWERボタンを押す）、あるいはテープを取り出す（巻戻しボタンに続けてOPEN/CLOSEボタンを押す）などのネクストファンクション操作を行うと、巻戻す量を調べ、多いとテープをカセット内に戻して、超高速で巻戻します。120分テープを1分足らずで戻せます。

制振・静音技術

●二重構造制振トップパネル

通常のビデオデッキで用いられる鋼板のトップパネル(天板)の上に、厚いアルミ板を乗せた二重構造とし、放熱用のスリット(穴)もなくすことで、音もれを低減。同時にセットの質量も増加したことで外部振動に強くなりました。

●高比重BMCサイドパネル

比重が通常の樹脂に比べて高く、かつ音を吸収する能力の大きいBMC高分子樹脂をサイドパネルに採用。制振・静音性の向上に役だっています。

●高比重BMCハニカム構造シャーシ

底面全体と側板にハニカム(蜂の巣)状のリブ(凹凸)をいれたシャーシを採用しました。素材にはBMCを使用。高剛性化と高質量化、高減衰特性を同時に達成することができました。

●制振鋼板ボトムプレート

高分子樹脂を接着剤として、厚さの異なる鋼板を張り合わせたのが制振鋼板。それぞれの鋼板固有の振動数の違いが振動を打ち消し合います。この制振鋼板をボトムプレート(底板)に採用。音圧などによる底板の鳴りを防いでいます。

●トリプルサスペンション構造大型インシュレーター

3種類の異なる振動吸収構造が、脚から伝わる外部振動をシャットアウト。これまでにない高い制振力を持つインシュレーターを採用しています。

●エアタイトドア

静かなシーンになると気になるテープ走行音。HR-20000ではカセットローディング部のドアに、ビデオ内部での音を遮断し、静音性を高めるために、ダブルアクションのエアタイトドアを開発し、採用しました。

●温度コントロール大口径ベンチレーター

静音設計を徹底し、密閉性を高めた構造で、効率的な放熱を行うのが大口径ベンチレーター(ファン)です。内部の温度上昇を検知すると大型のファンが低速回転。十分な排気量を確保した上、自身が発する音も低く抑えています。

高機能

●ビデオステータス 42

映像ソースに応じてビデオの動作設定を簡単に呼び出せる機能です。HR-20000は録画/再生の際、様々なデジタル信号処理を行っていますが、デジタル信号処理の特長は、その処理状態をメモリーしておくことが簡単で、しかも正確に再現できること。AIオート、ダビング、レンタルの3ポジションに加えて、お使いになる方が自由に設定できる2つのユーザーメモリーも装備しています。ユーザーメモリーで設定できるのは、Y-DSP、C-DSP、CNRの3設定があります。

Y-DSP(Y-デジタル・シグナル・プロセッシング)では、以下3項目で設定が可能です。
●3次元デジタルアダマール
●ベクトル追尾シグナルシェイパー(デジタル特有の残像を取り除く)
●動き適応3次元デジタルY/Cセパレーション

C-DSP(C-デジタル・シグナル・プロセッシング)では、以下4項目で設定が可能です。
●デジタルピュアカラー
●ニューAIナチュラルカラーシステム
●3次元ダイナミックカラープロセッシング
●デジタルPMノイズキャンセラー(TBCに付随して濁ったざらつきを取り除く)

CNR(カラーノイズリダクション)回路のオート/切の設定が可能です。
CNR回路は、3倍モードでVHS記録したテープなど、比較的カラーS/Nが悪いテープの画質を改善する回路です。

●AIオートキャリブレーション 50

録画に使うテープ1本ごとに特性を調べて、そのテープの能力がもっとも発揮されるように記録レベルを設定するキャリブレーション。HR-20000ではその動作をオートで行うとともに、従来1分間程度かかっていたのを、精度を落とすことなく10秒程度に短縮。すばやく録画に移れます。

●BSファインモニター 16 21

BS放送を見ながら、その番組を録画する時、録画用にはメインのY/C分離回路である3次元デジタルY/Cセパレーションを使用。BSモニター用にはサブシステムとして用意されている3ラインのデジタルロジカルY/C分離回路が働き、ドット妨害やクロスカラーの少ない画面が楽しめます。

●BSクリア機能

雨や雪の影響で増えたBS画面のノイズを改善する機能です。一般的にノイズを少なくしようとすると発生しやすい画面のボケを、デジタルで処理することにより少なく抑え、総合的な画質改善を図っています。

用語解説

□内の数字が参照ページです。

ア

■オンスクリーン 90～93

録画・再生などの動作状態や、時計・カウンターなどをテレビ画面に表示します。
また、タイマー予約の確認や、時刻合わせ、チャンネル合わせなどの設定も、テレビ画面を見ながら操作できます。

■オートトラッキング 44

再生時に出るノイズを、自動的に消します。自動調整でノイズが出るときは、手動で調節してください。

カ

■ガイドチャンネル 82～86

Gコードでタイマー録画するために、地域ごとの各放送局に割り当てられた番号です。
Gコードを使ってタイマー録画するためには、ガイドチャンネルの設定が必要です。84ページのガイドチャンネル一覧表をご覧ください。

■外部入力 52 56

本機を録画側にしてダビングする場合、接続した端子に合わせて、入力切換ボタンを押してランプを点灯させます。
外部入力表示が、本体表示窓、リモコン表示窓、テレビ画面上で、下表のように異なります。

	表示内容		
本体表示窓	L1	L2	L3
リモコン表示窓	L		
テレビ画面	ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3
予約確認リスト画面	入力1	入力2	入力3

サ

■スクランブル放送 17 18

テレビの映像、音声などの信号を暗号化(スクランブル)して送信する放送です。この放送を受信するためには、放送局と受信契約を結び、BSデコーダが必要です。

タ

■トラッキング調節 44

再生画面にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞっていないためです。
正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。

ハ

■ハイビジョン放送 19

走査線の数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9:16(現行3:4)で、約5倍の情報量の、精密な画像を放送します。すでに、衛星放送で試験放送が始まっています。

■ぴったりクロック 88

自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。

マ

■マスターエディットコントロール 56

本機を録画側にしてビクタービデオムービーからダビングするとき、本機の録画スタート／ストップをビデオムービー側で操作することです。

ラ

■録画チャンネル 82 86

各番組を録画やタイマー録画するときのチャンネルです。
本体表示窓に表示されるチャンネルをそのまま録画チャンネルにします。

ワ

■ワンタッチタイマー録画 22

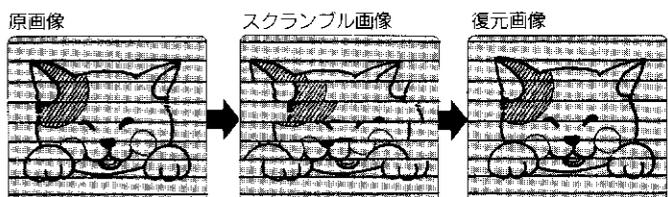
録画中に録画時間を設定し、録画が終了すると自動的に電源が切れる機能です。

アルファベット

■AVテレビ 64

アンテナ入力端子の他に、映像・音声入力端子のあるテレビをいいます。

■BSデコーダ 68 71

テレビの映像、音声などの信号を暗号化したものを解読し、正常な信号に戻す装置です。

■BSモニター 16 21

本機をBSチューナーとして使用するときや、テレビ番組録画中にBS番組を見るときに、BSオレンジボタンを押すと衛星放送を受信できます。このとき、本体表示窓にBSモニターを表示します。

■Gコード 26

ジェムスターコードの略です。
番組予約を簡単にするために、各番組に付けた番組予約番号です。8ケタまでの番号で、新聞・雑誌などのテレビ欄に掲載されています。

■MUSE(ミューズ)-NTSCコンバーター 70

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。

■VISSスキャン 37

録画やタイマー録画の開始点に記録された頭出し信号を利用して、テープの頭出しをする機能です。

索引

□内の数字が参照ページです。

お買い上げいただきありがとうございます。

後日のためにご記入しておいてください。

型番 HR-20000	お買い上げの販売店 電話(　　　)　　－
お買い上げ日 年　月　日	お近くのビクターサービス窓口 電話(　　　)　　－

アフターサービスのお問合せ先

転居、ご贈答などアフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。

お客様ご相談センター

東京…☎(03)5684−9311(代表)
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪…☎(06)765−4161(代表)
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

＊ビデオ・プラスシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

ビデオ事業部
〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045)453-1111(代表)

NOV92 PU30424-393-1(SGE